

ムスリムキッズが知
らなくてはならない
こと

شركاء التنفيذ:



المحتوى الإسلامي



رواد الترجمة



جمعية الربوة



دار الإسلام

يتاح طباعة هذا الإصدار ونشره بأي وسيلة مع
الالتزام بالإشارة إلى المصدر وعدم التغيير في النص.



Telephone: +966114454900



ceo@rabwah.sa



P.O.BOX: 29465



RIYADH: 11557



www.islamhouse.com

慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（ な）において

はじめに

アッラーの名において。アッラーにたたえあれ。

ここに書かれていることは、アッラーの宗教（しゅうきょう）について、ムスリムキッズが知らなくてはならないことです。ムスリムの親（おや）はその子どもたちに、小さいときからこれらのことを、おしえておかなくてはなりません。

これはアキーダ、フィクフ、スィーラ、礼儀作法（れいぎさほう）、タフスィール、ハディース、道徳（どうとく）、ズィクルといった広い範囲（はんい）をもれなくカバーした、やさしいテキストです。子どもだけでなく、あらゆる年代（ねんだい）の人や、あたらしいムスリムも利用（りよう）できます。家（いえ）、保育所（ほいくじょ）、学校（がっこう）といったところにおいて、暗記（あんき）や説明（せつめい）のために用（もち）いてください。この本は、分野（ぶんや）ごとに順番（じゅんばん）づけられており、Q&Aの形になっています。関心（かんしん）をひき、覚（おぼ）えやすくするためであり、先生役は年齢（ねんれい）にあつたものをそこから選（えら）ぶことができます。

アッラーがここにかかれていることを、やくだてて下さいますよう。うけ入れて下さいますよう。

アッラーはおっしゃります:

﴿يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا فُؤَا أَنفُسِكُمْ وَأَهْلِيكُمْ نَارًا وَفُودَهَا النَّاسُ وَالْحِجَارَةُ عَلَيْهَا مَلَائِكَةٌ

غَلَاطٌ شِدَادٌ لَا يَعْصُونَ اللَّهَ مَا أَمَرَهُمْ وَيَفْعَلُونَ مَا يُؤْمَرُونَ﴾ [التحریم: 6]

„「信仰（しんこう）するものたちよ、あなたたちと、あなたたちの家ぞくを（じごくの）火から守れ。そのねんりょうは、人びと

と石（いし）。その上には、あらあらしくきびしい天使（てんし）たちがいる。かれらはアッラーがかれらに命（めい）じたことで、かれに逆（さか）らわず、命（めい）じられることをするのである。」 禁止章 6]

、イブン・アッパースは言いました「私はある日、ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）のうしろにのっていました。かれは、言いました：「少年（しょうねん）よ、よいことをおしえてやろう。アッラーのことをまもりなさい。そうすればアッラーが、あなたをまもって下さる。アッラーのことをまもりなさい。そうすればあなたは、かれを目のまえに見るだろう。何（なに）かもとめるときは、アッラーにもとめなさい。たすけをもとめるときは、アッラーにたすけをもとめなさい。そして知りなさい。すべての人が、あなたに何（なに）かよいことをしようとしても、アッラーがあなたに決（き）めてしまっていることのほかは、何（なに）一つできることがない。また、すべての人が、あなたに何（なに）かわるいことをしようとしても、アッラーがあなたに決（き）めてしまっていることのほかは、何（なに）一つできることがない。（うんめいの）ペンはもうおかれ、ページはもうかわいてしまったのだ。」 ティルミズイーとアフマドのでんしょう

子どものきょういくのだいじさ：

子どもには、しゅうきょうのだいじなことを、おしえなければなりません。イスラームのフィットウラ（てんせい）にしたがったよいにんげんになり、イーマーンにもとづくタウヒード（アッラーだけをかみさまとすること）をしんじるにんげんになるためです。

イブン・アブー・ザイド・アル＝カイルワーニーは、こういつています。

「7さいになったらサラーをさせ、10さいになってもサラーをしなかつたら、たたきなさい」「ねるばしょを、べつべつにしなさい」とムハンマドさまは、言っています。また、成長（せいちょう）するまえに、アッラーへのことばや行（おこな）いのぎむを、しらなければなりません。成長（せいちょう）するまえに、それらが心にうえつけられ、体でなれしたしむべきなのです。イブン・アブー・ザイド・アル＝カイラワーニーの序論：5ページ

アキーダ（しんじょう）アキーダのちしきイスラームのアキーダとは、次のことを信じることです：

アッラーが主（しゅ）であること、神（かみ）であること、そしてその美（うつく）しい名と性質（せいしつ）。天使（てんし）たち。さまざまな啓典（けいてん）。使徒（しと）たち。さいごの日。よいものも悪（わる）いものも、運命（うんめい）であること。イスラームで明らかになっている、ガイブの世界（せかい）のものごと。宗教（しゅうきょう）の基本的（きほんてき）なものごと。サラフ（せんじん）たちが、みんな信じていたことなど

1. あなたの主（しゅ）はだれですか？

わたしの主（しゅ）はアッラーです。アッラーがそのお恵（めぐ）みによってわたしと、全世界（ぜんせかい）のすべてをそだてました。イバーダ（すうはい）されるのはアッラーだけで、わたしにはアッラーのほかにイバーダするものはありません。アッラーは創造（そうぞう）したお方、すべてを所有（しゅゆう）するお方、すべてにリズク（かて）を与えるお方、この世（よ）のすべてを司（つかさど）るお方です。

﴿لِيُغْفِرَ لَكَ اللَّهُ مَا تَقَدَّمَ مِنْ ذَنْبِكَ وَمَا تَأَخَّرَ وَيُتِمَّ نِعْمَتَهُ عَلَيْكَ وَيَهْدِيَكَ صِرَاطًا

مُسْتَقِيمًا ﴿٢﴾﴾ [الفتح: 2]

アッラーはおっしゃります。「すべての主（しゅ）アッラーに、たたえあれ。」開端章 2節

2. あなたの宗教（しゅうきょう）はなんですか？

わたしのしゅうきょうは、イスラームです。イスラームとは、タウヒード（アッラーだけをかみさまとしんじて、アッラーだけをイバーダすること）によってアッラーにしたがうことです。また、アッラーがよろこぶことをすることによって、アッラーにしたがうこ

とです。また、シルク（アッラーになにかをならべること）から遠（とお）ざかることです。

﴿إِنَّ الدِّينَ عِنْدَ اللَّهِ الْإِسْلَامُ ۗ وَمَا اخْتَلَفَ الَّذِينَ أُوتُوا الْكِتَابَ إِلَّا مِنْ بَعْدِ مَا جَاءَهُمُ الْعِلْمُ

بَعْيًا بَيْنَهُمْ ۗ وَمَنْ يَكْفُرْ بِآيَاتِ اللَّهِ فَإِنَّ اللَّهَ سَرِيعُ الْحِسَابِ ﴿١٩﴾﴾ [آل عمران: 19]

アッラーはおっしゃります。「アッラーのもとでのしゅうきょうは、イスラームである。」イムラーン家章 19節

3. あなたのよげんしゃはだれですか？

よげんしゃムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）

アッラーはおっしゃります。

﴿مُحَمَّدٌ رَسُولُ اللَّهِ ۗ﴾ [الفتح: 29]

「ムハンマドはアッラーのしとである。」勝利章 29節

4. タウヒードのことばを、言ってください。その意味（いみ）をおしえてください。？

タウヒードのことばは、「ラー・イラーハ・イツラッラー」です。そのいみは、「アッラーいがいに、ほんとうのかみさまはいません」です。

アッラーはおっしゃります。

﴿فَاعْلَمْ أَنَّهُ لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ وَاسْتَغْفِرْ لِذَنْبِكَ وَلِلْمُؤْمِنِينَ وَالْمُؤْمِنَاتِ ۗ وَاللَّهُ يَعْلَمُ مُتَقَلِّبَكُمُ

وَمَثُولَكُمُ ﴿١٩﴾﴾ [محمد: 19]

。「アッラーいがいに、かみさまはいないことをしりなさい。」ムハンマド章 19

アッラーはおっしゃります。

﴿ذَلِكَ بِأَنَّ اللَّهَ هُوَ الْحَقُّ وَأَنَّ مَا يَدْعُونَ مِنْ دُونِهِ هُوَ الْبَطْلُ وَأَنَّ اللَّهَ هُوَ الْعَلِيُّ الْكَبِيرُ﴾

[الحج: 62] ﴿٦٢﴾

「アッラーこそしんじつであり、かれらがアッラーのほかにいるものは、にせものである。アッラーは高く、大きいお方。

」巡礼章 62節

5. アッラーはどこにいる？

アッラーは天(てん)たかく、アルシュの上に、すべてのものの上にいらっしゃいます。アッラーはおっしゃります。

﴿الرَّحْمَنُ عَلَى الْعَرْشِ اسْتَوَى﴾ [طه: 5]

「じひあまねきお方は、アルシュに上がられた。」ター・ハー章 5節アッラー

はおっしゃります。

﴿وَهُوَ الْقَاهِرُ فَوْقَ عِبَادِهِ وَهُوَ الْحَكِيمُ الْخَبِيرُ﴾ [الأنعام: 18]

「かれは、そのしもべたちの上におられるもっとも高いお方であり、かれはえいめいで、すべて知っているお方。」家畜章 18節

6. 「ムハンマドウッラスールッラー (ムハンマドさまはアッラーのしとである)」というシャハーダ (しょうげん) のいみは、なんですか？

そのいみは：アッラーがムハンマドさまを、よい知らせをつたえ、警告(けいこく)する者としてつかわした、ということです。

つぎのことを、守(まも)らなくてははいけません：

- 1・ムハンマドさまの命令（めいれい）を守（まも）ること。
- 2・ムハンマドさまが言ったことを、しんじること。
- 3・ムハンマドさまに、さからわないこと。
- 4・ムハンマドさまのおしえたやり方でだけ、アッラーをイバーダすること。スンナにしたがうこと。

アッラーはおっしゃります：

﴿مَنْ يُطِيعِ الرَّسُولَ فَقَدْ أَطَاعَ اللَّهَ وَمَنْ تَوَلَّىٰ فَمَا أَرْسَلْنَاكَ عَلَيْهِمْ حَفِيظًا﴾ [النساء: 80]

「使徒（しと）にしたがった者は、アッラーにしたがったのだ。

」 婦人章 80

節アッラーはおっしゃります。

﴿وَمَا يَنْطِقُ عَنِ الْهَوَىٰ ۗ إِنْ هُوَ إِلَّا وَحْيٌ يُوحَىٰ﴾ [النجم: 4-3]

」。かれ（ムハンマドさま）は、じぶんかってにしゃべっているのではない。それは、下される啓示（けいじ）いがいの何ものでもない。」 星章 3 - 4

節アッラーはおっしゃります。

﴿إِنَّ الْمُسْلِمِينَ وَالْمُسْلِمَاتِ وَالْمُؤْمِنِينَ وَالْمُؤْمِنَاتِ وَالْقَانِتِينَ وَالْقَانِتَاتِ وَالصَّادِقِينَ وَالصَّادِقَاتِ وَالصَّابِرِينَ وَالصَّابِرَاتِ وَالْخَاشِعِينَ وَالْخَاشِعَاتِ وَالْمُتَصَدِّقِينَ وَالْمُتَصَدِّقَاتِ وَالصَّالِمِينَ وَالصَّالِمَاتِ وَالْحَافِظِينَ فُرُوجَهُمْ وَالْحَافِظَاتِ وَالذَّاكِرِينَ اللَّهَ كَثِيرًا وَالذَّاكِرَاتِ أَعَدَّ اللَّهُ لَهُمْ مَغْفِرَةً وَأَجْرًا عَظِيمًا﴾ [الأحزاب: 35]

あなた方にとって、アッラーのしとの中には、よいモデルがあった。アッラーとさいごの日をのぞみ、アッラーをよくズィクルしていた人にとって。」 部族連合章 35節

7. アッラーはなぜ、わたしたちをつくりましたか？

アッラーだけをイバーダするためです。

ただ、あそんだり、すきなことをしたりするだけのためではありません。

アッラーはおっしゃります：

﴿وَمَا خَلَقْتُ الْجِنَّ وَالْإِنْسَ إِلَّا لِيَعْبُدُونِ﴾ [الذاريات: 56]

「われがジンと人間（にんげん）をつくったのは、われだけをイバーダするためなのである。」撒き散らすもの章 56節

8. イバーダとは、なんですか？

イバーダとは、アッラーが愛（あい）し、よろこぶことばや、おこないのことです。それが目に見えるものかどうかは、かんけいありません。

目に見えるイバーダとは：タスビーフ、タフミード、タクビールなどによってアッラーをズィクルしたり、サラヤハッジをすることなどです。

目に見えないイバーダとは：アッラーにタワックル（おまかせすること）したり、アッラーのことをおそれたり、のぞんだりすることです。

9. わたしたちが、いちばんしなければならないことは、なんですか？

アッラーのタウヒードです。アッラーはおっしゃります。「かれらは、アッラーをただ純粹（じゅんすい）にイバーダすることしか、命（めい）じられてはいなかった。」

10. タウヒードのしゅるいは、なんですか？

1・アッラーだけが主（しゅ）だというタウヒード：アッラーだけが、この世（よ）をつくったお方、この世（よ）のすべてにリズク（かて）をめぐんでくれるお方、すべてを所有（しゅゆう）するお方、すべてをつかさどるお方です。アッラーのほかに、そのようなものはありません。

2・アッラーだけが神（かみ）だというタウヒード：アッラーだけにイバーダし、ほかのものにはイバーダしません。

3・アルアスマール・フスナー（うつくしい名まえ）と、すばらしい性質（せいしつ）のタウヒード：クルアーンとスンナにでてくるアルアスマール・フスナー（うつくしい名まえ）と、すばらしい性質（せいしつ）を信（しん）じることです。それをそのまま信（しん）じ、アッラーを人やものなどと似（に）ていると、かながえてはいけません。

4.つのタウヒードのしゅるいは、クルアーンの中でみつけることができます アッラーはおっしゃります：

﴿رَبُّ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ وَمَا بَيْنَهُمَا فَاعْبُدْهُ وَاصْطَبِرْ لِعِبَادَتِهِ هَلْ تَعْلَمُ لَهُ سَمِيًّا﴾

[مریم: 65]

）「アッラーは）天（てん）と地（ち））、またそのあいだにある全てのものの主（ぬし）。だからかれをイバーダし、そこにおいてサブル（がまん）しなさい。あなたはかれに、かれとにたようなものを知っているのか？」 マルヤム章 65節

11. いちばん大きな罪（つみ）はなんですか？

シルクです。

アッラーはおっしゃります

﴿إِنَّ اللَّهَ لَا يَغْفِرُ أَنْ يُشْرَكَ بِهِ وَيَغْفِرُ مَا دُونَ ذَلِكَ لِمَنْ يَشَاءُ وَمَنْ يُشْرِكْ بِاللَّهِ فَقَدِ افْتَرَىٰ إِثْمًا

عَظِيمًا﴾ [النساء: 48]

。「アッラーは、シルクをされることをゆるすことはないが、そのほかのことについては、おのぞみのものをゆるされる。アッラーにシルクをするものは、大きな罪（つみ）をでっち上げているのだ。」 婦人章 48節

12. シルクと、そのしゆるいはなんですか？

シルクとは、アッラーにイバーダをすること、アッラーが主（しゅ）だということ、アッラーのアルアスマーウル・フスナー（うつくしい名まえ）と、すばらしい性質（せいしつ）について、アッラーに似（に）たものがあるとかんがえたり、そのような行動（こうどう）をしたりすることです。イバーダを、アッラー以外（いがい）のなにかに向けてするのも、シルクです。

シルクのしゆるい：

大きなシルク：たとえば、アッラー以外（いがい）のなにかにドゥアーしたり、アッラー以外（いがい）のなにかにぎせいをささげたりすることです。

小さなシルク：これは、もしやってしまったても、ムスリムでなくなることはないシルクです。たとえば、つぎのようなことです：アッラー以外（いがい）のなにかに、ちかうこと・幸運（こううん）をよび、不幸（ふこう）をとおぎけるために、おまもりをつけること。ほかの人の目を気（き）にした行（おこな）い。つまり、人からよいふうに見られるために、サラアをしたりすることです。

13. アッラー以外（いがい）に、だれかガイブ（目に見えないせかい）を知っている人はいますか？

いません。アッラーだけが知っています。：

﴿قُلْ لَا يَعْلَمُ مَنْ فِي السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ الْغَيْبَ إِلَّا اللَّهُ وَمَا يَشْعُرُونَ أَيَّانَ يُبْعَثُونَ﴾^(١٥)

[النمل: 65]

アッラーはおっしゃります。「いえ。『天（てん）にも地（ち）にも、目に見えないせかいを知っているのは、アッラーだけ。』かれらは、いつよみがえらされるかも知らない。」蟻章 65節

14. イーマーンには、いくつの柱（はしら）がありますか？ イーマーンの柱（はしら）は、6つです？

- 1・アッラーを信じること。
- 2・天使（てんし）たちを信じること。
- 3・諸啓典（しょけいてん）を信じること。
- 4・しとたちを信じること。
- 5・最後（さいご）の日を信じること。
- 6・よいものもわるいものもふくめて、運命（うんめい）を信じること。

これらのことは、ジブリールのゆうめいなハディースにあります（ムスリムのでんしょう）。ジブリールはムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）に、言いました：「イーマーンについて、きかせて下さい。」かれは言った。「（イーマーンとは）アッラーと、その天使（てんし）たち、その諸啓典（しょけいてん）、しとたち、来世（らいせ）、そしてよいものもわるいものもふくめて、運命（うんめい）を信じることだ。」

15. イーマーンの柱（はしら）とは、なんですか？

アッラーを信じること：

アッラーだけが、あなたをつくったお方、あなたにリスク（かて）をめぐんでくれるお方、すべてを所有（しよゆう）するお方、すべてをつかさどるお方としんじることです。

アッラーだけがイバーダされるお方で、アッラー以外にイバーダにふさわしいものはありません。アッラーだけが、創造（そうぞう）し、命令（めいれい）し、決定（けつてい）し、おしえを定（さだ）めます。

アッラーは偉大（いだい）で、かんぺきなお方。アッラーにすべての讚美（さんび）があります。アッラーにはアルアスマーウル・フスナー（うつくしい名まえ）と、すばらしい性質（せいしつ）があります。アッラーには仲間（なかま）も、似（に）ているものも、ありません。

天使（てんし）たちをしんじること：

天使（てんし）たちは、アッラーが光（ひかり）からつくりました。アッラーをイバーダし、アッラーの命令（めいれい）にかんぜんに従（したが）うためです。アッラーはおっしゃります

﴿وَقَالُوا اتَّخَذَ الرَّحْمَنُ وَلَدًا سُبْحٰنَهُۥٓ بَلْ عِبَادٌ مُّكْرَمُونَ ﴿١٦﴾ لَا يَسْبِقُونَهُۥ بِالْقَوْلِ وَهُمْ بِأَمْرِهِۦٓ

يَعْمَلُونَ ﴿١٧﴾﴾ [الأنبياء: 26-27]

「いや、かれら（てんしたち）は、ほまれある僕（しもべ）たちである。」 「かれら（てんしたち）は、かれより先にはなすことはない。かれ（アッラー）の命令（めいれい）をきいて行（おこな）うだけである。」 預言者たち章 26 - 27

アッラーはおっしゃります。

﴿وَإِنَّهُ لَتَنْزِيلُ رَبِّ الْعٰلَمِينَ ﴿١٩٢﴾ نَزَلَ بِهِ الرُّوحُ الْأَمِينُ ﴿١٩٣﴾ عَلٰى قَلْبِكَ لِتَكُوْنَ مِنَ

الْمُنذِرِينَ ﴿١٩٤﴾ بِلِسَانٍ عَرَبِيٍّ مُّبِينٍ ﴿١٩٥﴾﴾ [الشعراء: 192-195]

「それは全世界（ぜんせかい）の主（しゅ）から、くだされたもの。」「誠実（せいじつ）な聖霊（せいれい）がそれをたずさえ、あなた（ムハンマドさま）のところに（下した）。あなたが警告者（けいこくしゃ）の 1 人となるために。はっきりとしたアラビアごによって。」詩人たち章 192-195 節

諸啓典（しよけいてん）をしんじること：

諸啓典（しよけいてん）とは、アッラーがしとたちに下した本のことです。

クルアーン：ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）がもらった。

インジール：イーサーさま（へいあんあれ）がもらった。

トーラー：ムーサーさま（へいあんあれ）がもらった。

ザブール：ダーウッドさま（へいあんあれ）がもらった。

イブラーヒームさまとムーサーさまの書（しよ）

しとたちをしんじること：

アッラーはしとたちをつかわし、人びとにおしえさせ、よい知らせやジャンナについてつたえさせ、わるいことやジャハンナムについて警告（けいこく）させました。

しとたちで、いちばんすぐれているのは、ウルルアズム（けついのつよい者たち）です。ウルルアズムとは、これらのしとです：

ヌーフ（へいあんあれ）

イブラーヒーム（へいあんあれ）

ムーサー（へいあんあれ）

イーサー（へいあんあれ）

ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）

さいごの日をしんじること：

﴿كُلُّ نَفْسٍ ذَائِقَةُ الْمَوْتِ وَإِنَّمَا تُوَفَّقُونَ أُجُورَكُمْ يَوْمَ الْقِيَامَةِ فَمَنْ زُحِرَ عَنِ النَّارِ وَأُدْخِلَ

الْجَنَّةَ فَقَدْ فَازَ وَمَا الْحَيَاةُ الدُّنْيَا إِلَّا مَتَاعُ الْعُرُورِ ﴿١٨٥﴾ [آل عمران: 185]

死（し）んだあとの、お墓（はか）の中のこと、復活（ふっかつ）の日のこと、あつめられる日のこと、清算（せいさん）、ジャンナの住人（じゅうにん）がジャンナに入り、ジャハナムの住人（じゅうにん）がジャハナムに入ることなどを、しんじることです。アッラーはおっしゃります。「みんな死（し）をあじわうことになる。だが復活（ふっかつ）の日には、あなたがたは十分（じゅうぶん）に報（むく）いられる。（その日）ほのおから遠（とお）ざけられたものは、天国（てんごく）に入れられ、しょうりする。この世（よ）のせいかつは、うその楽（たの）しみにすぎない。」イムラーン家章 185節

よいものもわるいものもふくめて、運命（うんめい）をしんじること：

運命（うんめい）をしんじるとは、この宇宙（うちゅう）でおこることをアッラーはぜんぶ知っており、ラウフ・マフフーズ（守られし碑板）にすべてそのことは書（か）かれており、アッラーがそれをつくり、存在（そんざい）させることを望（のぞ）んだということを、しんじることです。

アッラーはおっしゃります。

﴿إِنَّا كُلُّ شَيْءٍ خَلَقْنَاهُ بِقَدَرٍ ﴿٤٩﴾﴾ [القمر: 49]

「われら（アッラー）はすべてのものを、運命（うんめい）によってつくった。」月章 49節

これには4つのレベルがあります：

1・アッラーのちしき：アッラーはすべての運命（うんめい）を、それがおこるまえも、おこったあとも、最初（さいしょ）から知っているということ。

アッラーはおっしゃります。

﴿إِنَّ اللَّهَ عِنْدَهُ عِلْمُ السَّاعَةِ وَيُنزِلُ الْغَيْثَ وَيَعْلَمُ مَا فِي الْأَرْحَامِ وَمَا تَدْرِي نَفْسٌ مَّاذَا

تَكْسِبُ غَدًا وَمَا تَدْرِي نَفْسٌ بِأَيِّ أَرْضٍ تَمُوتُ إِنَّ اللَّهَ عَلِيمٌ خَبِيرٌ ﴿٣٤﴾ [لقمان: 34]

「アッラーのもとには、（復活の）時の知識（ちしき）がある。かれは雨（あめ）をふらせ、子宮（しきゅう）の中にあるものを知っている。だれも明日（あす）なにをかせぐか、どこで死（し）ぬことになるかも、知らない。アッラーはすべて知っていて、すべてに通（つう）じているおかた。」ルクマーン章 34節

2・アッラーが運命（うんめい）を、ラウフ・マフフーズ（守られし碑板）に書（か）いたということ。すべてのおこったこと、これからおこることは、そこに書（か）かれています。

アッラーはおっしゃります。

﴿* وَعِنْدَهُ مَفَاتِحُ الْغَيْبِ لَا يَعْلَمُهَا إِلَّا هُوَ وَيَعْلَمُ مَا فِي الْبَرِّ وَالْبَحْرِ وَمَا تَسْقُطُ مِنْ وَرَقَةٍ

إِلَّا يَعْلَمُهَا وَلَا حَبَّةٌ فِي ظِلْمَتِ الْأَرْضِ وَلَا رَطْبٍ وَلَا يَابِسٍ إِلَّا فِي كِتَابٍ مُبِينٍ ﴿٥٩﴾ [الأنعام:

[59]

「かれ（アッラー）には、かれしか知らないガイブ（見えないせかい）の鍵（かぎ）がある。かれは、陸（りく）と海（うみ）にあるものも（すべて）知っている。かれが知らずに、葉（は）っぱ一枚（いちまい）も落（お）ちることはない。地面（じめん）の暗闇（くらやみ）の中にある種（たね）でも、湿（しめ）っているものでも、乾（かわ）いているものでも、明（あき）らかな書（しょ）の中になくはない。」家畜章 59節

3・すべてのことは、アッラーの意志（いし）によっておこること。アッラーがのぞまなければ、何もおきません。人は選（えら）ぶことができ、意志（いし）もあります。しかしこの意志（いし）さえも、アッラーがおのぞみにならないと、実現（じつげん）しません。アッラーはおっしゃります。

﴿لِمَنْ شَاءَ مِنْكُمْ أَنْ يَسْتَقِيمَ ۗ وَمَا تَشَاءُونَ إِلَّا أَنْ يَشَاءَ اللَّهُ رَبُّ الْعَالَمِينَ﴾ [التكوير:

[29-28

．すべてのことは、アッラーの意志（いし）によっておこること。アッラーがのぞまなければ、何もおきません。人は選（えら）ぶことができ、意志（いし）もあります。しかしこの意志（いし）さえも、アッラーがおのぞみにならないと、実現（じつげん）しません。アッラーはおっしゃります。「あなたたちのうちで、まっすぐあるくことをのぞむ者（もの）への。そしてあなたたちは、全世界（ぜんせかい）の主（ぬし）であるアッラーが望（のぞ）まなければ、（なにも）望（のぞ）むことがない。」巻き込む章 28 - 29節

4・すべての存在（そんざい）は、アッラーがつくったということ。すべての本質（ほんしつ）、性質（せいしつ）、動（うご）きは、アッラーが作りしました。

アッラーはおっしゃります。

﴿وَاللَّهُ خَلَقَكُمْ وَمَا تَعْمَلُونَ﴾ [الصافات: 96]

「アッラーがあなたたちと、あなたたちの行（おこな）いをつくった。」整列者たち章 96節

16. クルアーンとは何ですか？

アッラーのことばです。つくられたものではありません。

アッラーはおっしゃります。

﴿وَإِنْ أَحَدٌ مِنَ الْمُشْرِكِينَ اسْتَجَارَكَ فَأَجِرْهُ حَتَّى يَسْمَعَ كَلِمَ اللَّهِ ثُمَّ أَبْلِغْهُ مَأْمَنَهُ ذَٰلِكَ

بِأَنَّهُمْ قَوْمٌ لَا يَعْلَمُونَ﴾ [التوبة: 6]

「もしシルクの人びとのだれかが、あなたに保護（ほご）をもとめてきたら、アッラーのことばを聞（き）かせるために保護（ほご）しなさい。」悔悟章 6節

このようなハディースもあります：「アッラーのことばが、そのほかのことばより優（すぐ）れているのは、アッラーがほかのものよりも優（すぐ）れているようなものです。」テイルミズイーのでんしょう

17. スンナとは何ですか？

ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）が言ったこと、やったこと、みとめたこと、その性格（せいかく）、見た目を伝（つた）えるものです。

18. ビドゥアとは何ですか？ それはうけ入れられるものですか？

ビドゥアとは、宗教（しゅうきょう）にかんして、あとからつくられたもので、よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）もサハーバもやってはいなかったことです。

それはうけ入れられません。

ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、言いました。「ビドゥアはすべて、まよいです。」アブー・ダーウードのでんしょうムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、言いました。「私たちの行（おこな）いでないものを行（おこな）った者は、拒否（きよひ）される。」ムスリムのでんしょう

たとえば、ウドゥーで3回あらうのを、4回あらうことにしたりするなど、イバーダに何かつけくわえたりすることです。このようなことはムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）もサハーバもやりませんでした。

19. 味方（みかた）になることと、敬遠（けいえん）することとは、何ですか？

ムウミン（じっせんてきなムスリム）を好きになり、味方（みかた）になることです。

アッラーはおっしゃります。:

﴿وَالْمُؤْمِنُونَ وَالْمُؤْمِنَاتُ بَعْضُهُمْ أَوْلِيَاءُ بَعْضٍ﴾ [التوبة: 71]

。「男（おとこ）の信者（しんじゃ）も女（おんな）の信者（しんじゃ）も、おたがい仲間（なかま）である。」悔悟章 71

クフル（ふしんこう）をきらい、その味方（みかた）にならないことです。

アッラーはおっしゃります。

﴿قَدْ كَانَتْ لَكُمْ أُسْوَةٌ حَسَنَةٌ فِي إِبْرَاهِيمَ وَالَّذِينَ مَعَهُ إِذْ قَالُوا لِقَوْمِهِمْ إِنَّا بُرَءُؤُا مِنْكُمْ وَمِمَّا تَعْبُدُونَ مِنْ دُونِ اللَّهِ كَفَرْنَا بِكُمْ وَبَدَا بَيْنَنَا وَبَيْنَكُمْ الْعَدَاوَةُ وَالْبَغْضَاءُ أَبَدًا حَتَّىٰ تُؤْمِنُوا بِاللَّهِ وَحَدَهُ ۗ إِلَّا قَوْلَ إِبْرَاهِيمَ لِأَبِيهِ لَأَسْتَغْفِرَنَّ لَكَ وَمَا أَمْلِكُ لَكَ مِنَ اللَّهِ مِنْ شَيْءٍ ۗ رَبَّنَا عَلَيْنِكَ تَوَكَّلْنَا وَإِلَيْكَ أَنبَأْنَا وَإِلَيْكَ الْمَصِيرُ ﴿١٤٠﴾﴾ [الممتحنة: 4]

「イブラーヒームと、かれといっしょにいた者たちの中には、あなたたちにとってのよいモデルがある。かれらが自分（じぶん）の人びとに言った時を、思いおこせ。「わたしたちは、あなたたちと、あなたたちがアッラーのほかにイバーダするものとは、何の関係（かんけい）もない。わたしたちは、あなたたちと絶縁（ぜつえん）する。わたしたちとあなたたちの間には、あなたたちがアッラーだけを信じるようになるまで、永遠（えいえん）の敵意（てきい）と憎悪（ぞうお）がある。」試問される女章 4節

20. アッラーは、イスラームではない宗教（しゅうきょう）をうけ入れますか？

アッラーは、イスラームいがいうけ入れません。

アッラーはおっしゃります。

﴿وَمَنْ يَبْتَغِ غَيْرَ الْإِسْلَامِ دِينًا فَلَنْ يُقْبَلَ مِنْهُ وَهُوَ فِي الْآخِرَةِ مِنَ الْخَاسِرِينَ ﴿٨٥﴾﴾ [آل

عمران: 85]

。「イスラームではない宗教（しゅうきょう）をのぞむ人は、うけ入れられない。かれはあの世（よ）で、損失（そんしつ）する人となる。」イムラーン家章 85節

21. クフル（ふしんこう）には、ことば、おこない、しんこうによるものがあります。その例（れい）は何ですか？

ことばの例（れい）：アッラーやアッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）の、わるくちを言うこと。

おこないの例（れい）：ムスハフをそまつに扱（あつか）うこと。アッラーではないものにサジダすること。

しんこうの例（れい）：アッラーのほかに、イバーダにふさわしいものがあると考（かんが）えること。アッラーいがないに、創造（そうぞう）する存在（そんざい）があると考（かんが）えること。

22. ニファークとは何ですか？ そのしゅるいは？

こたえ：

1・大きなニファーク：心の中はクフル（ふしんこう）なのに、イーマーンを見せかけること。

大きなニファークはクフル（ふしんこう）です。イスラームではなくなってしまう。

アッラーはおっしゃります。：

﴿إِنَّ الْمُنَافِقِينَ فِي الدَّرَكِ الْأَسْفَلِ مِنَ النَّارِ وَلَنْ تَجِدَ لَهُمْ نَصِيرًا﴾ [النساء: 145]

。「ムナーフィク（にせしんじゃ）たちは、じごくのいちばん下。かれらに援助者（えんじょしゃ）を見ることはない。」 婦人章 145節

2・小さいニフアーク：例（れい）：うそ、約束（やくそく）をやぶること、信用（しんよう）されているものをうらぎることなど。

これは罪（つみ）で、罰（ばつ）をうけることになりますが、イスラームでなくなってしまうことはありません。

アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「ムナーフィク（にせしんじゃ）のしるしは3つ。話（はな）せばうそをつき、約束（やくそく）をすれば破（やぶ）り、信頼（しんらい）されればうらぎる。ブハーリーとムスリムのでんしょう

23. さいごのよげんしゃは、だれですか？

ムハンマドさまです。

アッラーはおっしゃりました：

﴿مَا كَانَ مُحَمَّدٌ أَبَا أَحَدٍ مِّن رِّجَالِكُمْ وَلَكِن رَّسُولَ اللَّهِ وَخَاتَمَ النَّبِيِّينَ ۗ وَكَانَ اللَّهُ بِكُلِّ

شَيْءٍ عَلِيمًا ﴿٤٠﴾ [الأحزاب: 40]

：「ムハンマドは、あなたがた男（おとこ）たちの誰（だれ）の父親（ちちおや）でもない。しかしアッラーのしとであり、さいごの預言者（よげんしゃ）なのだ。部族連合章 40節

ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「わたしはさいごの預言者（よげんしゃ）。わたしのあとに、預言者（よげんしゃ）はない。」アブー・ダーウード、ティルミズイー、そのたのでんしょう

24. きせきとは、何ですか？

きせきとは、アッラーが預言者（よげんしゃ）たちにあたえる、ふつうはおこりえないことです。アッラーはきせきを、預言者（よげんしゃ）たちの正直（しょうじき）さを証明（しょうめい）するために実現（じつげん）させます。たとえば：

1・ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）が、月（つき）をわたしたことは、きせきです。アッラーはおっしゃります。

﴿أَقْرَبَتْ السَّاعَةُ وَأَنْشَقَّ الْقَمَرُ ﴿١﴾ وَإِنْ يَرَوْا آيَةً يُعْرِضُوا وَيَقُولُوا سِحْرٌ مُّسْتَمِرٌّ ﴿٢﴾ وَكَذَّبُوا

وَاتَّبَعُوا أَهْوَاءَهُمْ ﴿٣﴾ كُلُّ أَمْرٍ مُّسْتَقَرٌّ ﴿٤﴾﴾ [القمر: 1-3]

「時（とき）はちかづき、月（つき）はわれた。かれらはたとえアーヤ（きせきのしるし）を見ても、背中（せなか）を見せる。そして、言う：『これは消（き）えゆく魔術（まじゅつ）だ。』かれらはうそよばわりし、自分（じぶん）たちの欲（よく）に従（したが）った。すべてのものごとは、決着（けっちゃく）する。」月章 1 - 3 節 2・

ムーサー（へいあんあれ）が海（うみ）をわり、フィルアウンとその軍隊（ぐんたい）がおぼれ死（し）んだこと。アッラーはおっしゃります。

﴿وَإِذْ فَرَقْنَا بِكُمْ الْبَحْرَ فَأَنْجَيْنَاكُمْ وَأَغْرَقْنَا آلَ فِرْعَوْنَ وَأَنْتُمْ تَنْظُرُونَ ﴿٥٠﴾﴾ [البقرة: 50]

「また、われらがあなたたちのために海（うみ）を分けてあなたたちを救（すく）い、あなたたちの見ている前でフィルアウンの一族をおぼれさせた時。」雌牛章 50 節

25. サハーバとは、だれのことですか？ サハーバのことはすきですか？

しん)じている状態(じょうたい)で、かれにあつた人で、ムスリムのまま死(し)んだ人たちです。

わたしたちは、サハーバがすきで、かれらをモデルにします。サハーバは預言者(よげんしゃ)たちの次に、すぐれた人たちです。

サハーバでいちばん優(すぐ)れているのは、4人のカリフです：

アブー・バクルさま(アッラーのおよろこびあれ)

ウマルさま(アッラーのおよろこびあれ)

ウスマーンさま(アッラーのおよろこびあれ)

アリーさま(アッラーのおよろこびあれ) アッラーはサハーバについて、こうおっしゃります：「ムハージル(マッカからマディーナにヒジュラしたムスリム)たちとアンサール(マディーナでムハージルたちをたすけたムスリムたち)と、かれらによく従(したが)った先人(せんじん)たち。アッラーはかれらをよろこび、かれらもアッラーによろこぶ。かれ(アッラー)はかれらに、

﴿أَوْكَلْنَا عَلَيْهِمْ عَهْدًا نَبَدَهُ فَرِيقٌ مِّنْهُمْ بَلْ أَكْثَرُهُمْ لَا يُؤْمِنُونَ﴾ [البقرة: 100]

その下から川がながれるいくつものジャンナをじゅんぴした。かれらはそこに、えいえんに留(とど)まる。それは偉大(いだい)な勝利(しょうり)である。」悔悟章 100節

26. しんこうしゃの母(はは)たちとは、だれですか？

ムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)の妻(つま)たちのことです。

アッラーはおっしゃります。:

﴿التَّيُّ أَوْلَىٰ بِالْمُؤْمِنِينَ مِنْ أَنفُسِهِمْ وَأَزْوَاجُهُ أُمَّهَاتُهُمْ وَأُولُوا الْأَرْحَامِ بَعْضُهُمْ أَوْلَىٰ بِبَعْضٍ فِي كِتَابِ اللَّهِ مِنَ الْمُؤْمِنِينَ وَالْمُهَاجِرِينَ إِلَّا أَنْ تَفْعَلُوا إِلَىٰ أَوْلِيَائِكُمْ مَعْرُوفًا كَانَ ذَلِكَ فِي الْكِتَابِ مَسْطُورًا﴾ [الأحزاب: 6]

。「預言者（よげんしゃ）はしんこうしゃたち自身（じしん）より、優先（ゆうせん）される。そしてかれの妻（つま）たちは、かれらの母（はは）たちである。」部族連合章 6節

27. ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）の一族（いちぞく）には、何をしなければならないですか？

ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）の一族（いちぞく）とは、かれの妻（つま）たち、子孫（しそん）、バヌー・ハーシムぞく、バヌー・ムッタリブぞくのうち、ムスリムである人たちのことです。わたしたちはかれらのことを好きになり、サポートをします。かれらのことをきらう人のことは、きらいです。アッラーはおっしゃります。

﴿وَقَرْنَ فِي بُيُوتِكُنَّ وَلَا تَبَرَّجْنَ تَبَرُّجَ الْجَاهِلِيَّةِ الْأُولَىٰ وَأَقِمْنَ الصَّلَاةَ وَآتَيْنَ الزَّكَاةَ وَأَطِعْنَ اللَّهَ وَرَسُولَهُ إِنَّمَا يُرِيدُ اللَّهُ لِيُذْهِبَ عَنْكُمُ الرِّجْسَ أَهْلَ الْبَيْتِ وَيُطَهِّرَكُمْ تَطْهِيرًا﴾ [الأحزاب: 33]

「（ムハンマドの）一族（いちぞく）よ、アッラーはあなたたちから汚（よご）れをとりのぞき、きよめたいのだ。」部族連合章 33節

節ハディースの中で、ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「わたしの一族（いちぞく）について、アッラーをおもいだしなさい。わたしの一族（いちぞく）について、アッ

ラーをおもいだしなさい。わたしの一族(いちぞく)について、アッラーをおもいだしなさい。」ムスリムのでんしょう

28. ムスリムたちのリーダーには、どのようにしたらよいですか？

かれらがイスラームのおしえに反していないかぎり、かれらを尊重(そんちょう)し、言うことを聞(き)き、従(したが)わなくてははいけません。また、かれらのためにドウアーし、かげでアドバイスします。かれらが完全(かんぜん)なクフル(ふしんこう)をあらわにしないかぎり、反抗(はんこう)してはいけません。アッラーはおっしゃります

﴿يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا أَطِيعُوا اللَّهَ وَأَطِيعُوا الرَّسُولَ وَأُولِي الْأَمْرِ مِنْكُمْ فَإِن تَنَزَعْتُمْ فِي شَيْءٍ فَرُدُّوهُ إِلَى اللَّهِ وَالرَّسُولِ إِن كُنتُمْ تُؤْمِنُونَ بِاللَّهِ وَالْيَوْمِ الْآخِرِ ذَلِكَ خَيْرٌ وَأَحْسَنُ تَأْوِيلًا ﴿٥٩﴾﴾

[النساء: 59]

「信仰(しんこう)するものたちよ、アッラーと使徒(しと)、そしてあなたたちのリーダーに従(したが)え。何かであらそいがおきたら、アッラーと使徒(しと)にそれをもっていけ。もしあなたたちがアッラーと最後(さいご)の日を信じているのなら。それがよいのであり、最善(さいぜん)の結果(けっか)につながるのだ。」婦人章 59節

29. しんこうしゃたちが、すむのはどこですか？

ジャンナです。

﴿إِنَّ اللَّهَ يُدْخِلُ الَّذِينَ ءَامَنُوا وَعَمِلُوا الصَّالِحَاتِ جَنَّاتٍ تَجْرِي مِنْ تَحْتِهَا الْأَنْهَارُ وَالَّذِينَ كَفَرُوا يَتَمَتَّعُونَ وَيَأْكُلُونَ كَمَا تَأْكُلُ الْأَنْعَامُ وَالنَّارُ مَثْوًى لَهُمْ ﴿١٢﴾﴾ [محمد: 12]

「アッラーは、信仰（しんこう）し、よいおこないをおこなう者（もの）を、その下から川が流（なが）れるジャンナに入れて下さる・・・」ムハンマド章 12節

30. ふしんこうしゃたちが、すむのはどこですか？

じごくです。:

﴿فَإِن لَّمْ تَفْعَلُوا وَلَنْ تَفْعَلُوا فَاتَّقُوا النَّارَ الَّتِي وَقُودُهَا النَّاسُ وَالْحِجَارَةُ أُعِدَّتْ لِلْكَافِرِينَ﴾

[البقرة: 24]

じごくをおそれよ。その燃料（ねんりょう）は人びとと石。それはふしんこうしゃたちのために、じゅんびされている。」雌牛章 24節

31. ハウフ（きょうふ）とラジャー（きぼう）とは、何ですか？ その根拠（こんきよ）は何ですか？

ハウフ（きょうふ）とは、アッラーとその罰（ばつ）をおそれることです。

ラジャー（きぼう）とは、アッラーからのごほうび、ゆるし、じひをのぞむことです。

その根拠（こんきよ）は、アッラーのこのおことばです。

﴿أُولَئِكَ الَّذِينَ يَدْعُونَ يَبْتَغُونَ إِلَىٰ رَبِّهِمُ الْوَسِيلَةَ أَيُّهُمْ أَقْرَبُ وَيَرْجُونَ رَحْمَتَهُ وَيَخَافُونَ﴾

عَذَابَهُ إِنَّ عَذَابَ رَبِّكَ كَانَ مَحْذُورًا ﴿٥٧﴾ [الإسراء: 57]

ハ「かれらがいのっているそれらの者（もの）たちは、だれが（アッラーに）いちばん近いか、と主（しゅ）へのお近づきをもとめ、そのラフマ（じひ）を望（のぞ）み、その罰（ばつ）を怖（こわ

）がる者（もの）たち。あなたの主（しゅ）の罰（ばつ）は、用心（ようじん）すべきもの。」夜の旅章 57節
節アッラーはおっしゃります

﴿* نَبِيَّ عِبَادِي أَنِّي أَنَا الْغَفُورُ الرَّحِيمُ ﴿٥٠﴾ وَأَنَّ عَذَابِي هُوَ الْعَذَابُ الْأَلِيمُ ﴿٥١﴾﴾ [الحجر: 49-

[50

。「わがしもべたちに、伝えよ。われはゆるしぶかく、慈愛（じあい）ふかい者であり、わが罰（ばつ）はいたましい罰（ばつ）である、ということ。」ヒジュル章 49 - 50節

32. アッラーの名まえや性質（せいしつ）を、いくつかおしえてください。

アッラー・アッ・ラッブ（主）・アッ・ラフマーン（じひあまねきお方）・アッ・サミーウ（よくおききになるお方）・アル・バスイール（よくごらんになるお方）・アル・アリーム（よくごぞんじのお方）・アッ・ラッザーク（リズクをあたえてくれるお方）・アル・ハイイ（ずっと生きているお方）・アル・アズィーム（いだいなお方）・アル・ハキーム（えいちあるお方）などが、アッラーの名まえや性質（せいしつ）です。

33. これらの名まえを、せつめいしてください。.

アッラー：イバーダするのにふさわしい、唯一（ゆいいつ）のお方。どんなパートナーもいません。

アッ・ラッブ（主）：この世（よ）をつくり、すべてを所有（しゅゆう）し、この世（よ）のすべてにリズク（かて）をめぐみ、すべてをつかさどる、唯一（ゆいいつ）のお方。

アッ・サミーウ（よくおききになるお方）：いろいろな種類（しゅるい）の音（おと）や声（こえ）を、すべて聞（き）くお方。

アル・バスイール（よくごらんになるお方）：大きなものも小さなものも、すべてごらんになるお方。

アル・アリーム（よくごぞんじのお方）：過去（かこ）のこと、今（いま）のこと、未来（みらい）のこと、すべてを知っているお方。

アッ・ラフマーン（じひあまねきお方）：生きているものすべてに、やさしいお方。すべての存在（そんざい）はアッラーの慈悲（じひ）をうけて存在（そんざい）しています。

アッ・ラzzaーク（リスクをあたえてくれるお方）：人、ジン、生きものなど、この世（よ）のすべてのものにリスク（かて）をめぐんでくれるお方。

アル・ハイイ（ずっと生きているお方）：死（し）ぬことがないお方。アッラーいがいのものは、みな死（し）んでしまいます。

アル・アズィーム（いだいなお方）：その名まえ、性質（せいしつ）、おこないにおいて、かんげんで、いだいなお方。アル・ハキーム（えいちあるお方）：すべてのものをすばらしい形（かたち）につくったお方。その創造（そうぞう）と命令（めいれい）には、えいちがあります。えいちとは：何かを、それにぴったりの位置（いち）におくことです。

34. ムスリムたちの学者（がくしゃ）には、どのようにしたらよいですか？

わたしたちはかれらをあいし、たたえ、イスラームのことについては、かれらにたよります。かれらのことをわるく言うのは、正しいことではありません。

アッラーはおっしゃります。

﴿بَيَّأُهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا إِذَا قِيلَ لَكُمْ تَفَسَّحُوا فِي الْمَجَالِسِ فَأَفْسَحُوا يَفْسَحَ اللَّهُ لَكُمْ وَإِذَا قِيلَ أَنْشُرُوا فَأَنْشُرُوا يَرْفَعِ اللَّهُ الَّذِينَ ءَامَنُوا مِنْكُمْ وَالَّذِينَ أُوتُوا الْعِلْمَ دَرَجَاتٍ وَاللَّهُ بِمَا تَعْمَلُونَ خَبِيرٌ﴾ [المجادلة: 11]

「アッラーは、あなたたちの内でしんこうした者たちと、ちしきを与えられた者たちの位（くらい）を上げる。アッラーは、あなたたちがすることをよく心得（こころえ）ている。」抗弁する女章 11 節

35. アッラーのワリイとは何ですか？

タクワー（けいけんさ）があるしんこうしゃのことです。
アッラーはおっしゃります。:

﴿أَلَا إِنَّ أَوْلِيَاءَ اللَّهِ لَا خَوْفَ عَلَيْهِمْ وَلَا هُمْ يَحْزَنُونَ ﴿٦٢﴾ الَّذِينَ ءَامَنُوا وَكَانُوا يَتَّقُونَ ﴿٦٣﴾﴾

[يونس: 62-63]

。「アッラーのワリイたちには、おそれることもなく、かなしむこともない。かれらはしんこうし、タクワーがある者たち。」ユーヌス章 62 - 63 節

36. イーマーンとは、ことばとおこないですか？

イーマーンとは、ことばと、おこないと、しんじることです。口ではなし、心でしんじておこない、体でおこなうことです。ハディースの中で、ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「イーマーンは70、または60いくつかに分けられます。その中のいちばんよいものは「ラー・イラーハ・イッラッラー（アッラーのほかには神（かみ）はない）」のことばであり、いちばんひくいものは道（みち）から有害（ゆうがい）なものをどけるこ

とです。そして恥（は）ずかしいとおもうきもちも、イーマーンの一部（いちぶ）です。」ムスリムのでんしょう。

37. イーマーンはふえたり、へったりしますか？

はい。アッラーに従（したが）えばふえ、反抗（はんこう）すればへります。

アッラーはおっしゃります：

﴿إِنَّمَا الْمُؤْمِنُونَ الَّذِينَ إِذَا ذُكِرَ اللَّهُ وَجِلَّتْ قُلُوبُهُمْ وَإِذَا تُلِيَتْ عَلَيْهِمْ آيَاتُهُ زَادَتْهُمْ إِيمَانًا

وَعَلَىٰ رَبِّهِمْ يَتَوَكَّلُونَ ﴿٢٠﴾﴾ [الأنفال: 2]

。「(ほんとうの) しんこうしゃとは、アッラーがズィクルされれば心（こころ）がおそれ、アーヤが読（よ）まれれば、イーマーンがふえる者（もの）たち。そして主（しゅ）にのみ、すべてをまかせる者（もの）たちのことである。」戦利品章 2節

38. イフサーンとは何ですか？

アッラーを見ているかのように、アッラーをイバーダすることです。たとえアッラーが見えていなくても、アッラーはあなたを見えています。

39. おこないは、どうしたらアッラーに受け入れてもらえますか？

つの条件（じょうけん）があります：

- 1・アッラーのためだけに、ささげられていること。
- 2・ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）のスナナにしたがっていること。

40. アッラーにタワククルするとは、何のことですか？

よいことをもとめ、わるいことを遠（とお）ざけるにあたり、アッラーをたよりにすることです。でも、それを実現（じつげん）させるための行動（こうどう）も伴（ともな）わなくてはなりません。

アッラーはおっしゃります。

﴿وَيَرْزُقُهُ مِنْ حَيْثُ لَا يَحْتَسِبُ وَمَنْ يَتَوَكَّلْ عَلَى اللَّهِ فَهُوَ حَسْبُهُ إِنَّ اللَّهَ بَلِغُ أَمْرِهِ قَدْ

جَعَلَ اللَّهُ لِكُلِّ شَيْءٍ قَدْرًا﴾ [الطلاق: 3]

「アッラーにタワククルする者には、それだけで十分（じゅうぶん）。」離婚章 3節

「十分（じゅうぶん）」：ほかには必要（ひつよう）ない、ということです。

41. マアルーフをすすめ、ムンカルをきんじることとは、何ですか？

マアルーフとは、アッラーにしたがうすべてのこと。ムンカルとは、アッラーに反抗（はんこう）することをやめさせるすべてのことです。

アッラーはおっしゃります。

﴿كُنْتُمْ خَيْرَ أُمَّةٍ أُخْرِجَتْ لِلنَّاسِ تَأْمُرُونَ بِالْمَعْرُوفِ وَتَنْهَوْنَ عَنِ الْمُنْكَرِ وَتُؤْمِنُونَ بِاللَّهِ

وَلَوْ ءَامَنَ أَهْلُ الْكِتَابِ لَكَانَ خَيْرًا لَهُمْ مِنْهُمُ الْمُؤْمِنُونَ وَأَكْثَرُهُمُ الْفَاسِقُونَ﴾ [آل عمران:

[110]

。「あなたたちは、人びとへと出された最良（さいりょう）のウンマ。マアルーフを命（めい）じ、ムンカルをきんじ、アッラーをしんじる・・・」イムラーン家章 110節

42. アフルッスンナ・ワ・アルジャマーアとは、だれのことですか？

ことば、おこない、しんこうにおいて、ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）とサハーバたちのような状態（じょうたい）にある人びとのことです。

「アフルッスンナ」とよばれるのは、ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）のスンナにしたがい、ビドゥアをさけているためです。

「アル・ジャマーア」とは、正しさのもとに集合（しゅうごう）し、分裂（ぶんれつ）しないことです。よげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「バヌー・イスラーイールは72のグループにわかれましたが、わたしのウンマは73のグループにわかれます。その内1つをのぞいて、みんなじごくに入ります。」サハーバは言った：「アッラーのしとよ、そのグループとは何ですか？」ムハンマドさまは言いました：「わたしとサハーバのようであった人たちです。」ティルミズイーのでんしょう。

フィクフフィクフとはフィクフとは、タハーラ、サラール、ザカー、サウム、ハッジといった、じっさいに行うイスラームのきまりにかんする知識（ちしき）です。

1. タハーラとは、何ですか？

タハーラとは：よごれやけがれを、おとすことです。サラールできない状態（じょうたい）から、できる状態（じょうたい）にします。ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）はいいました：「サラールのかぎは、タハーラです。」アブー・ダーウードのでんしょう

けがれをきよめること：体や、服（ふく）や、サラールをしようとする場所（ばしょ）から、ナジャーサをおとすことです。

よごれをきよめること：ウドゥーやグスルによって行います。それはきれいな水で行いますが、水がないときや水をつかえないときには、タヤムムで行います。

2. ナジャーサがついたら、どうやってきよめますか？

犬（いぬ）がよだれをつけたものは、7回あらいます。その1回目は砂（すな）で洗（あら）います。アブー・フライラによると、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「犬（いぬ）のよだれがたれた器（うつわ）をきれいにするには、それを7回洗（あら）いなさい。そしてその1回目は、砂（すな）で洗（あら）いなさい。」ムスリムのでんしょう。

3. ウドゥーの徳（とく）は何ですか？

ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：
「ムスリム（または、ムウミン）がウドゥーし、かおを洗（あら）えば、目を見たすべてのつみが水といっしょに（または、水のさいごのいってきといっしょに）おちる。手を洗（あら）えば、手でおこなったすべてのつみが水といっしょに（または、水のさいごのいってきといっしょに）おちる。足を洗（あら）えば、足で向かったすべてのつみが水といっしょに（または、水のさいごのいってきといっしょに）おちる。こうして、つみからきれいな状態（じょうたい）になるのだ。」ムスリムのでんしょう

4. どうやってウドゥーしますか？

回、手を洗（あら）います。

回うがいをし、はなを洗（あら）います。

うがいは：水を口に入れ、うごかし、またその水をだすことです。

はなを洗（あら）うとは：みぎ手で、はなの中に水をすいこみ、それからひだり手で、またそれをふきだすことです。

それからかおを、3回洗（あら）います。

それからりょううでを、ひじまで3回洗（あら）います。

それから、あたまをなでます。りょう手であたまのまえから、うしろの方になで、またまえの方になでます。りょう耳（みみ）も、なでます。

それからりょう足（あし）を、くるぶしまで3回洗（あら）います。

これがウドウーの、かんぜんなやり方です。ブハーリーやムスリムが、ウスマーンさまやアブドッラー・ブン・ザイドさまたちからのでんしょうで、このことを伝えています。ブハーリーの別（べつ）のでんしょうの中では、ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）が1回ずつウドウーしたり、2回ずつウドウーしたりしたことが、伝わっています。つまり3回やるところを、1回、または2回ですませたこともあったということです。

5. ウドウーの義務（ぎむ）は何ですか？ また、その数（かず）はいくつですか？

ウドウーの義務（ぎむ）とは、ウドウーの中でそれをやらなければ、ウドウーが正しくはならないようなものです。

1・かおを洗（あら）うこと：うがいや、鼻（はな）に水を入れて洗（あら）うことも、ふくまれます。

2・りょううでを、ひじまで洗（あら）うこと。

3・頭（あたま）をぬれた手でなでること。りょう耳（みみ）もなでます。

4・りょう足（あし）を、くるぶしまで洗（あら）うこと。

5・かお、りょううで、頭（あたま）、りょう足（あし）、と順番（じゅんばん）に洗（あら）うこと。アッラーはおっしゃります。

﴿يَأْتِيهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا إِذَا قُمْتُمْ إِلَى الصَّلَاةِ فَاغْسِلُوا وُجُوهَكُمْ وَأَيْدِيَكُمْ إِلَى الْمَرَافِقِ
وَأَمْسَحُوا بِرُءُوسِكُمْ وَأَرْجُلَكُمْ إِلَى الْكَعْبَيْنِ وَإِنْ كُنْتُمْ جُنُبًا فَاطَّهَّرُوا وَإِنْ كُنْتُمْ مَرْضَىٰ أَوْ عَلَىٰ
سَفَرٍ أَوْ جَاءَ أَحَدٌ مِّنْكُمْ مِنَ الْغَائِطِ أَوْ لَمَسْتُمُ النِّسَاءَ فَلَمْ تَجِدُوا مَاءً فَتَيَمَّمُوا صَعِيدًا طَيِّبًا
فَأَمْسَحُوا بِرُءُوسِكُمْ وَأَيْدِيكُمْ مِنْهُ مَا يُرِيدُ اللَّهُ لِيَجْعَلَ عَلَيْكُمْ مِنْ حَرَجٍ وَلَٰكِنْ يُرِيدُ

لِيُظْهِرَكُمْ وَلِيُتِمَّ نِعْمَتَهُ عَلَيْكُمْ لَعَلَّكُمْ تَشْكُرُونَ ﴿٦﴾ [المائدة: 6]

。「しんこうする者たちよ、サラーに立つときは、あなたたちの
かおを洗（あら）い、うでをひじまで洗（あら）え。また頭（あたま）をなで、くるぶしまで足（あし）を洗（あら）うのだ。」食卓
章 6節

6・つづけて行うこと：ウドゥーのとちゅうで、あらった体の
場所（ばしょ）がかわいてしまうくらい、時間（じかん）をおかない
ように、つづけて行うことです。

たとえば、ウドゥーを半分（はんぶん）だけやり、のこりの半分
（はんぶん）はあとでやったりすると、正しいウドゥーにはなりません。
このようなでんしょうが、あります：「ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は、ある男（おとこ）がサラーして
おり、その足（あし）に水がかかっているのを見ました。ムハンマド
さま（しゅくふくとへいあんあれ）はかれに、ウドゥーをやりな
おし、サラーもしな
おすよう
言いました。」アブー・ダーウードの
でんしょう

6. ウドゥーのスナとは何ですか？ また、その数（か いず）は、いくつですか？

ウドゥーのスナとは、それをすればさらに大きなごほうびがも
らえますが、それをしなくても罪（つみ）にはならず、そのウドゥー
は正しいままであるようなものです。

1・ビスミッラーと言うこと：でんしょうに、こうあります。
「アッラーの名まえをと
なえな
かつた者に、ウドゥーはない。」ア
ブー・ダーウードの
でんしょう

2・スィワーク：このようなでんしょうが、あります：「もし、わたしのウンマにとって大変（たいへん）にならなかつたら、わたしはウドゥーのたびにスィワークを使（つか）うよう命じただろう。」アハマドのでんしょう

3・手を洗（あら）うこと：

4・ゆびのあいだを、洗（あら）うこと：でんしょうに、こうあります。「ウドゥーで、水をすみずみまで行きわたらせなさい。ゆびの間を洗（あら）い、はなの奥（おく）にまで水を入れなさい。あなたたちがサウムをしていないかぎりですが。」ティルミズイー、アブー・ダーウッドらのでんしょう

5・体のそれぞれの部分（ぶぶん）を、2回、3回と洗（あら）うこと。

6・みぎからはじめること。アーイシャのでんしょうに、このようにあります。「よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、靴（くつ）をはくとき、髪（かみ）をとかすとき、体（からだ）を洗（あら）うときなど、あらゆることにおいて、右（みぎ）から始（はじ）めるのが好（す）きでした。ブハーリーとムスリムのでんしょう7・ウドゥーのあとのズィクル：「アシュハド・アッラー・イラーハ・イッラッラーフ・ワフダフ・ラー・シャリーカ・ラフ・ワ・アシュハド・アンナ・ムハンマダン・アブドゥフ・ワ・ラスールフ」（わたしは、唯一（ゆいいつ）で、ならぶものがないアッラーのほかには神（かみ）がいないこと、ムハンマドさまがそのしもべであり使徒（しと）だと証言（しょうげん）します）」8・ウドゥーしたあと、2ラクアのサラアをすること。このようなでんしょうがあるためです：「わたしがやったこのウドゥーの通（とお）りにウドゥーをし、そのあいだ、雑念（ざつねん）にとらわれ

ることなく2ラクアのサラーをした者は、以前(いぜん)のつみを赦(ゆる)される。」ブハーリーとムスリムのでんしょう。

7. ウドゥーをなくすものは何ですか？

おしっこ(あな)と、おしりの穴(あな)からでるものです：おしっこ、うんち、おならなどです。

ねむったり、あたまがおかしくなってしまうたり、いしきをうしなってしまうたりしても、ウドゥーはなくなります。でんしょうに、こうあります：「目はおしりの栓(せん)。だからねむったら、ウドゥーしなさい。」アブー・ダーウードとイブン・マージャのでんしょうラクダの肉(にく)を食べること。ある男(おとこ)が、ムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)に、たずねました：「ラクダの肉(にく)を食べたら、わたしはウドゥーしますか？」ムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、言いました：「はい。」ムスリムのでんしょうおしっこがでるところや、うんちがでるところを、手で直接(ちよくせつ)さわること。このようのでんしょうがあります：「恥部(ちぶ)にさわってしまったら、ウドゥーをしなさい。」アブー・ダーウード、ティルミズイー、そのたのでんしょう

8. タヤンムムとは、何ですか？

タヤンムムとは：水がないとき、または水がつかえないときに、地面(じめん)の表面(ひょうめん)にある砂(すな)などをつかって、ウドゥーのかわりにすることです。アッラーはおっしゃいます。

﴿يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا لَا تَقْرَبُوا الصَّلَاةَ وَأَنْتُمْ سُكَرَىٰ حَتَّىٰ تَعْلَمُوا مَا تَقُولُونَ وَلَا جُنُبًا إِلَّا عَابِرِي سَبِيلٍ حَتَّىٰ تَغْتَسِلُوا وَإِنْ كُنْتُمْ مَرْضَىٰ أَوْ عَلَىٰ سَفَرٍ أَوْ جَاءَ أَحَدٌ مِّنْكُمْ مِنَ الْغَايِبِ أَوْ

لَمَسْتُمُ الْيَسَاءَ فَلَمْ تَجِدُوا مَاءً فَتَيَمَّمُوا صَعِيدًا طَيِّبًا فَامْسَحُوا بِوُجُوهِكُمْ وَأَيْدِيكُمْ إِنَّ اللَّهَ

كَانَ عَفْوًا غَفُورًا ﴿١٣﴾ [النساء: 43]

「水を見つけられなかったなら、きれいな地面（じめん）へと向かって（それにさわり、それから）あなたたちのかおと両手（りょうて）をなでよ。アッラーはよく寛恕（かんによ）され、ゆるしづかいお方。」婦人章 43節

9. どうやってタヤンムムしますか？

りょう手のひらで、砂（すな）を1回たたき、それからまた1回だけ、かおと、りょう手のおもてがわをなでます。ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、アンマールさま（アッラーのおよろこびあれ）にこう言いました：「こうするだけでよい。」そう言って、よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）はりょう手で地面（じめん）にふれ、そこに息（いき）をふきかけてから、顔（かお）と両手（りょうて）をなでました。プハーリーとムスリムのでんしょう。

10. どうしたらタヤンムムはなくなりますか？

ウドゥーがなくなるのと同じもので、タヤンムムもなくなります。

水が見つかったら、タヤンムムはなくなります。

11. ホッフとジャウラブとは、何ですか？

ホッフとは：皮（かわ）せいの、くつ下です。

ジャウラブとは：皮（かわ）せいではない、くつ下です。

ホッフもジャウラブも、その上をなでるだけですませることができます。ムギーラさまは、こう伝えています：「アッラーのしと

(しゆくふくとへいあんあれ)はウドゥーをし、ジャウラブの上をなでました。」アブー・ダーウッド、ティルミズィー、そのたのでんしょうブハーリーとムスリムのでんしょうには、こうあります：「アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)はウドゥーをし、ホッフの上をなでました。」

12. ホッフの上をなでることの、いみは何ですか？

ウドゥーが、かんたんになります。とくに冬(ふゆ)などのさむいときとか、りょこうのときとか、足(あし)にはいているものを脱(ぬ)ぐのが大変(たいへん)なときです。アッラーはおっしゃります。

﴿شَهْرُ رَمَضَانَ الَّذِي أُنزِلَ فِيهِ الْقُرْآنُ هُدًى لِّلنَّاسِ وَبَيِّنَاتٍ مِّنَ الْهُدَىٰ وَالْفُرْقَانِ فَمَنْ شَهِدَ مِنْكُمُ الشَّهْرَ فَلْيَصُمْهُ ۖ وَمَنْ كَانَ مَرِيضًا أَوْ عَلَىٰ سَفَرٍ فَعِدَّةٌ مِّنْ أَيَّامٍ أُخَرَ يُرِيدُ اللَّهُ بِكُمُ الْيُسْرَ وَلَا يُرِيدُ بِكُمُ الْعُسْرَ وَلِتُكْمِلُوا الْعِدَّةَ وَلِتُكَبِّرُوا اللَّهَ عَلَىٰ مَا هَدَيْتُمْ وَلَعَلَّكُمْ تَشْكُرُونَ﴾ [البقرة: 185]

。「アッラーはあなたたちにかんたんなことを求(もと)め、むずかしいことを求(もと)めない。」雌牛章 185節

13. ホッフの上をなでるときの、条件(じょうけん)は何ですか？

1・タハーラの状態(じょうたい)、つまりウドゥーをしてからホッフをはいていることです。ムギーラさま(アッラーのおよろこびあれ)は、言っています：「わたしは、よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)と、りょこうしていました。(よげんしゃさまがウドゥーをしようとしたとき、)わたしは、かれのホッフを脱(ぬ)がせようと思いました。そのとき、よげんしゃさま(しゆくふ

くとへいあんあれ)は言ったのです：“そのままにしておきなさい。わたしはその中に、タハーラを入れておいたのですから。”そしてよげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、ホッフの上をなでるだけですませました。」ブハーリーとムスリムのでんしよう

2・ホッフがきれいであること。よごれたものの上を、なでることはできません。

3・ホッフが、ウドゥーで足(あし)を洗(あら)わなければならない場所(ばしょ)を、カバーしていること。

4・なでるだけですませられる期間(きかん)内であること。りょう中(ちゆう)の中(ちゆう)の人は3日間、そうでない人は1日のあいだだけ、なでることができます。アリーさま(アッラーのおよろこびあれ)のハディースによると：アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)は(足をなでるだけですませられる期間を)、りょう中(ちゆう)の中(ちゆう)の人には3日間、そうでない人には1日のあいだだけとしました。ムスリムのでんしよう

14. ホッフの上のなで方は、どうしますか？

水でぬれたりょう手で、りょう足(あし)を指(ゆび)さきから、すねのあたりまでなでます。みぎ手でみぎ足(あし)、ひだり手でひだり足(あし)をなでます。なでるときには、手の指(ゆび)をひらきぎみにし、一どだけなでます。くりかえしません。

15. ホッフの上をなでることができなくなるのは、どんなときですか？

1・なでるだけでよい期間(きかん)が、おわってしまうこと。その期間(きかん)は、りょう中(ちゆう)の中(ちゆう)の人(ひと)だ(た)つ(つ)たら3日間、そうでない人(ひと)だ(た)つ(つ)たら1日のあいだだけです。

2・ホップをぬぐこと。ホップをりょう方、またはかた方ぬいでしまうと、もうその上をなでることはできなくなります。16・サラの徳（とく）は何ですか？アブー・フライラ（アッラーのおよろこびあれ）によれば、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「あなた方の（いえの）ドアの前（まえ）に川があつて、そこで毎日（まいにち）5回洗（あら）うとしたら、体（からだ）にダランなど残（のこ）るか？」（サハーバたちは）言った：「ダランなど、少しも残（のこ）りません。（よげんしゃさまは）言った：「5回のサラもおなじだ。アッラーはそれによつて、つみをけして下さる。」ブハーリーとムスリムのでんしょうダランとは：よごれのことです。

16. サラーの徳（とく）は何ですか？

サラの徳（とく）は何ですか？アブー・フライラ（アッラーのおよろこびあれ）によれば、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「あなた方の（いえの）ドアの前（まえ）に川があつて、そこで毎日（まいにち）5回洗（あら）うとしたら、体（からだ）にダランなど残（のこ）るか？」（サハーバたちは）言った：「ダランなど、少しも残（のこ）りません。（よげんしゃさまは）言った：「5回のサラもおなじだ。アッラーはそれによつて、つみをけして下さる。」ブハーリーとムスリムのでんしょうダランとは：よごれのことです。

17. サラーのいみは何ですか？

・サラとは：とくべつな言葉（ことば）とうごきによつておこなう、アッラーへのイバーダです。それはタクビールによつてはじまり、タスリームでおわります。

18. サラーのいちづけは、何ですか？

サラはムスリムにとっての義務（ぎむ）です。

アッラーはおっしゃります。

﴿فَإِذَا قُضِيَتْ الصَّلَاةُ فَادْكُرُوا اللَّهَ قِيَمًا وَفَعُودًا وَعَلَىٰ جُنُوبِكُمْ فَإِذَا اطْمَأْنَنْتُمْ فَأَقِيمُوا

الصَّلَاةَ إِنَّ الصَّلَاةَ كَانَتْ عَلَى الْمُؤْمِنِينَ كِتَابًا مَّوْقُوتًا ﴿١٣﴾﴾ [النساء: 103]

。「サラールはムウミン（しんこうしゃ）たちに、きめられた時間（じかん）に義務（ぎむ）づけられている。」 婦人章 103節

19. サラールをしないとどうなりますか？

サラールをしないことは、クフル（ふしんこう）です。ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「わたしたちと、かれら（ふしんこうしゃ）とのあいだのちがいは、サラールである。サラールをやらない人は、クフルをしていることになります。」 アフマド、ティルミズイーなどのでんしょう

20. まいにち、何回のサラールをしなければならないですか？ それぞれのサラールのラクアの数（かず）は、いくつですか？

まいにち5回のサラールがあります。ファジュールのサラールは2ラクア、ズフルのサラールは4ラクア、アスルのサラールは4ラクア、マグリップのサラールは3ラクア、イシャーのサラールは4ラクアです。

21. サラールが正しくなる条件（じょうけん）は何ですか？

1・ムスリムであること：ムスリムでない人のサラールは、正しくなりません。それはシルクがあるためです。アッラーはおっしゃります：

﴿وَلَقَدْ أُوحِيَ إِلَيْكَ وَإِلَى الَّذِينَ مِنْ قَبْلِكَ لَئِنْ أَشْرَكْتَ لَيَحْبَطَنَّ عَمَلُكَ وَتَكُونَنَّ مِنَ

الْخَاسِرِينَ﴾ [الزمر: 65]

「もしシルクするなら、あなたの行（おこな）いはむだになる。

」 集団章 65節

2・りせい：頭（あたま）がせいじょうでない人のサラーは、正しくなりません。

3・ふんべつ：ふんべつのない小さな子のサラーは、正しくなりません。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、言いました：「3しゆるいの人に、せきにんはない：ねむっている者が目を覚（さ）ますまで。子どもが大人になるまで。正気（しょうき）でなくなった者が、正気（しょうき）になるまで。」ティルミズイー、アブー・ダーウードなどのでんしょう

4・ニイヤ（いと）：次のようなでんしょうがあります。「おこないは、ニイヤできる。人は、ニイヤしたものを手に入れる。」ブハーリーのでんしょう

5・サラーのじかんに入っていること。アッラーはおっしゃります。

﴿فَإِذَا قَضَيْتُمُ الصَّلَاةَ فَادْكُرُوا اللَّهَ قِيَمًا وَفَعُودًا وَعَلَىٰ جُنُوبِكُمْ فَإِذَا اطْمَأْنَنْتُمْ فَأَقِيمُوا

الصَّلَاةَ إِنَّ الصَّلَاةَ كَانَتْ عَلَى الْمُؤْمِنِينَ كِتَابًا مَوْفُوتًا﴾ [النساء: 103]

「サラーはムウミン（しんこうしゃ）たちに、きめられた時間（じかん）に義務（ぎむ）づけられている。」婦人章 103節

6・けがれからのタハーラ：次のようなでんしょうがあります。「もしあなたたちが汚（けが）れた状態（じょうたい）だったら、ウドゥーをするまで、アッラーはあなたたちのサラーをうけ入れない。ブハーリーとムスリムのでんしょう

7・よごれ（ナジャーサ）からのタハーラ・アッラーはおっしゃります：

﴿وَتِيَابَكَ فَطَهِّرْ﴾ [المدرثر: 4]

「そしてあなたの服（ふく）を、きよめよ。」包る者章 4節
8・アウラをかくすこと・アッラーはおっしゃります。

﴿يَبْنَىٰٓ عَادَمَ خُدُوٓا زِينَتَكُمْ عِنْدَ كُلِّ مَسْجِدٍ وَكُلُوٓا وَاشْرَبُوا وَلَا تُسْرِفُوا إِنَّهُ لَا يُحِبُّ

الْمُسْرِفِينَ﴾ [الأعراف: 31]

「アーダムの子らよ、あらゆるマスジドであなたたちの飾（かざり）を身（み）につけなさい。」高壁章 31節

9・キブラの方にむかうこと・アッラーはおっしゃります。

﴿قَالَ يٰٓمُوسَىٰٓ اِنِّي اصْطَفَيْتُكَ عَلَى النَّاسِ بِرِسَالَاتِي وَبِكَ لَمِى فُحْدًا مَّا ءَاتَيْتُكَ وَكُن مِّنْ

الشَّاكِرِيْنَ﴾ [الأعراف: 144]

「あなたの顔（かお）を、マスジド・ハラームの方に向けよ。またどこにあらうとも、（サラーのときは）あなたたちの顔（かお）をそちらへと向けよ。」雌牛章 144節

22. サラーのルクン（なくてはならないこと）は何ですか？

のルクンがあります。次のとおりです：

義務（ぎむ）のサラーのとき、そうできるなら起立（きりつ）すること。イムラーン・ブン・フサイン（アッラーのおよろこびあれ）によると、よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「立（た）ってサラーしなさい。もしできなければ座（すわ）って。それもできなければ、よこになってしなさい。」ブ

ハーリーのでんしょうタクビーラト・イフラーム：これは、「アッラーフ・アクバル（アッラーはいだいです）」ということばです。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言っています：「サラーのために立（た）ったら、タクビールしなさい。」ブハーリーとムスリムのでんしょうアルファァーティハをよむこと。よげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）は、言いました：「クルアーンのアルファァーティハをよまない者に、サラーは有効（ゆうこう）とならない。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

ルクウ：背中（せなか）をまっすぐにのぼし、頭（あたま）を背中（せなか）と同じ高（たか）さにします。

ルクウから、起立（きりつ）のしせいにもどること。

まっすぐ立つこと。よげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「それからルクウをして、ルクウのじょうたいのまま、おちつきなさい。そのあとルクウから、まっすぐ立ち上がりなさい。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

サジダ：サジダのときは、ひたい、鼻（はな）、りょう手、りょうひざ、りょう足（あし）の指（ゆび）さきを、じめんにつけます。

サジダから元のじょうたいにもどること。

2つのサジダのあいだに、すわったじょうたいでいること。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「それからサジダをして、サジダのじょうたいのまま、おちつきなさい。そのあとサジダから、すわったじょうたいになっておちつきなさい。」ブハーリーとムスリムのでんしょうひだり足の上にすわり、みぎ足を立て、それをキブラの方に向けるのが、スンナです。アーイシャさまは言っています：「ムハンマドさま（しゅくふくとへい

あんあれ)は、ひだり足の上にすわり、みぎ足を立てていました。」ムスリムのでんしょう

おちついたじょうたい。からだをうごかすルクンとルクンのあいだは、このじょうたいにします。

さいごのタシャッフド・イブン・マスウード(アッラーのおよろこびあれ)さまは言いました:「タシャッフドが義務(ぎむ)づけられるまえ、わたしたちはサラールの中でこう言っていました:“アッラーにサラームを。ジブリールとミーカーイルにサラームを。”すると、アッラーのしとは言いました:“そのように言ってはなりません。アッラーがサラーム(へいあん)だからです。しかし、こう言いなさい:アッタヒーヤートゥ リッラーヒ、ワッサラワートゥ、ワッタイバートゥ。アッサラーム アライカ アイユハンナ ビユワ ラハマトゥッラーヒ ワバラカートゥフ。アッサラーム アライナー ワアライーバーディッラーヒッサーリヒーン。アシュハドゥアッラー イラーハイッラッラーフ ワアシュハドゥ アンナムハンマダン アブドゥフ ワラスールフ(すべての讚美(さんび)といのりとよいものは、アッラーに。預言者(よげんしゃ)よ、あなたの上に平安(へいあん)とアッラーの慈悲(じひ)とバラカがありますように。わたしたちに、そしてアッラーの敬虔(けいけん)なしもべたちに平安(へいあん)あれ。わたしはアッラーのほかには神(かみ)がないこと、ムハンマドさまがそのしもべであり使徒(しと)だと証言(しょうげん)します。”」ナサーイーのでんしょう

タシャッフドのためにすわっていること。

2つのタスリーム。2回、「アッサラームアライクム ワ ラフマトウッラー」と言います。それは、このようなでんしょうがあるからです：「ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、みぎとひだりに、こうタスリームしていました：“アッサラームアライクム ワ ラフマトウッラー、アッサラームアライクム ワ ラフマトウッラー。”」ティルミズイーらのでんしょう

ルクンをじゅんぱんにすること。もしルクーウのまえにわざとサジダしたら、サラールはむこうになります。もしうっかりそのようにしてしまつたら、ルクーウをまたやりなおし、ふたたびサジダします”。

23. サラールのワージブ（ぎむ）は何ですか？

サラールのワージブ（ぎむ）は8つあります：

- 1・タクビーラトゥ・アル＝イフラームのほかのタクビール。
- 2・イマームと、ひとりでサラールをする者が、「サミアッラーフ・リマン・ハミダフ（アッラーはかれをたたえる者を、聞（き）いて下さる）」と言うこと。
- 3・「ラッパナー・ワ・ラカルハムド（わたしたちの主よ、あなたにたたえあれ）」ということば。
- 4・「スプハーナ・ラッビヤルアズィーム（わたしのいだいな主にたたえあれ）」ということばを、ルクーウのときに1回は言うこと。
- 5・「スプハーナ・ラッビヤルアラー（わたしのしこうの主にたたえあれ）」ということばを、サジダのときに1回は言うこと。
- 6・「ラッビグフィル・リー」ということばを、2つのサジダのあいだに言うこと。
- 7・1回目のタシャッフド。
- 8・1回目のタシャッフドのために、すわること。

24. サラーの中のスンナ (すすめられること) は何ですか?

サラーの中のスンナ (すすめられること) は、11あります:

1・タクビーラトゥ・アル=イフラームのあと、「スブハーナカッラーフンマ・ワ・ビハムデイカ、ワ・タバーラカスムカ・ワ・タアーラー・ジャッドッカ、ワ・ラーイラーハ・ガイルカ (アッラーよ、あなたに賞賛 (しょうさん) と讃美 (さんび) あれ。あなたの名は祝福 (しゅくふく) にあふれ、あなたのものごとは崇高 (すうこう) です。あなたのほかに神 (かみ) はありません)」と言うこと。これは「はじまりのドゥアー」とよばれます。

2・タアウズ: つまり、「アウズ・ビッラーヒ・ミナッシャイターニッラジーム (わたしはアッラーに、呪 (のろ) われたシャイターンからのご加護 (かご) をもとめます)」ということばを言うこと。

3・バスマラ: つまり、「ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム (慈悲 (じひ) あまねく慈愛 (じあい) ふかいアッラーの名 (な) において)」と言うこと。

4・「アーミーン (そのようにあってください)」と言うこと。

5・ファーティハしょうのあと、べつのスーラをよむこと。

6・イマームが声 (こえ) に出してよむこと。

7・「サミアッラーフ・リマン・ハミダフ (アッラーはかれをたたえる者を、聞 (き) いて下さる)」と言ったあと、「ミルアッサマーワーティ、ワ・ミルアルアルディ、ワ・ミルア・マーシウタ・

ミン・シャイン・バアドウ（あなたへの讚美（さんび）は、天地（てんち）とその間にあるもの、そしてあなたがのぞむその他すべてのものを、みたくします）」と言うこと。

8・ルクウのときのタスピーフ、つまり「スプハーナ・ラッピヤルアズィーム（わたしのいだいな主にたたえあれ）」ということばを、ルクウのときに2回、3回、またはそれいじょう言うこと。

9・サジダのときのタスピーフ、つまり「スプハーナ・ラッピヤルアラー（わたしのしこうの主にたたえあれ）」ということばを、サジダのときに2回いじょう言うこと。

10・2つのサジダのあいだに言う「ラッピグフィル・リー」ということばを、2回いじょう言うこと。

11・2回目のタシャッフドのあと、サラート・アランナビー（よげんしゃさまに、アッラーからのしゆくふくとサラームをいのること）を言い、そのあとにドウアーすること。

サラートの動（うご）きのスンナとしては、次のようなものがあります：

- 1・タクビーラトゥ・アル＝イフラームのとき、りょう手をあげること。
- 2・ルクウをするとき、りょう手をあげること。
- 3・ルクウから立ち上がる時、りょう手をあげること。
- 4・そのあとに、りょう手をさげること。
- 5・立っているとき、みぎ手をひだり手の上におくこと。
- 6・サジダのとき額（ひたい）をつけるあたりの場所（ばしょ）を、いつも見るようにすること。
- 7・立っているとき、りょう足のあいだをあけておくこと。

8・ルクーッするとき、指（ゆび）をひらいたりょう手で、りょうひぎをつかむこと。背中（せなか）をまつすぐにのぼし、頭（あたま）を背中（せなか）と同じ高（たか）さにすること。

9・サジダするとき、地面（じめん）につけるべき体の場所（ばしょ）を、地面（じめん）にきちんとつけること。

10・サジダするとき、りょうわきを、体からはなすこと。おなかは、りょうももからはなすこと。りょうももと、ふくらはぎをくつつけないこと。ひぎとひぎを、はなすこと。りょう足のさきを立てること。りょう足の指（ゆび）をひらいて、地面（じめん）につけること。りょう手は、りょう肩（かた）と同じくらの場所（ばしょ）にひらいておくこと。また、手の指（ゆび）はまつすぐそろえること。

11・2つのサジダのあいだと、1回目のタシャップドのとき、みぎ足を立て、ひだり足の上にすわること。2回目のタシャップドのとき、タワツルクのすわりかたをすること（みぎ足を立て、ひだり足の上にすわりますが、ひだり足はみぎ足の外に出します）。

12・2つのサジダのあいだのとき、りょう手をのぼして、りょうもの上におくこと。その指（ゆび）はそろえておくこと。タシャップドの中でアッラーのズィクルをするときには、みぎ手の人さし指（ゆび）を立てます。

13・タスリームのとき、みぎとひだりを向くこと。

25. サラーを無効（むこう）にすることは何ですか？

①サラーのルクン（ぜったいにやらなくてはならないこと）か条件（じょうけん）が欠（か）けていること。

②わざと話（はな）すこと。

③たべたり、のんだりすること。

④よけいな動（うご）きをたくさん、つづけてすること。

⑤サラーの中のワージブ（ぎむ）を、わざとやらないこと。

26. どのようにサラーしますか？

サラーは、次のようにおこないます：

①キブラの方に、体の全身（ぜんしん）を向けます。わきみをしたり、体をよこに向けたりしません。

②心（こころ）で、しようと思（おも）うサラーのニヤをします。言葉（ことば）には出しません。

③タクビーラトゥ・アル＝イフラムをし、「アッラーフ・アクバル（アッラーはいだいなり）」と言い、りょう手をりょう肩（かた）の位置（いち）まで上げます。

④むねの前（まえ）にりょう手をおきます。みぎ手をひだり手の上（うへ）におきます。

⑤サラーをはじめるドゥアーを言（い）います：「アッラーよ、あなたが東（ひがし）と西（にし）のあいだを遠（とお）くしたように、わたしと罪（つみ）の間（あいだ）を遠（とお）くしてください。アッラーよ、白（しろ）い服（ふく）がよごれからきれいになるように、わたしを罪（つみ）からきれいにしてください。アッラーよ、雪（ゆき）と水（みづ）と雹（ひょう）で、わたしを罪（つみ）から洗（あら）ってください。」

または、こう言（い）います：「アッラーよ、あなたへのさんびと共（とも）に、たたえます。あなたの名（な）まえは祝福（しゅくふく）にあふれ、あなたのお力（ちから）はとてつもありません。あなたの他（ほか）に、神（かみ）はありません。」

⑥イスティアーザを言（い）います：「わたしはアッラーに、呪（のろ）われたシャイターンからのご加護（かご）をもとめます。」⑦バスマラを言（い）、ファーティハしょうをよみます：

﴿بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ ﴿١﴾ أَحْمَدُ لِلَّهِ رَبِّ الْعَالَمِينَ ﴿٢﴾ الرَّحْمَنُ الرَّحِيمُ ﴿٣﴾ مَلِكِ يَوْمِ الدِّينِ

﴿٤﴾ إِيَّاكَ نَعْبُدُ وَإِيَّاكَ نَسْتَعِينُ ﴿٥﴾ أَهْدِنَا الصِّرَاطَ الْمُسْتَقِيمَ ﴿٦﴾ صِرَاطَ الَّذِينَ أَنْعَمْتَ عَلَيْهِمْ غَيْرِ

الْمَغْضُوبِ عَلَيْهِمْ وَلَا الضَّالِّينَ ﴿٧﴾﴾ [الفاتحة: 1-7]

1 「慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（な）において2すべてのぬしアッラーに、たたえあれ。3慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいお方。4報（むく）いの日の、しはいしゃ。5わたしたちは、あなただけをイバーダし、あなただけに助（たす）けをもとめます。6わたしたちを、まっすぐな道（みち）にみちびいてください。7あなたが、お恵（めぐ）みをあたえた者たちの道（みち）に。（あなたの）いかりをうけたり、まよってしまったりした者たちの道（みち）ではなく。開端章 1 - 7 節

それから「**アーミーン**」と言います。それは、「アッラーよ、おこたえください」という意味（いみ）です。

⑧それから、クルアーンの別（べつ）のかしよから、かんたんなものをおよみます。ファジュルのときは、長（なが）めのものをよみます。

⑨それから、ルクーウします。アッラーをたたえて、おじぎするような体勢（たいせい）になります。ルクーウするときには、「アッラーフ・アクバル」と言い、りょう手をりょう肩（かた）の位置（いち）まで上げます。ルクーウするときには、次のことがスンナです：指（ゆび）をひらいたりょう手で、りょうひざをつかむこと。背中（せなか）をまっすぐにのぼし、頭（あたま）を背中（せなか）と同じ高（たか）さにすること。

⑩ルクーウしながら、「スプハーナ・ラッビヤルアズィーム（わたしのいだいな主にたたえあれ）」と3回言います。「スプハーナ・カッラーフンマ・ワ・ビハムデイカ、アッラーフンマグフィル・リ

ー（アッラーよ、あなたに賞賛（しょうさん）と讚美（さんび）あれ。アッラーよ、わたしをゆるして下さい）」と言えば、もつとよいです。

⑪「サミアッラーフ・リマン・ハミダフ（アッラーはかれをたたえる者を、聞（き）いて下さる）」と言いながら、ルクーウから上体（じょうたい）をもどします。このとき、りょう手をりょう肩（かた）の位置（いち）まで上げます。イマームのあとについている者は、「サミアッラーフ・リマン・ハミダフ」と言わず、「ラッパナー・ワ・ラカルハムド（わたしたちの主よ、あなたにたたえあれ）」と言います。

⑫起立（きりつ）の体勢（たいせい）にもどったら「ラッパナー・ワ・ラカルハムド（わたしたちの主よ、あなたにたたえあれ）。ミルアッサマーワーティ、ワ・ミルアルアルディ、ワ・ミルア・マーシウタ・ミン・シャイイン・バアドゥ（あなたへの讚美（さんび）は、天地（てんち）とその間にあるもの、そしてあなたがのぞむその他すべてのものを、みたくします）」と言います。

⑬それから1回目のサジダをする。サジダしながら「アッラーフ・アクバル」と言い、ひたい、鼻（はな）、りょう手、りょうひざ、りょう足（あし）の指（ゆび）さきを、じめんにつけます。りょうわきを体からはなし、りょう腕（うで）はじめんにつけません。りょう手の指（ゆび）さきは、キブラの方に向けます。

⑭サジダしながら、「スブハーナ・ラッビヤルアアラー（わたしのしこうの主にたたえあれ）」と3回言います。「スブハーナカッラーフンマ・ワ・ビハムデイカ、アッラーフンマゲフィル・リー（アッラーよ、あなたに賞賛（しょうさん）と讚美（さんび）あれ。アッラーよ、わたしをゆるして下さい）」と言えば、もつとよいです。

⑮「アッラーフ・アクバル」と言いながら、サジダから上体（じょうたい）をもどします。

⑯2つのサジダのあいだ、すわります。このとき、みぎ足を立て、ひだり足の上にすわります。りょう手は、りょうもも、りょう膝（ひざ）の上におきます。

⑰2つのサジダのあいだに、こう言います：「ラッビグフィル・リー、ワルハムニー、ワフディニー、ワルズクニー、ワジュブルニー、ワアーフィニー（主よ、わたしをゆるして下さい、わたしをいつくしんで下さい、わたしをみちびいて下さい、わたしにおめぐみ下さい、わたしをただして下さい、わたしをぶじにしてください）。」

⑱それから2回目のサジダをします。「アッラーフ・アクバル」と言いながらサジダし、1回目のサジダと同じことをし、言います。

⑲「アッラーフ・アクバル」と言いながら、2回目のサジダから立ち上がり、2ラクア目をはじめます。2ラクア目では1ラクア目と同じことをし、言います。ただし、⑤のドゥアーは言いません。

⑳2ラクア目がおわったら、「アッラーフ・アクバル」と言って、すわったままでいます。すわりかたは、2つのサジダのあいだですわるときと、同じすわりかたです。

㉑すわっているあいだ、タシャツフドをよんでこう言います：「アッタヒーヤートウリッラーヒ、ワツサラワートウ、ワツタイバートウ。アッサラームアライカアイユハンナビーユワラハマトウツラーヒワバラカートウフ。アッサラームアライナーワアライーバーディッラーヒツサーリヒーン。アシュハドゥアッラーイラーハイツラツラーフワアシュハドゥアンナムハンマダンアブドゥウワラスールフ（すべての讚美（さんび）といのりとよいものは、アッラーに。預言者（よげんしゃ）よ、あなたの上に平安（へいあん）とアッラーの慈悲（じひ）とバラカがありますように。わたしたちに、そしてアッラーの敬虔（けいけん）なしもべたちに平安（へいあ

ん)あれ。わたしはアッラーのほかには神(かみ)がいないこと、ムハンマドさまがそのしもべであり使徒(しと)だと証言(しょうげん)します。」「アッラーフンマサッリ アラー ムハンマディン
ワアラー アーリ ムハンマドゥ。カマー サッライタ アラー イブラー
ヒーマ ワアラー アーリ イブラーヒーマ、インナカ ハミードゥンマ
ジードゥ。アッラーフンマ バーリク アラー ムハンマディン ワア
ラー アーリ ムハンマドゥ。カマー バーラクタ アラー イブラーヒーマ
ワアラー アーリ イブラーヒーマ、インナカハミードゥン マジード
ゥ(アッラーよ、あなたがイブラーヒームとその一族(いちぞく)
に榮譽(えいよ)をさずけたように、ムハンマドとムハンマドの一
族(いちぞく)にも榮譽(えいよ)をおさずけ下さい。あなたはす
べての讚美(さんび)と榮譽(えいよ)の主です。アッラーよ、あな
たがイブラーヒームとその一族(いちぞく)を祝福(しゆくふく)
したように、ムハンマドとムハンマドの一族(いちぞく)を祝福
(しゆくふく)して下さい。あなたはすべての讚美(さんび)と榮
誉(えいよ)の主です。)。」「アウーズ ビッラーヒ ミンアザービ
ジャハンナム。ワ ミンアザービルカブル。ワ ミンフィットウナティル
マハヤー ワルママートゥ。ワ ミンフィットウナティルマスイーヒッダ
ツジャール(わたしはアッラーに、ジャハンナムの罰(ばつ)、墓
(はか)の罰(ばつ)、生きることと死(し)の災難(さいなん)、
偽(にせ)メシアの災難(さいなん)からのご加護(かご)をいの
ります。)。」それから、自分(じぶん)の現世(げんせ)と来世
(らいせ)のためになることについて、すきなドゥアーでアッラー
にいのります。

②それからみぎを向いて、「アッサラームアライクム ワ ラフ
マトウッラー」とあいさつします。ひだりにも、同じようにしま
す。

㉓ 3ラクア目、4ラクア目まであるサラーのばあい、1回目のタシャップドは、「アシュハドゥアッラー イラーハイッラッラーフ ワアシュハドゥ アンナムハンマダン アブドゥフワラスールフ」というところでおえます。

㉔それから「アッラーフ・アクバル」と言い、立ち上がります。そのとき、りょう手をりょう肩（かた）の位置（いち）まで上げます。

㉕のこりのラクアは、2ラクア目と同じようにおこないます。ただし、クルアーンをよむときにはファーティハしょうだけをよみません。

㉖それから、タワツルクのすわりかたですわります。みぎ足を立て、ひだり足の上にすわりますが、ひだり足はみぎ足の外に出します。りょう手は1回目のタシャップドのときのようにして、りょうももの上におきます。

㉗このすわりかたのまま、タシャップドをぜんぶよみます。

㉘それからみぎを向いて、「アッサラームアライクム ワ ラフマトゥッラー」とあいさつします。ひだりにも、同じようにします。

27. サラーのタスリームのあと、どんなズィクルをよみますか？

アスタグフィルッラー（わたしはアッラーにおゆるしをいります）」と3回、言います。

「アッラーよ、あなたこそが平安（へいあん）で、平安（へいあん）はあなたからのものです。崇高（すうこう）さと榮譽（えいよ）の主（ぬし）にたたえあれ。」

「唯一（ゆいいつ）で、ならばものがないアッラーのほかに神（かみ）はいません。かれにこそ、王権（おうけん）とさんびがあり、かれは何（なん）でもできるおかた。アッラーよ、あなたがあたえるものを禁（きん）じる者はなく、あ

あなたが禁（きん）じるものをあたえる者はいません。どんな幸運（こううん）な者も、その幸運（こううん）さがあなたをさしおいて役（やく）にたつことはありません。」

「唯一（ゆいいつ）で、ならぶものがないアッラーのほかに神（かみ）はいません。かれにこそ、王権（おうけん）とさんびがあり、かれは何（なん）でもできるおかた。アッラーによってでしか、いかなる変化（へんか）も力（ちから）もありません。アッラーのほかに神（かみ）はなく、わたしたちはかれの他（ほか）に何（なに）もイバーダしません。お恵（めぐ）みと、ご厚意（こうい）と、よきさんびは、かれにあります。アッラーのほかに神（かみ）はいません。たとえ不信仰者（ふしんこうしゃ）たちが嫌（きら）つても、わたしたちはアッラーだけに誠実（せいじつ）に仕（つか）えます。」

「スプハーナッラー（アッラーにたたえあれ）」と33回、

「アルハムドゥリッラー（アッラーにさんびあれ）」と33回、

「アッラーフ・アクバル（アッラーはいだいです）」と33回、

そして100回目に、こう言います：「唯一（ゆいいつ）で、ならぶものがないアッラーのほかに神（かみ）はいません。かれにこそ、王権（おうけん）とさんびがあり、かれは何（なん）でもできるおかた。」

ファジュルとマグリブのあとは、イフラスしょう、ファラクしょう、ナスしょうを3回ずつよみます。その他のサラアのあとでは、1回ずつよみます。

アーヤトルクルスィーを1回よみます。

28. スナン・ラワーティブとは何ですか？ その徳（とく）は何ですか？

ファジュルのまえの2ラクア、
ズフルのまえの4ラクア、
ズフルのあとの2ラクア、
マグリブのあとの2ラクア、
イシャーのあとの2ラクアです。

その徳（とく）について、よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、言いました：「ひるとよるに、すすんで12ラクアおこなう者には、アッラーがジャンナで家（いえ）をたててくれます。」ムスリムとアフマド、そのたのでんしょう

29. いっしゅうかんで、いちばんよい日は何ですか？

きんよう日です。ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）はいいました：「あなたたちの日でいちばんよい日は、きんよう日です。きんよう日にアーダムはつくられ、死（し）に、（ふっかつの日の）笛（ふえ）はなり、すべてのものは死（し）にます。だからきんよう日に、わたしのためにサラート・アランナビー（よげんしゃさまに、アッラーからのしゆくふくとサラームをいのること）をたくさんおこないなさい。あなたたちのサラート・アランナビーは、わたしにとどきます。」サハーバは言いました：「アッラーのしとよ、あなたが死んでしまったら、わたしたちのサラート・アランナビーはどうやってあなたにとどくのですか？」アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「アッラーは、よげ

んしゃたちの体をじめんがむしばむことを、きんじたのです。」ア
ブー・ダーウードらのでんしょう

30. きんよう日のサラーはどのようなものですか？

次の条件（じょうけん）があてはまっている人にとって、義務（ぎむ）です：①ムスリム。②おとこの人。③おとな。④せいしんてきにせいじょう。⑤ていじゅうしゃ。

アッラーはおっしゃります。

﴿يَتَأْتِيهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا لَا تُلْهِكُمْ ءَمْوَالُكُمْ وَلَا ءَوْلَادُكُمْ عَنْ ذِكْرِ اللَّهِ وَمَنْ يَفْعَلْ ذَلِكَ

فَأُولَٰئِكَ هُمُ الْخٰسِرُونَ﴾ [المنافقون: 9].

。「信仰（しんこう）する者たちよ、きんよう日のサラーによびかけられたら、アッラーのズィクルに急（いそ）ぎ、商売（しょうばい）をやめよ。もしあなたたちが知（し）っているなら、それがあなたたちのために最（もっと）もよい。」偽信者たち章 9節

31. きんよう日のサラーのラクアの数（かず）はいくつですか？

きんよう日のサラーのラクアの数（かず）は、2ラクアです。イマームはクルアーンをこえに出してよみます。サラーのまえには2つのフトバがあります。

32. きんよう日のサラーをしなくてもよいですか？

ちゃんとした理由（りゆう）もなく、きんよう日のサラーをやらないのはいけません。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「きんよう日のサラーを、めんどろくさがって3回連続（れんぞく）でやらなかった者は、アッラーから心（こ

ろ)をふさがれてしまいます。」アブー・ダーウッドらのでんしょう。

3.3. きんよう日のサラーのスナは何ですか？

次のものがスナです：

①グスル(体をぜんぶあらうこと)。ムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「きんよう日のグスルは、すべての大人(おとな)のムスリムの義務(ぎむ)です。」ブハーリーのでんしょう

2・こうすいをつけること。ムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「ムスリムはきんよう日、グスルしなければなりません。また、いえのこうすいをつけなさい。」アフマドとティルミズイーのでんしょう

3・いちばんよい服(ふく)をきること。ムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「余裕があるなら仕事着(しごとぎ)とは別に、きんよう日(のサラー)のために2まいの服(ふく)があってもよいです。」(2まいの服とは、体の上にきる服と、足にはくものこと)イブン・マージャ、マーリクらのでんしょう

4・早(はや)めにマスジドに行くこと。

5・あるいてマスジドに行くこと。ムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「きんよう日に頭(あたま)をあらい、グスルをし、はやく出て、はやくつき、(イマームの)ちかくで聞(き)き、よく耳(みみ)をかたむける者には、そこへとあるいて行った一歩(いっぽ)ごとに、一年(いちねん)かんサウムし、サラーをしたのと同じごほうびがあります。」ティルミズイーとナサーイーのでんしょう

6・サラート・アランナビー（よげんしゃさまに、アッラーからのしゆくふくとサラームをいのること）をたくさんすること。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「きんよう日、わたしにサラート・アランナビーをたくさんしなさい。それは天使（てんし）たちから証言（しょうげん）されます。わたしにサラート・アランナビーをしたら、それをおえるまで、それはわたしに提示（ていじ）されるのです。」イブン・マージャのでんしょう

7・洞窟章（クルアーン18ばんめのスーラ）をよむこと。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「きんよう日に洞窟章（クルアーン18ばんめのスーラ）をよんだ者は、2つのきんよう日のあいだ、光（ひかり）で照（て）られます。」ハーキムらのでんしょう

8・ドゥアーがうけいれられる時間帯（じかんたい）をさがすこと。アブー・フライラ（アッラーのおよろこびあれ）によれば、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は、金曜日（きんようび）について、こう言いました：「その日、もしムスリムが立ってサラアをし、アッラーに何（なに）かをいのれば、かならず叶（かな）えられる時間（じかん）がある。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

34. ジャマーア（ほかの人たちとするサラア）でサラアをすると、何がよいですか？

アブドッラー・ブン・アムル（アッラーのおよろこびあれ）によれば、よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「ほかの人とするサラアは、一人でするサラアよりも27レベルすぐれている。」ムスリムのでんしょう

35. サラーの中でのフシューウ（おそれ）とは、何ですか？

きもちがこめられていて、体がおちついた状態（じょうたい）にあることです。

アッラーはおっしゃります。

﴿قَدْ أَفْلَحَ الْمُؤْمِنُونَ ① الَّذِينَ هُمْ فِي صَلَاتِهِمْ خَادِعُونَ ②﴾ [المؤمنون: 2-1]

アッラーはおっしゃります。「信仰者（しんこうしゃ）たちは、たしかに成功（せいこう）する。（かれらは、）サラーにおいて、フシューウ（おそれ）の状態（じょうたい）にある者たち。」信仰者たち章 1 - 2節

36. ザカーとは何ですか？

きめられた時間（じかん）に、きめられた種類（しゅるい）の財産（ざいさん）にたいして、きめられた人びとに与（あた）えるよう義務（ぎむ）づけられるものです。

ザカーはイスラームの五行（ごぎょう）の一つで、ゆたかな者からめぐまれない者にしはられる、義務（ぎむ）のサダカ（ほどこし）です。

アッラーはおっしゃります。

﴿وَأَقِيمُوا الصَّلَاةَ وَآتُوا الزَّكَاةَ وَارْكَعُوا مَعَ الرَّاكِعِينَ ④﴾ [البقرة: 43]

「ザカーをしはらいなさい。」雌牛章 43節

37. すすめられるサダカ（ほどこし）とは、何ですか？

ザカーイがいのサダカです。よいことにしはられるサダカで、いつでもすることができます。

アッラーはおっしゃります。:

﴿يَأْتِيهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا كُتِبَ عَلَيْكُمُ الصِّيَامُ كَمَا كُتِبَ عَلَى الَّذِينَ مِن قَبْلِكُمْ لَعَلَّكُمْ

تَتَّقُونَ﴾ [البقرة: 183]

。「アッラーの道（みち）において、ついやしなさい。」雌牛章 195節

38. サウム（だんじき）とは何ですか？

ファジュルからマグリブの時間（じかん）まで、サウムするというニヤをもって、サウムを無効（むこう）にしてしまうことをしないことによって、アッラーをイバーダすることです。これには2種類（しゆるい）あります：

①義務（ぎむ）のサウム：ラマダーンのサウムがそれです。イスラームの五行（ごぎょう）の一つです。

アッラーはおっしゃります。

﴿يَأْتِيهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا كُتِبَ عَلَيْكُمُ الصِّيَامُ كَمَا كُتِبَ عَلَى الَّذِينَ مِن قَبْلِكُمْ لَعَلَّكُمْ

تَتَّقُونَ﴾ [البقرة: 183]

。「信仰（しんこう）する者たちよ、あなたたちより前（まえ）の者たちに義務（ぎむ）づけられたように、あなたたちにもサウムが義務（ぎむ）づけられた。（それは）あなた方が、タクワーをみにつけるためである。」雌牛章 183節

②義務（ぎむ）ではないサウム：たとえば、げつよう日ともくよう日のサウム、まいつき3回のサウム（ヒジュラれきの13、14、15日をもつともよい）などがあります。

39. ラマダーンのサウムの徳（とく）は何ですか？

アブー・フライラ（アッラーのおよろこびあれ）によれば、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「ラマダーンを信仰（しんこう）と褒美（ほうび）への望（のぞ）みのためにサウムする者は、過去（かこ）にやってしまった罪（つみ）をゆるされる。」ブハーリーとムスリムのでんしょう。

40. ラマダーン以外（いがい）の、任意（にんい）のサウムの徳（とく）は何ですか？

アブー・サイード・フドリー（アッラーのおよろこびあれ）によると、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「アッラーの道（みち）において一日サウムした者は、それによって地獄（じごく）から70秋（しゅう）とおざけられます。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

70秋（しゅう）とは、70年（ねん）のことです。

41. サウムを無効（むこう）にすることは、何ですか？

- ①わざとたべたり、のんだりすること。
- ②わざと吐（は）くこと。
- ③イスラームをやめること。

42. サウムのスンナは何ですか？

- ①イフタールをはやめにとること。

- ②スフールをおそめにとること。
- ③イバーダやよいことを、たくさんすること。
- ④わるくちを言われたら「わたしはサウムしています」と言うこと。
- ⑤イフタルのとき、ドゥアーすること。
- ⑥デートでイフタルすること。デートがなければ水をのむこと。

43. ハッジとは何ですか？

ハッジとは、きめられた時期（じき）に、きめられた行（おこな）いをするためにカアバを訪問（ほうもん）することで、アッラーをイバーダすることです。

アッラーはおっしゃります。

﴿فِيهِ آيَاتٌ بَيِّنَاتٌ مَّقَامُ إِبْرَاهِيمَ وَمَنْ دَخَلَهُ كَانَ آمِنًا وَلِلَّهِ عَلَى النَّاسِ حِجُّ الْبَيْتِ مَنِ

أَسْتَطَاعَ إِلَيْهِ سَبِيلًا وَمَنْ كَفَرَ فَإِنَّ اللَّهَ غَنِيٌّ عَنِ الْعَالَمِينَ ﴿٩٧﴾ [آل عمران: 97]

。「そこまで（をりょこうすることが）できる人びとには、その館（やかた）へとハッジするというアッラーへの義務（ぎむ）がある。そして信（しん）じない者がいたとしても、アッラーは全世界（ぜんせかい）をひつようとしない、みちたりたお方。」イムラーン家章 97節

44. ハッジのルクン（ぜったいにやらなくてはならないこと）は何ですか？

- ①イフラーム。
- ②アラファに立つこと。

③タワーフ・アル＝イファード。

④サファーとマルワのあいだをサアイすること。

45. ハッジの徳（とく）は何ですか？

アブー・フライラ（アッラーのおよろこびあれ）は言いました：わたしはアッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）がこう言うのをききました：「アッラーのためにハッジし、げひんなことや、つみぶかいことをしなかった者は、お母さんから生まれた日のようなじょうたいに戻（もど）ります。」ブハーリーらのでんしょう

「お母さんから生まれた日のようなじょうたい」とは、罪（つみ）のないじょうたいのことです。

46. ウムラとは何ですか？

ウムラとは、きめられた行（おこな）いをするためにカアバを訪問（ほうもん）することで、アッラーをイバーダすることです。きめられた時期（じき）はありません。

47. ウムラのルクン（ぜったいにやらなくてはならないこと）は何ですか？

①イフラーム。

②カアバをタワーフすること。

③サファーとマルワのあいだをサアイすること。

48. アッラーの道（みち）におけるジハードとは、何ですか？

イスラームをひろめ、イスラームとムスリムをまもるために、がんばることで。また、イスラームとムスリムの敵（てき）とたたかうことです。

アッラーはおっしゃります。

﴿وَمِنْهُمْ الَّذِينَ يُؤْذُونَ النَّبِيَّ وَيَقُولُونَ هُوَ أُذُنٌ قُلْ أُذُنٌ خَيْرٌ لَكُمْ يُؤْمِنُ بِاللَّهِ وَيُؤْمِنُ
لِلْمُؤْمِنِينَ وَرَحْمَةٌ لِلَّذِينَ ءَامَنُوا مِنْكُمْ وَالَّذِينَ يُؤْذُونَ رَسُولَ اللَّهِ لَهُمْ عَذَابٌ أَلِيمٌ﴾ [التوبة:

[61

。「あなたたちのお金（かね）と命（いのち）をかけて、アッラーの道（みち）に努力（どりよく）せよ。それがあなたたちにとって、よりよいこと。もし、あなたたちが（それを）知っていたのなら。」 悔悟章 41節

スィーラ（よげんしゃでん）スィーラ（よげんしゃでん）のちしきスィーラ（よげんしゃでん）とは、ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）が生まれてからなくなるまでの人生（じんせい）についてのちしきです。

1. ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）の血筋（ちすじ）は何ですか？

ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、イブラーヒームさまとイスマーイールさま（かれらにへいあんあれ）の子孫（しそん）である、アラブ人の子孫（しそん）です。そしてアラブ人の子孫（しそん）であるクライシュ族（ぞく）の出身（しゅっしん）ハーシム、ハーシムのむすこアブドルムッタリブ、アブドルムッタリブのむすこアブドッラー、アブドッラーのむすこが、ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）です。

2. ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）のお母さんの名まえは、何ですか？

アーミナ・ビント・ワハブです。

3. ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）のお父さんは、いつなくなりましたか？

ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）のお父さんは、ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）が生まれるまえにマディーナでなくなりました。

4. よげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）は、いつ生まれましたか？

象（ぞう）の年のラビーウ・アル＝アウワル月のげつよう日に生まれました。

5. どこに生まれましたか？

マッカで生まれました。

6. お母さんのほかに、だれに育（そだ）てられましたか？

お父さんのめしつかい、ウンム・アイマン。

おじさんであるアブー・ラハブのめしつかい、スワイバ。

ハリーマ・サアディーヤ。

7. お母さんはいつなくなりましたか？

ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）が6さいのとき、なくなりました。そのあと、ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）のおじいさんアブドルムッターリブが、かれの面倒（めんどう）をみました。

8. おじいさんのアブドルムッターリブがなくなったあとは、だれがかれの面倒（めんどう）をみましたか？

おじいさんのアブドルムッターリブは、ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）が8さいのとき、なくなりました。そのあと、おじいさんのアブー・ターリブがかれの面倒（めんどう）をみました。

9. ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）はいつ、おじさんのアブー・ターリーブとシャーム（いまのシリアやパレスチナちほう）に旅（たび）をしましたか？

12さいのとき、おじさんのアブー・ターリーブとシャームに旅（たび）をしました。

10. 2回目にシャーム（いまのシリアやパレスチナちほう）に旅（たび）をしたのは、いつですか？

2回目にシャームに旅（たび）をしたのは、ハディージャさま（アッラーのおよろこびあれ）からお金（かね）をあずかって、商売（しょうばい）に出たときです。シャームからマツカにかえったあと、ハディージャさま（アッラーのおよろこびあれ）とけつこんしました。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）が25さいのときでした。

11. クライシュぞくは、いつカアバを再建（さいけん）しましたか？

ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）が35さいのとき、カアバを再建（さいけん）しました。

クライシュぞくは、だれがハジャル・アスワド（くろい石）をカアバにはめるかで、ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）にアドバイスをもとめました。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は、ハジャル・アスワドを布（ぬの）の上ののせ、それを4つのぶぞくのだいひょうが、みんなで運（はこ）ぶことをていあんしました。そしてカアバにはめるのは、ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）がおこないました。

12. ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）が使徒（しと）になったのは、何さいのときですか？ また、だれにたいする使徒（しと）になりましたか？

40さいのときに、よい知らせと警告（けいこく）をつたえる、すべての人びとへの使徒（しと）となりました。

13. さいしょのワヒイ（けいじ）は、どんなふうにはじまりましたか？

まさゆめです。ゆめで見たことが、現実（げんじつ）におこるようになりました。

14. ワヒイ（けいじ）のまえ、ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）はどのような状態（じょうたい）でしたか？ さいしょのワヒイ（けいじ）は、いつでしたか？

ヒラーどうくつに食（た）べものなどをもっていき、おこもりして、アッラーをイバーダしていました。

どうくつでイバーダしているとき、ワヒイ（けいじ）がくだりました。

15. さいしょにくだったクルアーンは、何ですか？

このアッラーのおことばです：

﴿أَفْرَأَ بِأَسْمِ رَبِّكَ الَّذِي خَلَقَ ① خَلَقَ الْإِنْسَانَ مِنْ عَلَقٍ ② أَفْرَأَ وَرَبُّكَ الْأَكْرَمُ ③ الَّذِي عَلَّمَ

بِالْقَلَمِ ④ عَلَّمَ الْإِنْسَانَ مَا لَمْ يَعْلَمْ ⑤﴾ [العلق: 5-1]

1よめ、「創造（そうぞう）されたお方、あなたの主（しゅ）の名（な）において。2 いったきの血（ち）のかたまりから、人間（にんげん）をつくった。」3よめ、「あなたの主（しゅ）は、もっともとうといお方。4ペンで（かくことを）おしえたお方。5人間（にんげん）が知らないことを、おしえたお方。」凝血章 1 - 5 節

16. そのメッセージを信じたさいしょの人は、だれですか？

おとこの人では、アブー・バクルさまです。おんなの人では、ハディージャさまです。子どもでは、アリーさまです。元どれいでは、ザイド・ブン・ハーリサさまです。どれいでは、ピラールさまです。かれらぜんいんに、アッラーのおよろこびがありますよう。

17. イスラームのダアワはどんな状態（じょうたい）でしたか？

3ねんほどは、ひみつにダアワしていました。そのあと、ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は公然（こうぜん）とダアワすることをめいれいしました。

18. 公然（こうぜん）とダアワしはじめたあと、ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）とサハーバたちはどうなりましたか？

シルクの人びとは、ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）とムスリムたちを、ひどくいじめました。アッラーはムスリムたちが、エチオピアのナジャーシー王のところにヒジュラ（いじゅう）することをゆるしました。

シルクの方はムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）をみんなでいじめ、ころそうとしましたが、アッラーはかれをまもりました。アッラーは、おじさんのアブー・ターリブが、かれをまもるようにしました。

19. ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）が使徒（しと）になって10ねんご、だれがなくなりましたか？

おじさんのアブー・ターリブと、ハディージャさま（アッラーのおよろこびあれ）がなくなりました。

20. イスラー（よるのたび）とミウラージュ（しょうてん）はいつでしたか？

ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）が50さいのときです。5回のサラーが義務（ぎむ）となったのは、このときでした。

イスラー（よるのたび）は、マスジド・ハラームからマスジド・アクサーへ、ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）が一晩（ばん）でおこなった、たびです。

ミウラージュ（しょうてん）は、マスジド・アクサーから天（てん）の上、そのはてにあるスイドラまで、ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）がのぼって行ったできごとです。

21. ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）はどのようにして、マッカのそとの人びとにダアワしましたか？

ターイフまで出かけて行ってダアワしました。ハッジなど、人びとがあつまる季節（きせつ）やばしょでも、ダアワしました。その

うち、マディーナからやってきたアンサールたちがムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）を信じるようになり、かれをたすけることを約束（やくそく）しました。

22. よげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）はマッカで、何ねんかんダアワしましたか？

13ねんかんダアワしました。

23. よげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）は、どこにヒジュラしましたか？

マッカからマディーナにヒジュラしました。

24. マディーナでは何ねんすごしましたか？

10ねんすごしました。

25. マディーナでは、イスラームのどんな決（き）まりが義務（ぎむ）づけられましたか？

ザカー、サウム、ハッジ、ジハード、アザーンといったことが義務（ぎむ）づけられました。

26. ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）が参加（さんか）した、ゆうめいなたたかいは何ですか？

バドルのたたかい：ヒジュラれき2ねん

ウブドのたたかい：ヒジュラれき3ねん

ぶぞくれんごうのたたかい：ヒジュラれき5ねん

マッカかいほう：ヒジュラれき8ねん。

27. さいごにくだったクルアーンは、何ですか？

このアッラーのおことばです：

﴿وَأَتَّقُوا يَوْمًا تُرْجَعُونَ فِيهِ إِلَى اللَّهِ ثُمَّ تُوَفَّى كُلُّ نَفْسٍ مَّا كَسَبَتْ وَهُمْ لَا يُظْلَمُونَ﴾

[البقرة: 281]

：「アッラーに帰（かえ）らされる日を、おそれよ。すべての人は自分（じぶん）が稼（かせ）いだものをむくわれ、不当（ふとう）な扱（あつか）いをうけることはない。」雌牛章 281節

28. よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、いつなくなりましたか？

ヒジュラれき11ねんラビーウル・アウワルつきに、63さいでなくなりました。

29. よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）の、妻（つま）たちの名前（なまえ）をあげてください。

①ハディージャ・ピント・フワイリドさま（アッラーのおよろこびあれ）

②サウダ・ピント・ザムアさま（アッラーのおよろこびあれ）

③アーイシャ・ピント・アビー・バクルさま（アッラーのおよろこびあれ）

④ハフサ・ピント・ウマルさま（アッラーのおよろこびあれ）

⑤ザイナブ・ピント・フザイマさま（アッラーのおよろこびあれ）

⑥ウンム・サラマさま（アッラーのおよろこびあれ）

⑦ウンム・ハビーバさま（アッラーのおよろこびあれ）

⑧ジュワイリーヤ・ビント・ハーリス（アッラーのおよろこびあれ）さま

⑨マイムーナ・ビント・ハーリス（アッラーのおよろこびあれ）さま

⑩サフィーヤ・ビント・フヤイイ（アッラーのおよろこびあれ）さま

⑪ザイナブ・ビント・ジャハシュさま（アッラーのおよろこびあれ）

30. よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）の、子どもたちはだれですか？

おとこの子は3人です：

①カーシムさま。

②アブドッラーさま。

③イブラーヒームさま。

おんなの子は4人です：

①ファーティマさま。

②ルカイヤさま。

③ウンム・クルスームさま。

④ザイナブさま。

イブラーヒームいがいは、みんなハディージャさま（アッラーのおよろこびあれ）からの子どもです。ファーティマさまだけが、ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）より、なが生きしました。ファーティマさまはムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）がなくなった6かげつごに、なくなりました。

3 1.よげんしゃさま (しゆくふくとへいあんあれ) の見た目について、おしえてください。:

よげんしゃさま (しゆくふくとへいあんあれ) の見た目は、次のようでした: 背 (せ) の高 (たか) さは、ひくくもなく、高 (たか) くもなく、ふつうでした。はだの色は、赤 (あか) みがかつた白 (しろ) でした。あごひげが濃 (こ) く、目は大きく、口も大きかったです。かみの毛 (け) はまつくろ、肩 (かた) はがっしりしていました。また、いいにおいをさせていました。このように、ムハンマドさま (しゆくふくとへいあんあれ) は美 (うつく) しい見た目をしていました。

3 2.よげんしゃさま (しゆくふくとへいあんあれ) は、ウンマをどのような状態 (じょうたい) にしてなくなりましたか??

よげんしゃさま (しゆくふくとへいあんあれ) は、ウンマを夜 (よる) でも昼 (ひる) のような明 (あか) りい、すべてがはつきりとされた状態 (じょうたい) にして、なくなりました。よいものはすべて明 (あき) らかにし、わるいものはすべて注意 (ちゅうい) しました。

タフスィール（クルアーンのいみ）のちしきタフスィールとは:

クルアーンのいみについてのちしきです。クルアーンの中には、アキーダ（しんじょう）、イバーダート（すうはいこうい）、ムアーマラート（にんげんどうしのきまり）、アフラーク（せいかく）、ハラールやハラーム、めいれいときんしなどについての導（みちび）きがあります。ちゅうい：ここではクルアーンをあんきし、そのいみをりかいします。

1. ファーティハしょうをよみ、そのいみをおしえてください。.

ファーティハしょうは、次のとおりです：

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ ① الْحَمْدُ لِلَّهِ رَبِّ الْعَالَمِينَ ② الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ ③ مَلِكِ يَوْمِ الدِّينِ ④
إِيَّاكَ نَعْبُدُ وَإِيَّاكَ نَسْتَعِينُ ⑤ أَهْدِنَا الصِّرَاطَ الْمُسْتَقِيمَ ⑥ صِرَاطَ الَّذِينَ أَنْعَمْتَ عَلَيْهِمْ غَيْرِ
الْمَغْضُوبِ عَلَيْهِمْ وَلَا الضَّالِّينَ ⑦ ﴿الفاتحة: 1-7﴾

1 慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（な）において2 すべてのぬしアッラーに、たたえあれ。3 慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいお方。4 報（むく）いの日の、しはいしゃ。5 わたしたちは、あなただけをイバーダし、あなただけに助（たす）けをもとめます。6 わたしたちを、まっすぐな道（みち）にみちびいてください。7 あなたが、お恵（めぐ）みをあたえた者たちの道（みち）に。（あなたの）いかりをうけたり、まよってしまったりした者たちの道（みち）ではなく。開端（ファーティハ）章 1 - 7節

かいせつ：

ファァティハという名まえは、クルアーンがそれではじまるためです。

1「慈悲(じひ)あまねく慈愛(じあい)ふかいアッラーの名(な)において」：アッラーの名まえで、クルアーンをよみはじめます。それによって、アッラーからの助(たす)けと、バラカをもとめます。

アッラー：ほんとうにイバーダされるにふさわしい存在(そんざい)。アッラーいがいに、この名まえはつけられません。

慈悲(じひ)あまねきお方(アッ・ラフマーン)：ひろい慈悲(じひ)をそなえたお方で、その慈悲(じひ)はすべてのものに行きわたっています。

慈愛(じあい)ふかいお方(アッ・ラヒーム)：しんこうしゃに慈悲(じひ)ぶかいお方。

2「すべてのぬしアッラーに、たたえあれ。」：すべての種類(しゅるい)の讚美(さんび)と完全(かんぜん)さは、アッラーだけにあります。

3「慈悲(じひ)あまねく慈愛(じあい)ふかいお方」：ひろい慈悲(じひ)をそなえたお方で、その慈悲(じひ)はすべてのものに行きわたっています。とくに、しんこうしゃに慈悲(じひ)をあたえるお方です。

4「報(むく)いの日の、しはいしゃ」：ふっかつの日のことです。

5「わたしたちは、あなただけをイバーダし、あなただけに助(たす)けをもとめます」：わたしたちがイバーダするのはあなただけ、助(たす)けをもとめるのもあなただけです。

6「わたしたちを、まっすぐな道(みち)にみちびいてください。」：イスラームと、スンナへとみちびかれることです。

7「あなたが、お恵(めぐ)みをあたえた者たちの道(みち)に。(あなたの)いかりをうけたり、まよってしまったりした者た

ちの道（みち）ではなく。」：よげんしゃたちや、かれらにしたがう者たちである、アッラーの正しいしもべたちの道（みち）のことです。正しいちしきがないまま行（おこな）う人たちでもなく、正しいちしきがあっても行（おこな）わないような人たちの道（みち）ではありません。

ファアティハしょうをよんだあとには、「アーミン（そうあつてください）」と言うのが、スンナです。

2. じしんしょう（ザルザラしょう）をよんで、いみをおしえてください。 .

じしんしょう（ザルザラしょう）は、次のとおりです

慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（な）において：

﴿إِذَا زُلْزِلَتِ الْأَرْضُ زِلْزَالَهَا ① وَأَخْرَجَتِ الْأَرْضُ أَثْقَالَهَا ② وَقَالَ الْإِنْسَانُ مَا لَهَا ③ يَوْمَئِذٍ تُحَدِّثُ أَخْبَارَهَا ④ إِنَّ رَبَّكَ أَوْحَىٰ لَهَا ⑤ يَوْمَئِذٍ يَصْدُرُ النَّاسُ أَشْتَاتًا لِّيُرَوْا أَعْمَلَهُمْ ⑥ فَمَنْ يَعْمَلْ مِثْقَالَ ذَرَّةٍ خَيْرًا يَرَهُ ⑦ وَمَنْ يَعْمَلْ مِثْقَالَ ذَرَّةٍ شَرًّا يَرَهُ ⑧﴾ [الزلزلة: 1-8]

1大地（だいち）がはげしくゆれるとき、2また、大地（だいち）がにもつを吐（は）き出し、3人が「それに、何（なに）がおこったのか？」と言うとき、4それはその日、自（みずか）らの知らせを話（はな）す、5あなたの主（しゅ）が、（そうするよう、）自分（じぶん）に命（めい）じたのだ、ということ。6その日、人びとは自分（じぶん）たちの行（おこな）いを見るために、ばらばらと出ていく。7すこしのものでもよいことをする者は、（あのよで）それを見る。8すこしのことでもわるいことをする者は、（あのよで）それを見る。地震章 1 - 8節

かいせつ：

1 「大地（だいち）がはげしくゆれるとき、」：ふっかつの日
に、大地（だいち）がはげしくゆらされるとき、

2 「また、大地（だいち）がにもつを吐（は）き出し、」：しん
でしまった人びとなど、大地（だいち）がその中にあるものを外に
ほうり出すとき、

3 「人が「それに、何（なに）がおこったのか？」と言うと
き、」：人間（にんげん）は、混乱（こんらん）して言います：大
地（だいち）がこんなにごき、ゆれるのはどういうことでしょう
か!?

4 「それはその日、自（みずか）らの知らせを話（はな）
す。」：そのおそろしい日、大地（だいち）はそこで行（おこな）
われた、すべてのよいことやわるいことを話（はな）します。

5 「あなたの主（しゅ）が、（そうするよう、）自分（じぶん）
に命（めい）じたのだ、ということ。」：アッラーがそれらのこ
とを、大地（だいち）におしえ、めいじました。

6 「その日、人びとは自分（じぶん）たちの行（おこな）いを見
るために、ばらばらと出ていく。」：大地（だいち）がゆれうごく
そのおそろしい日、人びとは清算（せいさん）の場所（ばしょ）へ
と集団（しゅうだん）で出て来て、かれらがこのよで行（おこな）
ったことを見せつけられます。

7 「すこしのものでもよいことをする者は、（あのよで）それを見
る。」小さなアリほどの重（おも）さでもよいことをした人は、
それを目のまえに見ます。

8 「すこしのことでもわるいことをする者は、（あのよで）それ
を見る。」：小さなアリほどの重（おも）さでもわるいことをした
人は、それを目のまえに見ます。

3. 「しっくするもの」しょう（アーディヤートしょう）をよんで、いみをおしえてください。

「しっくするもの」しょう（アーディヤートしょう）は、次のとおりです：

慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（な）

﴿وَالْعَدِيدَاتِ صُبْحًا ①﴾ فَأَلْمُورِيَّتِ فَدَحَا ②﴾ فَأَلْمُعِيرَاتِ صُبْحًا ③﴾ فَأَثَرَنَ بِهِ نَفْعًا ④﴾
فَوَسَطْنَ بِهِ جَمْعًا ⑤﴾ إِنَّ الْإِنْسَانَ لِرَبِّهِ لَكَنُودٌ ⑥﴾ وَإِنَّهُ عَلَىٰ ذَٰلِكَ لَشَهِيدٌ ⑦﴾ وَإِنَّهُ لِحُبِّ الْخَيْرِ
لَشَدِيدٌ ⑧﴾ * أَفَلَا يَعْلَمُ إِذَا بُعْثِرَ مَا فِي الْقُبُورِ ⑨﴾ وَحُصِّلَ مَا فِي الصُّدُورِ ⑩﴾ إِنَّ رَبَّهُم بِهِمْ يَوْمَئِذٍ
لَّخَبِيرٌ ⑪﴾ [العاديات: 11-1]

1鼻息（はないき）をあらげて駆（か）けるものにかけて、2また、（ひづめで石を）うちつけつつ、火花（ひばな）を散（ち）らすものにかけて、3また、朝（あさ）に進撃（しんげき）するものにかけて（ちかう）、4それらは、埃（ほこり）を巻（ま）き上げ、5（てきの）集団（しゅうだん）のまん中へと進（すす）む。6人は、主（しゅ）にたいして、ほんとうに恩（おん）知らずである。7かれは、そのことについてほんとうに証人（しょうにん）である。8かれは、財産（ざいさん）への愛（あい）が、ほんとうに強（つよ）い者である。9かれは知らないのか？ 墓（はか）の中にいるものが、ひっくり返（かえ）されるとき、10胸（むね）のなかにあることが明（あき）らかにされるとき、11かれらの主（しゅ）はその日、かれらをよく通曉（つうぎょう）されるお方である。

疾駆するもの章 1 - 11節

かいせつ：

1 「鼻息（はないき）をあらげて駆（か）けるものにかけて、」：アッラーははしる馬（うま）にかけて、ちかいます。その馬（うま）は、はげしく走（はし）っているために、こきゅうの音（おと）がきこえます。

2 「また、（ひづめで石を）うちつけつつ、火花（ひばな）を散（ち）らすものにかけて、」：アッラーはちかいます。ひづめが岩（いわ）にはげしくあたるときに、火花（ひばな）をとばす馬（うま）にかけて。

3 「また、朝（あさ）に進撃（しんげき）するものにかけて（ちかう）、」：アッラーはちかいます。朝（あさ）、敵（てき）に突入（とつにゆう）し、攻撃（こうげき）をしかける馬（うま）にかけて。

4 「それらは、埃（ほこり）を巻（ま）き上げ、」：それらの馬（うま）は、はげしく走（はし）っているために、埃（ほこり）を巻（ま）き上げます。

5 「（てきの）集団（しゅうだん）のまん中へと進（すす）む。」：それらにのっている騎手（きしゅ）といつしよに、敵軍（てきぐん）のまん中へと入って行きます。

6 「人は、主（しゅ）にたいして、ほんとうに恩（おん）知らずである。」：人間（にんげん）は、よいことをおこないません。主（しゅ）アッラーは、そうすることを望（のぞ）んでいるのです。

7 「かれは、そのことについてほんとうに証人（しょうにん）である。」：人間（にんげん）は、自分（じぶん）がよいことをおこないことへの、証人（しょうにん）です。それは明（あき）らかなので、否定（ひてい）できないのです。

8 「かれは、財産（ざいさん）への愛（あい）が、ほんとうに強（つよ）い者である。」かれはお金（かね）が大すきで、けちです。

9 「かれは知らないのか？墓（はか）の中にいるものが、ひっくり返（かえ）されるとき」：この世（よ）にまどわされている、この人間（にんげん）は知らないのですか？清算（せいさん）と報（むく）いのために、アッラーが墓（はか）から死（し）んだ人びとを生き返すときのこと、想像以上（そうぞういじょう）のことであるということをして？

10 「胸（むね）のなかにあることが明（あき）らかにされるとき、」：ニイヤや信仰（しんこう）など、心（こころ）の中のこと、がはっきりと明（あき）らかにされることを？

11 「かれらの主（しゅ）はその日、かれらをよく通曉（つうぎょう）されるお方である。」：かれらの主は、その日、かれらについてすべてを知っています。しもべたちのことでアッラーに隠（かく）せるものはありません。そしてアッラーは、行（おこな）いに報（むく）います。

4. しょうげきしょう（カーリアしょう）をよんで、いみをおしえてください。

しょうげきしょう（カーリアしょう）は、次のとおりです：

慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（な）において

﴿الْقَارِعَةُ ①﴾ مَا الْقَارِعَةُ ② ﴿وَمَا أَدْرَاكَ مَا الْقَارِعَةُ ③﴾ يَوْمَ يَكُونُ النَّاسُ كَالْفَرَاشِ
الْمَبْثُوثِ ④ ﴿وَتَكُونُ الْجِبَالُ كَالْعِهْنِ الْمَنْفُوشِ ⑤﴾ فَأَمَّا مَنْ ثَقُلَتْ مَوَازِينُهُ ⑥ ﴿فَهُوَ فِي عِيشَةٍ
رَاضِيَةٍ ⑦﴾ وَأَمَّا مَنْ خَفَّتْ مَوَازِينُهُ ⑧ ﴿فَأُمُّهُ هَاوِيَةٌ ⑨﴾ ﴿وَمَا أَدْرَاكَ مَا هِيَ ⑩﴾ نَارٌ حَامِيَةٌ ⑪ ﴿

[11-1: القارعة]

1 衝撃（しょうげき）。2 衝撃（しょうげき）とは何（なに）か？ 3 衝撃（しょうげき）とは何（なに）かを、何（なに）があなたに知らせるか？ 4 （それは、）人びとがバラバラになった蛾（が）

のようになり、5山々（やまやま）が、梳（す）かれた羊（ひつじ）の毛のようになる日。6秤（はかり）が重（おも）かった者、7かれは満足（まんぞく）なくらしの中にある。8秤（はかり）が軽（かる）かった者は、9その落（お）ちつく先は、墜落（ついらく）。10それが何（なに）かを、何（なに）があなたに知らせるか？ 11（それは）熱（あつ）い業火（ごうか）である。衝撃章 1

- 11節

かいせつ：

1「衝撃（しょうげき）」：ひどいおそろしきで、人びとの心（こころ）がうちつけられる日のことです。

2「衝撃（しょうげき）とは何（なに）か？」：ひどいおそろしきで、人びとの心（こころ）がうちつけられる日とは何（なに）のことですか？

3「衝撃（しょうげき）とは何（なに）かを、何（なに）があなたに知らせるか？」：使徒（しと）よ、ひどいおそろしきで、人びとの心（こころ）がうちつけられる日とは何（なに）のことですか？それは復活（ふっかつ）の日のことです。

4「（それは、）人びとがバラバラになった蛾（が）のようになり、」：人びとの心（こころ）はうちつけられ、あちらこちらにバラバラになってひろがる蛾（が）のようになります。

5「山々（やまやま）が、梳（す）かれた羊（ひつじ）の毛のようになる日。」：山々（やまやま）はすごい速（はや）きでうごくため、梳（す）かれた羊（ひつじ）の毛のようになります。

6「秤（はかり）が重（おも）かった者、」：よいおこないが、わるいおこないよりも重（おも）かった者は。

7「かれは満足（まんぞく）なくらしの中にある。」：ジャンナで満足（まんぞく）なくらしの中にあります。

8 「秤（はかり）が軽（かる）かった者は、」：わるいおこないが、よいおこないよりも重（おも）かった者は。

9 「その落（お）ちつく先は、墜落（ついらく）。」：ふっかつの日に住（す）み、落（お）ちつく先はジャハンナムです。

10 「それが何（なに）かを、何（なに）があなたに知らせるか？」：使徒（しと）よ、それが何（なに）かを、何（なに）があなたに知らせますか？

11 「（それは）熱（あつ）い業火（ごうか）である。」：はげしい熱（あつ）さの業火（ごうか）です。

5. ふやし合いしょう（タカースルしょう）をよんで、 いみをおしえてください。 .

ふやし合いしょう（タカースルしょう）は、次のとおりです：

慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（な）において

﴿الْهَلِكُمْ التَّكَاثُرُ ① حَتَّىٰ زُرْتُمُ الْمَقَابِرَ ② كَلَّا سَوْفَ تَعْلَمُونَ ③ ثُمَّ كَلَّا سَوْفَ تَعْلَمُونَ ④ كَلَّا لَوْ تَعْلَمُونَ عِلْمَ الْيَقِينِ ⑤ لَتَرَوُنَّ الْجَحِيمَ ⑥ ثُمَّ لَتَرَوُنَّهَا عَيْنَ الْيَقِينِ ⑦ ثُمَّ لَتُسْأَلُنَّ يَوْمَئِذٍ عَنِ النَّعِيمِ ⑧﴾ [التكاثر: 1-8]

1 ふやし合いが、あなた方をそっちのけにさせる、2 あなたたちが墓場（はかば）を訪（おとず）れるまで。3 ぜったいに！ あなたたちはやがて知るだろう。4 そしてぜったいに！ あなたたちはやがて知るだろう。5 ぜったいに！ もし、あなたたちがはっきりとした知識（ちしき）で知るならば、6 あなたたちは必（かなら）ず、ジャヒームを見る。7 そしてあなたたちは必（かなら）ず、はっきりとした目でそれを見るだろう。8 それから、あなたたちはその日、

かならず安寧（あんねい）についてたずねられるだろう。増やし合
い章 1 - 8節。

かいせつ：

1 「あなたたちは、ふやし合いに夢中（むちゆう）になっている。」：人びとよ、あなたたちは、お金（かね）や子どもの多（おお）さを自慢（じまん）し合い、アッラーにしたがうことをわすれています。

2 「あなたたちが墓場（はかば）を訪（おとず）れるまで。」：あなたたちが死（し）に、墓（はか）に入るときまで。

3 「ぜったいに！あなたたちはやがて知るだろう。」：そんなことを自慢（じまん）し合って、アッラーにしたがうことをわすれてはいけません。あなたたちは、そんなことに夢中（むちゆう）になっていた結果（けっか）を、知ることになります。

4 「そしてぜったいに！あなたたちはやがて知るだろう。」：そしてあなたたちは、その結果（けっか）を、知ることになります。

5 「ぜったいに！もし、あなたたちがはつきりとした知識（ちしき）で知るならば。」：あなたたちがアッラーに生き返され、やっていたことを報（むく）われるということを、はつきりと知っていたならば、お金（かね）や子どもの多（おお）さを自慢（じまん）し合ってなどいなかったでしょう。

6 「あなたたちは必（かなら）ず、ジャヒームを見る。」：アッラーにちかって、あなたたちはふつかつの日、地獄（じごく）の火（ひ）を見ることになります。

7 「そしてあなたたちは必（かなら）ず、はつきりとした目でそれを見るだろう。」：あなたたちはそれを、うたがいに、はつきりとした目で見ることになります。

8 「それから、あなたたちはその日、かならず安寧（あんねい）についてたずねられるだろう。」：その日あなたたちは、アッラー

からいただいていた健康（けんこう）、お金（かね）などについて、かならずきかれることになります。

6. じかんしょう（アスルしょう）をよんで、いみをおしえてください。

じかんしょう（アスルしょう）は、次のとおりです：

慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（な）において

﴿وَالْعَصْرِ ﴿١﴾ إِنَّ الْإِنْسَانَ لَفِي خُسْرٍ ﴿٢﴾ إِلَّا الَّذِينَ ءَامَنُوا وَعَمِلُوا الصَّالِحَاتِ وَتَوَّصُوا بِالْحَقِّ

﴿وَتَوَّصُوا بِالصَّبْرِ ﴿٣﴾﴾ [العصر: 1-3]

1 じかんにかけて。2 ほんとうに人は、損失（そんしつ）の中にある。3 信仰（しんこう）し、よい行（おこな）いをし、真理（しんり）をすすめ合い、サブルをすすめ合う者たち以外（いがい）は。時間章 1 - 3 節

かいせつ：

1 「じかんにかけて。」：アッラーは、じかんにかけてちかいます。

2 「ほんとうに人は、損失（そんしつ）の中にある。」：すべての人は、欠如（けつじょ）と破滅（はめつ）の中にあります。

3 「信仰（しんこう）し、よい行（おこな）いをし、真理（しんり）をすすめ合い、サブルをすすめ合う者たち以外（いがい）は。」：ただし、信仰（しんこう）し、よい行（おこな）いをし、正しいことへとダアワし、そこにおいて忍耐（にんたい）する人びとは別（べつ）です。かれらは損失（そんしつ）から、すくわれる人びとです。

7. ちゅうしょうしゃしょう (ハムザしょう) をよんで、いみをおしえてください。

ちゅうしょうしゃしょう (ハムザしょう) は、次のとおりです：
慈悲(じひ)あまねく慈愛(じあい)ふかいアッラーの名(な)において

﴿وَيُلِّ لِكُلِّ هَمَزَةٍ لُّمَزَةٍ﴾ ① الَّذِي جَمَعَ مَالًا وَعَدَّدَهُ ② يَحْسَبُ أَنَّ مَالَهُ أَخْلَدَهُ ③ كَلَّا
لَيُنْبَذَنَّ فِي الْحُطَمَةِ ④ وَمَا أَدْرَاكَ مَا الْحُطَمَةُ ⑤ نَارُ اللَّهِ الْمُوقَدَةُ ⑥ الَّتِي تَطَّلِعُ عَلَى الْأَفْئِدَةِ ⑦
إِنَّهَا عَلَيْهِمْ مُّوَصَّدَةٌ ⑧ فِي عَمَدٍ مُّمَدَّدَةٍ ⑨ ﴿[الهمزة: 9-1]

1すべての悪口(わるくち)を言う者、けなす者に、災(わざわ)いあれ。2お金(かね)をあつめ、それをかぞえることばかりしている者に。3かれはお金(かね)が、自分(じぶん)を永遠(えいえん)に生かしてくれると思(おも)っている。4ぜったいに！かれはかならず、フタマの中に投(な)げこまれるだろう。5フタマが何(なに)かを、何(なに)があなたに知らせるのか？6点火(てんか)された、アッラーのほのお。7心臓(しんぞう)にまで達(たっ)するもの。8それは、かれらを密閉(みっぺい)している、9長(なが)くのびた柱(はしら)の中で。中傷者章 1 - 9 節

かいせつ：

1「すべての悪口(わるくち)を言う者、けなす者に、災(わざわ)いあれ。」：人びとの悪口(わるくち)をかげでたくさん言っていたり、他人をけなしたりする者には、災(わざわ)いときびしい罰(ばつ)があります。

2「お金（かね）をあつめ、それをかぞえることばかりしている者に。」：かれの興味（きょうみ）は、お金（かね）をあつめ、それをかぞえ上げることだけです。

3「かれはお金（かね）が、自分（じぶん）を永遠（えいえん）に生かしてくれると思（おも）っている。」：かれは、あつめたお金（かね）が、自分（じぶん）を死（し）からまもってくれるので、この世（よ）で永遠（えいえん）に生きれると思（おも）っています。

4「ぜったいに！かれはかならず、フタマの中に投（な）げこまれるだろう。」：この無知（むち）な者が思（おも）っているようには、なりません。かれはかならず、ジャハンナムのほのおの中に投（な）げこまれます。そのほのおは強烈（きょうれつ）で、そこに入れられたものはすべて粉々（こなごな）に破壊（はかい）されてしまうのです。

5「フタマが何（なに）かを、何（なに）があなたに知らせるのか？」：しとよ、このなんでも粉碎（ふんさい）するほのおが何（なに）かを、あなたに教（おし）えてるのは何（なに）ですか？

6「点火（てんか）された、アッラーのほのお。」：それはもえ上げる、アッラーのほのおです。

7「心臓（しんぞう）にまで達（たつ）するもの。」：それは人びとの体をつらぬき、心臓（しんぞう）にまで達（たつ）します。

8「それは、かれらを密閉（みつぺい）している、」：かれらはそこで閉（と）じこめられて、罰（ばつ）をうけます。

9「長（なが）くのびた柱（はしら）の中で。」：長（なが）くのびた柱（はしら）で閉（と）じこめられているので、ぬけ出すことはできません。

8. ぞうしょう (フィールしょう) をよんで、いみをおしえてください。 .

ぞうしょう (フィールしょう) は、次のとおりです：

慈悲 (じひ) あまねく慈愛 (じあい) ふかいアッラーの名 (な) において

﴿أَلَمْ تَرَ كَيْفَ فَعَلَ رَبُّكَ بِأَصْحَابِ الْفِيلِ ﴿١﴾ أَلَمْ يَجْعَلْ كَيْدَهُمْ فِي تَضْلِيلٍ ﴿٢﴾ وَأَرْسَلَ عَلَيْهِمْ

طَيْرًا أَبَابِيلَ ﴿٣﴾ تَرْمِيهِمْ بِحِجَارَةٍ مِّن سِجِّيلٍ ﴿٤﴾ فَجَعَلَهُمْ كَعَصْفٍ مَّأْكُولٍ ﴿٥﴾﴾ [الفيل: 1-5]

1 あなたは、あなたの主 (しゅ) が象 (ぞう) のなかまたちをどうされたのか、知らないのか？ 2 かれらの企 (たくら) みを、だいなしにされたではないか？ 3 かれはかれらに、鳥 (とり) の大群 (たいぐん) をつかわされたのだ。4 それはかれらに、泥土 (どろつち) の石 (いし) をなげつけた。5 そしてかれらを、食 (く) いちらかされた枯葉 (かれは) のようにされたのだ。象章 1 - 5 節 r

かいせつ：

1 「あなたは、あなたの主 (しゅ) が象 (ぞう) のなかまたちをどうされたのか、知らないのか？」：使徒 (しと) よ、あなたは、あなたの主 (しゅ) がアブラハとそのなかまたち、つまり象 (ぞう) のなかまたちがカアバをこわそうと企 (たくら) んだとき、かれらをどうされたのか、知らないのですか？

2 「かれらの企 (たくら) みを、だいなしにされたではないか？」：アッラーは、カアバを破壊 (はかい) するというかれらの計画 (けいかく) を、失敗 (しつぱい) させました。カアバに人びとが行かないようにするという、かれらの望 (のぞ) みは達成 (たっせい) されず、カアバにたいして何 (なに) もできませんでした。

3 「かれはかれらに、鳥（とり）の大群（たいぐん）をつかわされたのだ。」：アッラーはかれらに、つぎつぎと鳥（とり）の大群（たいぐん）をおくったのです。

4 「それはかれらに、泥土（どろつち）の石（いし）をなげつけた。」：それらの鳥（とり）たちはかれらに、かたくなった泥土（どろつち）の石（いし）をなげつけました。

5 「そしてかれらを、食（く）いちらかされた枯葉（かれは）のようにされたのだ。」アッラーはかれらを、家畜（かちく）に食（く）いちらかされ、ふみあらされた作物（さくもつ）の葉（かれは）のようにされたのです。

9. クライシュぞくしょうをよんで、いみをおしえてください。。

クライシュぞくしょうは、次のとおりです：

慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（な）において

﴿لَا يَلْفُ قُرَيْشٍ ① إِذْ لَفِيهِمْ رِحْلَةَ الْشِّتَاءِ وَالصَّيْفِ ② فَلْيَعْبُدُوا رَبَّ هَذَا الْبَيْتِ ③ الَّذِي

أَطَعْتَهُمْ مِنْ جُوعٍ وَأَمْنَهُمْ مِنْ خَوْفٍ ④﴾ [قریش: 4-1]

1 クライシュぞくの慣例（かんれい）のために。2 冬（ふゆ）と夏（なつ）の旅（たび）における、かれらの慣例（かんれい）のために。3 かれらに、この館（やかた）の主（しゅ）をイバーダさせよ。4 空腹（かうふく）には食べ物（たべもの）をかれらにあたえ、恐怖（きょうふ）から安（やす）らげてくれたお方を。クライシュ族章 1 - 4 節

かいせつ：

1 「クライシュぞくの慣例（かんれい）のために。」：これは、かれらが習慣（しゅうかん）としていた、冬（ふゆ）と夏（なつ）の旅（たび）のことです。

2 「冬（ふゆ）と夏（なつ）の旅（たび）における、かれらの慣例（かんれい）のために。」：冬（ふゆ）の旅（たび）はイエメン、夏（なつ）の旅（たび）はシャーム（シリアやパレスチナちほう）への安全な旅（たび）のことです。

3 「かれらに、この館（やかた）の主（しゅ）をイバーダさせよ。」：かれらの旅（たび）をかんとんにしてくれた、このカアバの主（しゅ）アッラーをイバーダさせ、シルクをさせてはいけません。

4 「空腹（くうふく）には食べ物（たべもの）をかれらにあたえ、恐怖（きょうふ）から安（やす）らげてくれたお方を。」：アッラーはかれらに、空腹（くうふく）のときには食べ物（たべもの）をあたえ、恐怖（きょうふ）のときには安（やす）らがせてくれました。アッラーはアラブ人の心（こころ）に、マッカとその住人（じゅうにん）にたいする尊敬（そんけい）のきもちをあたえたからです。

10. てだすけしょう（マーウンしょう）をよんで、いみをおしえてください。

てだすけしょう（マーウンしょう）は、次のとおりです：

慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（な）

﴿أَرَأَيْتَ الَّذِي يُكَذِّبُ بِالْإِيمَانِ ① فَذَلِكَ الَّذِي يَدْعُ الْيَتِيمَ ② وَلَا يُحِضُّ عَلَىٰ طَعَامِ

الْمَسْكِينِ ③ فَوَيْلٌ لِلْمُصَلِّينَ ④ الَّذِينَ هُمْ عَنْ صَلَاتِهِمْ سَاهُونَ ⑤ الَّذِينَ هُمْ يُرْءَوْنَ ⑥

وَيَمْنَعُونَ الْمَاعُونَ ⑦﴾ [الماعون: 7-1]

1 言ってみよ、報（むく）いを嘘（うそ）とする者。2 孤児（こじ）を押（お）しのけ、3 めぐまれない者に食べ物（たべもの）をあげることを、すすめない者。4 サラーする者たちに、災（わざわ）いあれ、5 サラーを、てきとうにやる者たちに。6 かれらは見せびらかしで行（おこな）い、7 てだすけを禁（きん）じる。手助け章 1 - 7 節

かいせつ：

1 「言ってみよ、報（むく）いを嘘（うそ）とする者。」：ふつかつの日の報（むく）いを嘘（うそ）とする者を、知っていますか？

2 「孤児（こじ）を押（お）しのけ、」：それは、孤児（こじ）が何かをほしがっていても、そこからかれをあらあらしく押（お）しのけ、

3 「めぐまれない者に食べ物（たべもの）をあげることを、すすめない者。」：めぐまれない者に食べ物（たべもの）をあげることを自分（じぶん）でしないだけでなく、他の人にもすすめない者です。

4 「サラーする者たちに、災（わざわ）いあれ、」：サラーする者たちに、災（わざわ）いと罰（ばつ）がありますよう、

5 「サラーを、てきとうにやる者たちに。」：かれらはサラーをてきとうにかんがえていて、サラーの時間（じかん）がおわってしまっても気（き）にしない者たちです。

6 「かれらは見せびらかしで行（おこな）い、」：かれらはサラーや、その他のおこないを、人の目を気（き）にしてやっています。アッラーのためにやっていません。

7 「てだすけを禁（きん）じる。」：そしてたすけても問題（もんだい）のない物事（ものごと）なのに、他人（たにん）をたすけようとしません。

11. じゅんたくしょう（カウサルしょう）をよんで、 いみをおしえてください。

じゅんたくしょう（カウサルしょう）は、次のとおりです：

慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（な）
において

﴿إِنَّا أَعْطَيْنَكَ الْكَوْثَرَ ۝۱ فَصَلِّ لِرَبِّكَ وَأَنْحَرْ ۝۲ إِنَّ شَانِئَكَ هُوَ الْأَبْتَرُ ۝۳﴾ [الكوثر: 3-1]

1 われらは、あなたにカウサルをあたえた。2 あなたの主（しゅ）にだけサラーし、犠牲（ぎせい）をささげよ。3 あなたを憎（にく）む者こそは、断（た）ち切られた者なのだ。潤沢章 1 - 3 節
かいせつ：

1 「われらは、あなたにカウサルをあたえた。」：使徒（しと）よ、われらはあなたに、おおくのよいものをあたえました。ジャンナのカウサルという川もその一つです。

2 「あなたの主（しゅ）にだけサラーし、犠牲（ぎせい）をささげよ。」：だからそのおめぐみに、感謝（かんしゃ）しなさい。アッラーにたいしてだけサラーし、犠牲（ぎせい）をささげなさい。アッラーにたいしてシルクする者たちが、かれらの偶像（ぐうぞう）にささげるようには、してはいけません。

3 「あなたを憎（にく）む者こそは、断（た）ち切られた者なのだ。」：あなたを憎（にく）む者は、あらゆるよいものとは縁（えん）がなく、忘（わす）れられます。もし思（おも）いだされても、わるいことばかり思（おも）いだされるのです。

12. ふしんこうしゃしょう (カーフィルーンしょう) をよんで、いみをおしえてください。

ふしんこうしゃしょう (カーフィルーンしょう) は、次のとおりです：

慈悲 (じひ) あまねく慈愛 (じあい) ふかいアッラーの名 (な) において

﴿قُلْ يَا أَيُّهَا الْكَافِرُونَ ۝ لَا أَعْبُدُ مَا تَعْبُدُونَ ۝ وَلَا أَنْتُمْ عَابِدُونَ مَا أَعْبُدُ ۝ وَلَا أَنَا

عَابِدٌ مَّا عَبَدْتُمْ ۝ وَلَا أَنْتُمْ عَابِدُونَ مَا أَعْبُدُ ۝ لَكُمْ دِينُكُمْ وَلِيَ دِينِ ۝﴾ [الكافرون: 6-1]

1 言ってやれ。「カーフィルたちよ、2 わたしは、あなたたちのイバーダするものをイバーダせず、3 あなたたちは、わたしのイバーダするものをイバーダする者ではない。4 また、わたしはあなたたちがイバーダしたものをイバーダする者ではなく、5 あなたたちは、わたしのイバーダするものをイバーダする者ではない。6 あなたたちにはあなたたちの宗教 (しゅうきょう) があり、わたしにはわたしの宗教 (しゅうきょう) がある」。不信仰者たち章 1 - 6 節

かいせつ：

1 「言ってやれ。「カーフィルたちよ、」：使徒 (しと) よ、言ってやりなさい：アッラーにたいしてクフル (知ったあとに、ひていすること) する者たちよ、

2 「わたしは、あなたたちのイバーダするものをイバーダせず、」：わたしは、あなたたちがイバーダする偶像 (くうぞう) を、今もイバーダせず、将来 (しょうらい) にもイバーダしません。

3 「あなたたちは、わたしのイバーダするものをイバーダする者ではない。」：わたしはアッラーだけをイバーダしますが、あなたたちはアッラーをイバーダしません。

4 「また、わたしはあなたがたがイバーダしたものをイバーダする者ではなく、」：わたしは、あなたがたがイバーダする偶像（ぐうそう）を、過去（かこ）にもイバーダしませんでした。

5 「あなたたちは、わたしのイバーダするものをイバーダする者ではない。」：わたしはアッラーだけをイバーダしますが、あなたたちはアッラーをイバーダしません。

6 「あなたたちにはあなたたちの宗教（しゅうきょう）があり、わたしにはわたしの宗教（しゅうきょう）がある。”」：あなたたちには、あなたがたがかつてにつくった宗教（しゅうきょう）があります。わたしにはアッラーからいただいた、わたしの宗教（しゅうきょう）があります。

13. えんじょしょう（ナスルしょう）をよんで、いみをおしえてください。.

えんじょしょう（ナスルしょう）は、次のとおりです：

慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（な）において

﴿إِذَا جَاءَ نَصْرُ اللَّهِ وَالْفَتْحُ ﴿١﴾ وَرَأَيْتَ النَّاسَ يَدْخُلُونَ فِي دِينِ اللَّهِ أَفْوَاجًا ﴿٢﴾ فَسَبِّحْ بِحَمْدِ

رَبِّكَ وَأَسْتَغْفِرْهُ إِنَّهُ كَانَ تَوَّابًا ﴿٣﴾﴾ [النصر: 1-3]

1 アッラーの援助（えんじょ）と勝利（しょうり）がやってきて、2人びとが、つぎつぎと集団（しゅうだん）でアッラーの宗教（しゅうきょう）に入るのを見たら、3あなたの主（しゅ）の称賛（しょうさん）とともにたたえ、かれにゆるしをいのれ。ほんとうにかれは、よくタウバをうけ入れるお方なのだ。援助章 1 - 3 節

かいせつ：

1 「アッラーの援助（えんじょ）と勝利（しょうり）がやってきて、」：使徒（しと）よ、あなたの宗教（しゅうきょう）にたいするアッラーの援助（えんじょ）と勝利（しょうり）がやってきて、マッカがムスリムたちのものになり、

2 「人びとが、つぎつぎと集団（しゅうだん）でアッラーの宗教（しゅうきょう）に入るのを見たら、」：人びとが、つぎつぎと集団（しゅうだん）でイスラームに入るのを見たら、

3 「あなたの主（しゅ）の称賛（しょうさん）とともにたたえ、かれにゆるしをいのれ。ほんとうにかれは、よくタウバをうけ入れるお方なのだ。」：それが、あなたが任務（にんむ）のおわりが近（ちか）づいた印（しるし）であることを知り、あなたの主（しゅ）を称賛（しょうさん）とともにたたえ、援助（えんじょ）と勝利（しょうり）に感謝（かんしゃ）し、ゆるしをいのりなさい。アッラーはよくゆるすお方で、しもべのタウバをよくうけ入れてくれます。

14. よりあわされたものしょう（マサドしょう）をよんで、いみをおしえてください。。

よりあわされたものしょう（マサドしょう）は、次のとおりです：

慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（な）において

﴿تَبَّتْ يَدَا أَبِي لَهَبٍ وَتَبَّ ① مَا أَغْنَىٰ عَنْهُ مَالُهُ وَمَا كَسَبَ ② سَيَصْلَىٰ نَارًا ذَاتَ لَهَبٍ ③﴾

﴿وَأَمْرَأَتُهُ حَمَّالَةَ الْحَطَبِ ④ فِي جِيدِهَا حَبْلٌ مِّن مَّسَدٍ ⑤﴾ [المسد: 1-5]

1 アブー・ラハブの両手（りょうて）は破滅（はめつ）せよ。そしてかれは、破滅（はめつ）した。2 かれのお金（かね）も、かれ

がかせいだものも、かれの役（やく）にはたたない。3かれは炎（ほのお）を上げる火に入って、あぶられることになる。4その妻（つま）、つまり薪（たきぎ）をはこぶ者も。5かの女の首（くび）には、より合わされたものの紐（ひも）が（かけられて）いる。縫り合されたもの章 1 - 5節

かいせつ：

1「アブー・ラハブの両手（りょうて）は破滅（はめつ）せよ。そしてかれは、破滅（はめつ）した。」：よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）の叔父（おじ）で、アブドル・ムッタリブの子どもであるアブー・ラハブの両手（りょうて）は破滅（はめつ）しました。なぜなら、かれの行（おこな）いがだめになってしまったからです。かれはいつもよげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）にいやがらせをしていましたが、それはむだなことでした。

2「かれのお金（かね）も、かれがかせいだものも、かれの役（やく）にはたたない。」：かれのお金（かね）や、かれの子どもが、かれの役（やく）に立ったのでしょうか？そんなものは、かれを罰（ばつ）からまもってくれませんでしたし、かれによいものももたらしませんでした。

3「かれは炎（ほのお）を上げる火に入って、あぶられることになる。」：かれはふっかつの日、炎（ほのお）を上げる地獄（じごく）の火の中に入り、そのあつさをあじわうことになります。

4「その妻（つま）、つまり薪（たきぎ）をはこぶ者も。」：かれの妻（つま）ウンム・ジャミールも、ジャハンナムに入ります。かの女はよげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）の通（とお）り道（みち）に棘（とげ）のついたものをばらまいて、いやがらせをしていたのです。

5「かの女の首（くび）には、より合わされたものの紐（ひも）が（かけられて）いる。」：かの女の首（くび）には、糸（いと）できつくより合わされた紐（ひも）が（かけられて）いて、それで地獄（じごく）へとひっぱられていくのです。

15. じゅんせいしょう (イフラスしょう) をよんで、 いみをおしえてください。

じゅんせいしょう (イフラスしょう) は、次のとおりです：
慈悲 (じひ) あまねく慈愛 (じあい) ふかいアッラーの名 (な)
において

﴿قُلْ هُوَ اللَّهُ أَحَدٌ ۝۱ اللَّهُ الصَّمَدُ ۝۲ لَمْ يَلِدْ وَلَمْ يُولَدْ ۝۳ وَلَمْ يَكُن لَّهُ كُفُوًا أَحَدٌ ۝﴾

[الإخلاص: 4-1]

1 言え。「かれはアッラー、唯一 (ゆいいつ) なるお方、2 アッラーは、すべてのものが必要 (ひつよう) とするお方。3 うまないし、うまれもしなかった。4 かれにくらべられるものはない。」純正章 1 - 4 節

かいせつ：

1 「言え。「かれはアッラー、唯一 (ゆいいつ) なるお方、」：使徒 (しと) よ、かれはアッラーで、ほかに神 (かみ) はいません。

2 「アッラーは、すべてのものが必要 (ひつよう) とするお方。」：すべてのものがアッラーに、自分 (じぶん) に必要 (ひつよう) なものをもとめます。

3 「うまないし、うまれもしなかった。」：アッラーには子どももなく、親 (おや) もいません。

4 「かれにくらべられるものはない。」：アッラーがつくったものの中で、アッラーににているものは一つもありません。

16. れいめいしょう (ファラクしょう) をよんで、いみをおしえてください。

れいめいしょう (ファラクしょう) は、次のとおりです：

慈悲(じひ)あまねく慈愛(じあい)ふかいアッラーの名(な)において

﴿قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ الْفَلَقِ ﴿١﴾ مِنْ شَرِّ مَا خَلَقَ ﴿٢﴾ وَمِنْ شَرِّ غَاسِقٍ إِذَا وَقَبَ ﴿٣﴾ وَمِنْ شَرِّ

الْتَفَّؤْتِ فِي الْعُقَدِ ﴿٤﴾ وَمِنْ شَرِّ حَاسِدٍ إِذَا حَسَدَ ﴿٥﴾﴾ [الفلق: 5-1]

1 言え。「わたしは黎明(れいめい)の主(しゅ)に、ご加護(かご)をもとめる。2 かれがつくったものの悪(あく)から。3 ふかまる闇(やみ)の悪(あく)から。4 繫(つな)ぎ目に、息(いき)をふきこむ女(おんな)たちの悪(あく)から。5 しつとする妬(ねた)み屋(や)の悪(あく)から」。黎明章 1 - 5 節
かいせつ：

1 「言え。「わたしは黎明(れいめい)の主(しゅ)に、ご加護(かご)をもとめる。」：使徒(しと)よ、言いなさい：わたしは朝(あさ)の主(しゅ)に、ご加護(かご)と助(たす)けをもとめます。

2 「かれがつくったものの悪(あく)から。」：かれがつくったもので、害(がい)をもたらすものの悪(あく)から。

3 「ふかまる闇(やみ)の悪(あく)から。」：わたしはアッラーに、夜(よる)にあらわれるさまざま悪(あく)からの助(たす)けを、もとめます。夜(よる)にあらわれる悪(あく)とは、たとえば(きけん)いきものや、どろぼうなどのことです。

4 「繫(つな)ぎ目に、息(いき)をふきこむ女(おんな)たちの悪(あく)から。」：わたしはアッラーに、繫(つな)ぎ目に息

(いき)をふきこんで、魔術(まじゅつ)をつかう女(おんな)たちの悪(あく)からの助(たす)けを、もとめます。

5「しつとする妬(ねた)み屋(や)の悪(あく)から」。: また、アッラーからよいものをいただいた人びとを妬(ねた)み、きらう者の悪(あく)からの助(たす)けを、もとめます。かれらは、そのよいものがなくなってしまい、かれらがひどい目にあえばよいとおもっているのです。

17. 人びとしょう (ナースしょう) をよんで、いみをおしえてください。 .

人びとしょう (ナースしょう) は、次のとおりです:

慈悲(じひ)あまねく慈愛(じあい)ふかいアッラーの名(な)において

﴿قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ النَّاسِ ① مَلِكِ النَّاسِ ② إِلَهِ النَّاسِ ③ مِنْ شَرِّ الْوَسْوَاسِ الْخَنَّاسِ ④ الَّذِي

يُوسِّسُ فِي صُدُورِ النَّاسِ ⑤ مِنَ الْجِنَّةِ وَالنَّاسِ ⑥﴾ [الناس: 1-6]

1 言え。「わたしは人びとの主(しゅ)に、ご加護(かご)をもとめる。2 人びとの王(おう)、3 人びとの神(かみ)に、4 身(み)をかくして囁(ささや)きかける者の悪(あく)から。5 (それは、) 人びとの胸(むね)に(悪を)囁(ささや)きかける、6 ジンと人びとである」。人々章 1 - 6節

かいせつ:

1「言え。「わたしは人びとの主(しゅ)に、ご加護(かご)をもとめる。」: 使徒(しと)よ、言いなさい: わたしは人びとの主(しゅ)に、ご加護(かご)と助(たす)けをもとめます。

2「人びとの王(おう)、」: アッラーは、かれらを何(なん)でも好(す)きなようにできるお方です。かれのほか、かれらを所有(しよゆう)する者などいません。

3 「人びとの神（かみ）に、」：アッラーはイバーダされるにふさわしく、人びとにはアッラーいがいイバーダしてよいものなどありません。

4 「身（み）をかくして囁（ささや）きかける者の悪（あく）から。」：人びとに囁（ささや）きかけるシャイターンの悪（あく）から。

5 「（それは、）人びとの胸（むね）に（悪を）囁（ささや）きかける、」：シャイターンは、人びとの心（こころ）に（悪を）囁（ささや）かけます。

6 ジンと人びとである。”」：（悪を）囁（ささや）きかけるのは、人間（にんげん）とジンです。

ハディースハディースのちしきハディースとは:

ムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)のことば、おこない、みとめたこと、見た目やせいにかくなどの特徴(とくちょう)として、つたえられることです。

1ばんめのハディース:

1. 「おこないは、ニイヤできまります・・・」というハディースを、ぜんぶ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。”

アミール・アル=ムウミニーン、ハフサの父(ちち)ウマル・ブン・アル=ハッターブ(アッラーのおよろこびあれ)さまは、言いました:「わたしは、アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)が、こう言うのをききました:「おこないは、ニイヤできまります。人は、ニイヤしたものを手に入れます。アッラーとその使徒(しと)のためにヒジュラした者は、アッラーとその使徒(しと)のためにゆえにヒジュラをしたことになります。しかし、この世(よ)のことや女性(じょせい)との結婚(けっこん)のためにヒジュラした者は、そのためにヒジュラしたことになります。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

ハディースからのまなび:

1・サラールでも、サウムでも、ハッジでも、すべてのおこないには、ニイヤがあります。

2・ニイヤを、アッラーのためだけに向けなければなりません。

2ばんめのハディース:

2. 「わたしたちのおこないでないものをおこなった者は・・・」というハディースを、ぜんぶ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。”

アーイシャ（アッラーのおよろこびあれ）さまは言いました：「アッラーのしと（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「わたしたちのおこないでないものをおこなった者は、拒否（きよひ）されます。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

ハディースからのまなび：

1・しゅうきょうで、あたらしいことをかかってにはじめることは、禁止（きんし）されます。

2・そのようなことは、アッラーにうけ入れてもらえません。

3ばんめのハディース

3. 「わたしたちがある日アッラーのしと（しゅくふくとへいあんあれ）といっしょにいるとき・・・」というハディースを、ぜんぶ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。”

ウマル・ブン・アル＝ハッターブ（アッラーのおよろこびあれ）さまは言いました：「わたしたちがある日アッラーのしと（しゅくふくとへいあんあれ）といっしょにいるとき、まっしろな服（ふく）を着（き）た、まっくろな髪（かみ）の男（おとこ）が現（あらわ）れました。わたしたちのだれもかれを知りませんでした。かれは旅（たび）をしてきたようすでもありませんでした。かれはよげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）のところに來（く）

ると、ひざをつき合わせて座(すわ)り、両手(りょうて)をよげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)の両腿(りょうもも)の上におきました。そして言いました：“ムハンマドよ、イスラームについておしえてください。”よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、言いました：“イスラームとは、ラー・イラーハ・イッラッラー、ムハンマドゥッラズールッラー(アッラーのほかには)神(かみ)はなく、ムハンマドさまはアッラーの使徒(しと)です”と証言(しょうげん)し、サラールをまもり、ザカーをしはらい、ラマダーンをサウムし、できるならカアバをめざしてハッジすることです。”かれは言いました：“正(ただ)しい。”わたしたちは、じぶんで尋(たず)ねておきながら、こたえを“正(ただ)しい”と言う、その男(おとこ)に驚(おどろ)きました。かれはまた言いました：“それではイーサーンについておしえてください。(アッラーのしとは)言いました：“アッラーと、その天使(てんし)たち、諸啓典(しょけいてん)、諸使徒(しょしと)、最後(さいご)の日、そしてそれがよいことであれ悪(わる)いことであれ、運命(うんめい)を信(しん)じることです。”(かれは)言いました：“正しい。”かれは言いました：“それではイフサーンについておしえてください。”(アッラーのしとは)言いました：“アッラーがまるで目の前(まえ)にいるかのように、イバーダすることです。たとえかれが見えなくても、かれはあなたをご覧(らん)になります。”かれは言いました：“それでは、復活(ふっかつ)の日についておしえてください。”(アッラーのしとは)言いました：“質問(しつもん)された者が、質問(しつもん)した者よりも、それについて知っているわけではありませ

ん。”かれは言いました：“それでは、その予兆（よちょう）についておしえてください。”（アッラーのしとは）言いました：“あなたは奴隷（どれい）の女（おんな）が、その主人（しゅじん）を産（う）むのを見るでしょう。また、服（ふく）も靴（くつ）もない、まずしい羊（ひつゐ）かいたちが、きそって高（たか）い建物（たてももの）をたて合うのを見るでしょう。”それからかれは、たちさりました。わたし（ウマル）は、そのままそこにいました。すると（アッラーのしとは）わたしに、こう言いました：“ウマルよ、あの質問（しつもん）した者が誰（だれ）か分かるか？”わたしは言いました：“アッラーとそのしとが、よくご存知（ぞんじ）です。”（アッラーのしとは）言いました：“あれはジブリールだ。あなたたちに、あなたたちの宗教（しゅうきょう）をおしえるためにやってきたのだ。”」ムスリムのでんしょう

ハディースからのまなび：

1・イスラームの五行（ごぎょう）のせつめいがあります。それは、次のとおりです：

・ラー・イラーハ・イツラッラー、ムハンマドウツラスールツラー（アッラーのほかに神（かみ）はなく、ムハンマドさまはアッラーの使徒（しと）です）という証言（しょうげん）。

- ・サラをまもること。
- ・ザカーをしはらうこと。
- ・ラマダーンのサウムをすること。
- ・マッカへとハッジすること。

2・イスラームの六信（ろくしん）のせつめいがあります。それは、次のとおりです：

- ・アッラーへの信仰（しんこう）。
- ・天使（てんし）たちへの信仰（しんこう）。
- ・諸啓典（しよけいてん）への信仰（しんこう）。
- ・使徒（しと）たちへの信仰（しんこう）。
- ・最後（さいご）の日への信仰（しんこう）。

・よいものも悪（わる）いものもふくめて、運命（うんめい）をしんじること。

3・イフサーンについてのせつめい：それはアッラーがまるで目の前（まえ）にいるかのように、イバーダすることです。たとえかれが見えなくても、かれはあなたをご覧（らん）になります。

4・復活（ふっかつ）の日がくるときについての、せつめい。アッラーしかそのことを知りません。

4ばんめのハディース

4. 「イーマーンがもっとも完全（かんぜん）なムウミンは・・・」というハディースを、ぜんぶ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。”

アブー・フライラ（アッラーのおよろこびあれ）によれば、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「イーマーンがもっとも完全（かんぜん）なムウミンは、もっとも性格（せいかく）がよいムウミンです。」ティルミズイーは良好（りょうこう）で正（ただ）しいハディースとしています。

ハディースからのまなび：

- 1・よい性格（せいかく）のすすめ。
 - 2・性格（せいかく）のよさは、イーマーンのつよさからきま
- す。

3・イーマーンはふえたり、へつたりします。

5ばんめのハディース:

5. 「アッラーいがいのものに誓 (ちか) った者は・ ・ ・」 というハディースを、ぜんぶ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。...

アブドッラー・ブン・ウマル (アッラーのおよろこびあれ) さまによれば、よげんしゃさま (しゆくふくとへいあんあれ) は言いました: 「アッラーいがいのものに誓 (ちか) った者は、不信仰 (ふしんこう) またはシルクをおこなったことになる。」 ティルミズイーのでんしょう

ハディースからのまなび:

- 1・アッラーいがいのものに誓 (ちか) ってははいけません。
- 2・アッラーいがいのものに誓 (ちか) うことは、小さなシルクです。

6ばんめのハディース:

6. 「わたしが、あなたたちのお父さんや子ども、はたまた全 (すべ) ての者よりも愛 (いと) しい者とならなければ・ ・ ・」 というハディースを、ぜんぶ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。..

アナス (アッラーのおよろこびあれ) さまによれば、アッラーのしと (しゆくふくとへいあんあれ) は言いました: 「わたしが、あなたたちのお父さんや子ども、はたまた全 (すべ) ての者よりも愛

(いと)しい者とならなければ、ほんとうに信仰(しんこう)した
ことにはならない。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

ハディースからのまなび：

1・よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)を、だれよりも愛(あい)さなければなりません。

2・よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)への愛(あい)は、イーマーンのかんぜんさによるものです。

7ばんめのハディース：

**7. 「じぶんのことを愛(あい)するように、兄弟(きょうだい)のことも愛(あい)するようになるまでは・
・」というハディースを、ぜんぶ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。”**

アナス(アッラーのおよろこびあれ)さまによれば、アッラーの
しと(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「じぶんのこ
とを愛(あい)するように、兄弟(きょうだい)のことも愛(あい)
するようになるまでは、ほんとうに信仰(しんこう)したとはいえ
ない。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

ハディースからのまなび：

1・ムウミンは、じぶんのことを愛(あい)するように、兄弟
(きょうだい)のことも愛(あい)さなくてははいけません。

2・それは、イーマーンのかんぜんさによるものです。

8ばんめのハディース：

8. 「わたしのたましいが、その手にゆだねられているお方に誓（ちか）って！ そのスーラは・・・」というハディースを、ぜんぶ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。....”

アブー・サイード（アッラーのおよろこびあれ）さまによれば、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「わたしのたましいが、その手にゆだねられているお方に誓（ちか）って！ そのスーラは、クルアーンの3ぶんの1に相当（そうとう）する。」ブハーリーのでんしょう

ハディースからのまなび：

1・イフラス（純正）しょうの徳（とく）。

2・イフラス（純正）しょうは、クルアーンの3ぶんの1に相当（そうとう）すること。

9ばんめのハディース

9. 「“アッラーによってでしか、いかなる変化（へんか）も力（ちから）もありません” ということばは・・・」というハディースを、ぜんぶ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。”

アブー・ムーサー（アッラーのおよろこびあれ）さまによれば、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：

「“アッラーによってでしか、いかなる変化（へんか）も力（ちから）もありません” ということばは、ジャンナの宝物（たからもの）です。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

ハディースからのまなび：

1・このことばのすばらしさと、それがジャンナの宝物（たからもの）だということ。

2・自分（じぶん）にはいかなる変化（へんか）も力（ちから）もないとみとめ、アッラーだけにたよること。

10ばんめのハディース

10. 「体（からだ）には、ただしい状態（じょうたい）にあれば体（からだ）全体（ぜんたい）もただしく・・・」というハディースを、ぜんぶ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。”

ヌゥマーン・ブン・バシール（アッラーのおよろこびあれ）さまは言いました：「わたしはアッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）が、こう言うのを聞きました：「体（からだ）には、ただしい状態（じょうたい）にあれば体（からだ）全体（ぜんたい）もただしく、それが悪（わる）ければ体（からだ）全体（ぜんたい）も悪（わる）くなる、一つの肉（にく）の塊（かたまり）があります。それが、心（こころ）なのです。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

ハディースからのまなび：

1・心（こころ）のただしい状態（じょうたい）にあれば、内（うち）がわも外（そと）がわもただしくなります。

2・心（こころ）がただしい状態（じょうたい）にあるために、どりよくすること。それによって心（こころ）も、ただしくなるからです。

11ばんめのハディース：

11. 「さいごの言葉（ことば）が“ラー・イラーハ・イッラッラー（アッラーのほかには神（かみ）はない）という証言（しょうげん）” だった者は・・・」というハディースを、ぜんぶ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。”

ムアーズ・ブン・ジャバル（アッラーのおよろこびあれ）さまによれば、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「さいごの言葉（ことば）が“ラー・イラーハ・イッラッラー（アッラーのほかには神（かみ）はない）という証言（しょうげん）” だった者は、ジャンナに入る。」アブー・ダーウードのでんしょう

ハディースからのまなび：

1. 「ラー・イラーハ・イッラッラー」という証言（しょうげん）の、すばらしさ。それによって、人がジャンナに入れること。
2. この世でのさいごのことばが「ラー・イラーハ・イッラッラー」だった人の、すばらしさ。

12ばんめのハディース：

12. 「ムウミンはだれかをひどくなじったり、呪（のろ）ったり・・・」というハディースを、ぜんぶ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。”

アブドッラー・ブン・マスウード（アッラーのおよろこびあれ）さまによれば、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「ムウミンはだれかをひどくなじったり、呪（のろ）っ

たり、汚(きたな)いことばをいったり、わるくちを言ったりしません。」ティルミズイーのでんしょう

ハディースからのまなび：

- 1・まちがったことばや、きたないことばの禁止(きんし)。
- 2・そのようなことばを言わないのが、ムウミンのとくちょうです。

13ばんめのハディース：

13. 「じぶんに関係(かんけい)のないことを放(ほう)っておくことは・・・」というハディースを、ぜひ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。.”

アブー・フライラ(アッラーのおよろこびあれ)さまによれば、アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「じぶんに関係(かんけい)のないことを放(ほう)っておくことは、よいムスリムであることの一つ(のしるし)である。」ティルミズイーらのでんしょう

ハディースからのまなび：

- 1・他人(たにん)のしゅうきょうや、この世(よ)のことについて、じぶんに関係(かんけい)のないことを放(ほう)っておくこと。
- 2・じぶんに関係(かんけい)のないことを放(ほう)っておくことは、イスラームがよい状態(じょうたい)の印(しるし)であること。

14ばんめのハディース：

14. 「クルアーンを一文字（ひともじ）読（よ）んだ者には・・・」というハディースを、ぜんぶ言ってください。そこから分かることを、おしえてください。”

アブドッラー・ブン・マスウード（アッラーのおよろこびあれ）さまによれば、よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「クルアーンを一文字（ひともじ）読（よ）んだ者には、一つの善行（ぜんこう）がある。そして一つの善行（ぜんこう）には、その10倍（ばい）のごほうびがある。『アリフ ラーム ミーム』は一文字（ひともじ）ではなく、アリフで一文字（ひともじ）、ラームで一文字（ひともじ）、ミームで一文字（ひともじ）なのである。」ティルミズイーのでんしょう

ハディースからのまなび：

1. クルアーンを読（よ）むことの徳（とく）。
2. クルアーンを一文字（ひともじ）読（よ）めば、たくさんの善行（ぜんこう）になること。

イスラームの礼儀作法（れいぎさほう）礼儀作法（れいぎさほう）のちしきイスラームの礼儀作法（れいぎさほう）とは：

イスラームのおしえによって伝（つた）えられる、よいふるまいや、行（おこな）いのことです。アッラーにたいする礼儀作法（れいぎさほう）、アッラーいがいにたいする礼儀作法（れいぎさほう）のどちらもあります。

アッラーにたいする礼儀作法（れいぎさほう）：

1. アッラーにたいする礼儀作法（れいぎさほう）とは、どのようなものですか？

1・アッラーをいだいに思（おも）うこと。アッラーはおつしやります。

﴿وَمَا قَدَرُوا اللَّهَ حَقَّ قَدْرِهِ وَالْأَرْضُ جَمِيعًا قَبْضَتُهُ يَوْمَ الْقِيَامَةِ وَالسَّمَوَاتُ مَطْوِيَّاتٌ

بِيَمِينِهِ سُبْحَانَهُ وَتَعَالَى عَمَّا يُشْرِكُونَ ﴿٦٧﴾ [الزمر: 67]

「かれらは、アッラーをきちんと敬（うやま）わなかった。復活（ふっかつ）の日、大地（だいち）はすべてかれの一つかみの中にあり、天はかれのみぎ手でおりたたまれる。アッラーにたたえあれ、かれはかれらのするようなこと（シルク）から、はるか高（たか）く無縁（むえん）なお方である。」 集団章 67節

2・何（なに）もならぶものがない唯一（ゆいいつ）のアッラーだけを、イバーダすること。アッラーは、こうおつしやりました：

﴿يَا أَيُّهَا النَّاسُ إِن كُنْتُمْ فِي رَيْبٍ مِّنَ الْبَعْثِ فَإِنَّا خَلَقْنَاكُمْ مِّن تُرَابٍ ثُمَّ مِن نُّطْفَةٍ ثُمَّ مِن

عَلَقَةٍ ثُمَّ مِن مُّضْغَةٍ مُّخَلَّقَةٍ وَعَيْرٍ مُّخَلَّقَةٍ لِّنُبَيِّنَ لَكُمْ وَنُقِرُّ فِي الْأَرْحَامِ مَا نَشَاءُ إِلَىٰ آجَلٍ مُّسَمًّى

ثُمَّ نُخْرِجُكُمْ طِفْلًا ثُمَّ لَتَبَلُّغُوا أَشْدَّكُمْ وَمِنْكُمْ مَن يُتَوَفَّى وَمِنْكُمْ مَن يُرَدُّ إِلَىٰ أَرْدَلِ الْعُمُرِ
 لِكَيْلَا يَعْلَمَ مِن بَعْدِ عِلْمٍ شَيْئًا وَتَرَى الْأَرْضَ هَامِدَةً فَإِذَا أَنزَلْنَا عَلَيْهَا الْمَاءَ اهْتَزَّتْ وَرَبَّتْ
 وَأَنْبَتَتْ مِن كُلِّ زَوْجٍ بَهِيجٍ ﴿٥﴾ [الحج: 5]

「かれらは、アッラーだけに純粹（じゅんすい）なイバーダをす
 ることしか、命（めい）じられてはいなかった。」明証章 5 節
 3・アッラーにしたがうこと・アッラーはおっしゃります。

﴿* يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا أَطِيعُوا اللَّهَ وَأَطِيعُوا الرَّسُولَ وَلَا تُبْطِلُوا أَعْمَالَكُمْ ﴾ [محمد: 33]

「信仰（しんこう）する者たちよ、アッラーにしたがえ。」ムハ
 ンマド章 33 節

4・アッラーに反抗（はんこう）しないこと・アッラーはおつし
 やります。

﴿وَمَن يَعْصِ اللَّهَ وَرَسُولَهُ وَيَتَعَدَّ حُدُودَهُ يُدْخِلْهُ نَارًا خَالِدًا فِيهَا وَلَهُ عَذَابٌ مُّهِينٌ ﴿١٤﴾﴾

[النساء: 14]

「アッラーとその使徒（しと）に反抗（はんこう）し、その決（
 き）まりを守（まも）らない者は、えいえんの地獄（じごく）に入
 れられる。かれには、くつじょく的な罰（ばつ）がある。」婦人章
 14 節

5・かぞえきれないほどのお恵（めぐ）みをくださったアッラー
 にかんしゃし、アッラーを讚美（さんび）すること・アッラーはお
 っしゃります。

﴿* يَوْمَ تَأْتِي كُلُّ نَفْسٍ تُجَدِّدُ عَنْ نَفْسِهَا وَتُوَفَّى كُلُّ نَفْسٍ مَّا عَمِلَتْ وَهُمْ لَا يُظْلَمُونَ ﴾ ﴿١١﴾﴾

[النحل: 111]

「アッラーのお恵（めぐ）みをかんしゃせよ。もしあなたたちが、かれをイバーダするというなら。」 蜜蜂章 114節

6・アッラーのきめた運命（うんめい）にたいし、サブル（にんたい）すること。アッラーはおっしゃります。

﴿وَأَصْبِرُوا إِنَّ اللَّهَ مَعَ الصَّابِرِينَ﴾ [الأنفال: 46]

「サブルせよ。アッラーはサブルする者たちと、ともにある。」 戦利品章 46節

アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）への、礼儀作法（れいぎさほう）：

2. アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）への礼儀作法（れいぎさほう）とは、どんなものですか？

1・アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）をモデルとすること。アッラーはおっしゃります。

﴿لَقَدْ كَانَ لَكُمْ فِي رَسُولِ اللَّهِ أُسْوَةٌ حَسَنَةٌ لِّمَن كَانَ يَرْجُوا اللَّهَ وَالْيَوْمَ الْآخِرَ وَذَكَرَ اللَّهَ

كَثِيرًا﴾ [الأحزاب: 21]

「あなた方にとって、アッラーのしとの中には、よいモデルがあった。アッラーとさいごの日をのぞみ、アッラーをよくズィクルしていた人にとって。」 部族連合章 21節

2・アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）に、したがうこと。

3・ムハンマドさまに、さからわないこと。アッラーはおっしゃります。

﴿مَنْ يُطِيعِ الرَّسُولَ فَقَدْ أَطَاعَ اللَّهَ وَمَنْ تَوَلَّىٰ فَمَا أَرْسَلْنَاكَ عَلَيْهِمْ حَفِيظًا﴾ [النساء: 80]

「しとに従（したが）う者は、アッラーに従（したが）ったのである。われらは背（そむ）く者にたいして、あなたを見張（みは）り人としてつかわしたのではない。」婦人章 80節

4・ムハンマドさまが言ったことを、しんじること・アッラーはおっしゃります。

﴿وَمَا يَنْطِقُ عَنِ الْهَوَىٰ ۚ إِنْ هُوَ إِلَّا وَحْيٌ يُوحَىٰ ۖ عَلَّمَهُ شَدِيدُ الْقُوَىٰ﴾ [النجم: 5-3]

「かれは、欲望（よくぼう）によってしゃべっているのではない。それは、かれにくだされた啓示（けいじ）なのだ。」星章 3-4節

5・よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）のスンナに、かつてに付（つ）けくわえないこと。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「私たちの行（おこな）いでないものを行（おこな）った者は、拒否（きよひ）されます。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

6・自分（じぶん）やほかのどんな人よりも、よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）を愛（あい）すること。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「わたしが、あなたたちのお父さんや子ども、はたまた全（すべ）ての者よりも愛（いと）しい者とならなければ、ほんとうに信仰（しんこう）したことにはなりません。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

7・よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）をいだいに思（おも）い、かれとかれのスンナを助（たす）けること。アッラーはおっしゃります。

﴿لَتُؤْمِنُوا بِاللَّهِ وَرَسُولِهِ ۖ وَتُعَزِّرُوهُ وَتُوَقِّرُوهُ ۖ وَتُسَبِّحُوهُ بُكْرَةً وَأَصِيلًا﴾ [الفتح: 9]

「あなたたちがアッラーと使徒（しと）を信（しん）じ、かれを助（たす）け、敬（うやま）うために。」勝利章 9節

両親（りょうしん）への礼儀作法（れいぎさほう）：

3. 両親（りょうしん）への礼儀作法（れいぎさほう）は、どんなものですか？

- 1・罪（つみ）にはならないはんいで、両親（りょうしん）にしたがうこと。
- 2・両親（りょうしん）のおせわをすること。
- 3・両親（りょうしん）を助（たす）けること。
- 4・両親（りょうしん）がやってほしいことを、行（おこな）うこと。
- 5・両親（りょうしん）のためにドゥアーすること。
- 6・両親（りょうしん）に、ていねいなことばづかいをすること。「ちえっ」というような小さな文句（もんく）も言（い）ってはなりません。
- 7・両親（りょうしん）には笑顔（えがお）を見せ、むすっとした顔（かお）をしないこと。
- 8・両親（りょうしん）がしゃべっているのに、それより大きなこえで話（はな）さないこと。両親（りょうしん）のことばをきき、話（はなし）をさえぎらないこと。「おとうさん」「おかあさん」というように呼（よ）び、名まえで呼（よ）んだりしないこと。
- 9・両親（りょうしん）の部屋（へや）に入るまえ、きよかを求（もと）めること。
- 10・両親（りょうしん）の手や頭（あたま）にキスをすること。アッラーはおっしゃります。

﴿* وَقَضَىٰ رَبُّكَ أَلَّا تَعْبُدُوا إِلَّا إِيَّاهُ وَبِالْوَالِدَيْنِ إِحْسَانًا إِمَّا يَبُلُغَنَّ عِنْدَكَ الْكِبَرَ أَحَدُهُمَا أَوْ كِلَاهُمَا فَلَا تَقُلْ لَهُمَا أُفٍّ وَلَا تَنْهَرْهُمَا وَقُلْ لَهُمَا قَوْلًا كَرِيمًا ﴿٢٣﴾ وَأَخْفِضْ لَهُمَا جَنَاحَ الذَّلِيلِ مِنَ الرَّحْمَةِ وَقُلْ رَبِّ أَرْحَمُهُمَا كَمَا رَبَّيْتَانِي صَغِيرًا ﴿٢٤﴾﴾ [الإسراء: 23-24]

「あなたの主（しゅ）は命（めい）じた。かれのほか、何（なに）ものもイバーダしてはならない。また両親（りょうしん）に孝行（こうこう）しなさい。もし両親（りょうしん）かまたそのどちらかが、あなたといっしょにいて年老（としお）いても、かれらに「ちえっ」とか言わず、親切（しんせつ）な言葉（ことば）で話（はな）しなさい。そして慈悲（じひ）の念（ねん）をこめ、両親（りょうしん）に謙虚（けんきょ）に翼（つばさ）をひくくおろして、「主（しゅ）よ、おさないわたしを育（そだ）ててくれたように、二人に慈悲（じひ）をかけてください」と言うのだ。」夜の旅章 23 - 24節

また、このようなハディースもあります：ある男（おとこ）がよげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）のところへやってきて、たたかいに参加（さんか）する許可（きょか）をもとめました。よげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「両親（りょうしん）はいますか？」男（おとこ）が「はい」と言うのと、よげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「かれらのためにがんばりなさい。」ティルミズイーのでんしよう

近親（きんしん）にたいする礼儀作法（れいぎさほう）：

4. 近親（きんしん）にたいする礼儀作法（れいぎさほう）は、どんなものですか？

1・兄弟（きょうだい）、姉妹（しまい）、おじさん、おばさんなど、近親（きんしん）を訪問（ほうもん）すること。

2・ことばやおこないによって、近親（きんしん）によくすること。かれらを助（たす）けること。

3・近親（きんしん）にれんらくをし、無事（ぶじ）でいるかどうか、たずねること。アッラーはおっしゃります。

﴿فَهَلْ عَسَيْتُمْ إِنْ تَوَلَّيْتُمْ أَنْ تُفْسِدُوا فِي الْأَرْضِ وَتُقْطِعُوا أَرْحَامَكُمْ﴾ [محمد: 22]

「かれらは、あなたたちが立ちさったら、地上（ちじょう）で悪（あく）をはたらき、近親（きんしん）の関係（かんけい）を切（き）ってしまうのではないか？」ムハンマド章 22節

ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：
「近親（きんしん）との関係（かんけい）を断（た）つ者は、ジャンナに入らない。」ムスリムのでんしょう

イスラームの兄弟（きょうだい）姉妹（しまい）にたいする、礼儀作法（れいぎさほう）：

5. イスラームの兄弟（きょうだい）姉妹（しまい）や友人（ゆうじん）には、どのようにあったらよいですか？

1・よい友人（ゆうじん）を好（す）きになり、一緒（いっしょ）にいるようにします。

2・わるい友人（ゆうじん）は遠（とお）ざけ、一緒（いっしょ）にいないようにします。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「ムウミンとしか一緒（いっしょ）にいないようにしなさい。タクワーのある人しか、あなたの食（た）べものを食（た）べないようにしなさい。」ティルミズイーとアブー・ダーウッドのでんしょう

3・イスラームの兄弟（きょうだい）姉妹（しまい）にあいさつし、あくしゅします。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「二人のムスリムが会（あ）って握手（あくしゅ）すれば、別（わか）れる前（まえ）にかれら（のつみ）はゆるされるのだ。」アブー・ダーウッドとティルミズイーのでんしょう

4・びょうきになったら、おみまいします。そして早（はや）くなおるように、ドゥアーします。

5・くしゃみをして「アルハムドゥリツラー」と言ったら、ドゥアーします。

6・しょうたいされたら、それにこたえます。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「ムスリムの、ムスリムにたいする5つの権利（けんり）：あいさつを返（かえ）すこと。病人（びょうにん）をおみまいすること。ジャーナーザに参加（さんか）すること。招待（しょうたい）に応（おう）じること。くしゃみをした者にドゥアーすること。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

7・アドバイスします。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「ただしいことではないと知（し）っていながら、兄弟（きょうだい）にそれをすすめる者は、兄弟（きょうだい）をうらぎったことになります。」アブー・ダーウッドのでんしょう

8・わるいことをしたらアドバイスし、それをやめるようにさせます。アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「あなたの兄弟（きょうだい）がわるいことをしていても、されていても、たすけなさい。」ある人が言いました：「アッラーの使徒（しと）よ、わるいことをされている兄弟（きょうだい）はたすけますが、わるいことをしている兄弟（きょうだい）をどうやってたすけますか？」アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「わるいことをさせないようにしなさい。それが、かれをたすけることです。」ブハーリーのでんしょう

9・自分（じぶん）がされたいことを、ムスリム兄弟（きょうだい）にもすること。ハディースの中で、ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「じぶんのことを愛（あい）するように、兄弟（きょうだい）のことも愛（あい）するようになるまでは、ほんとうに信仰（しんこう）したとはいえません。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

10・たすけを必要（ひつよう）としていたら、たすけます。ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「兄弟（きょうだい）をたすけている者を、アッラーはたすけてくれます。」ムスリムのでんしょう

11・ことばや口で、害（がい）をあたえないこと。ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「ムスリムとは、その口（くち）と手が、ほかのムスリムにとって安全（あんぜん）な者のことです。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

12・ひみつをまもります。ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「人が話（はなし）をして、そのあとにそこからいなくなったら、その話（はなし）はアマーナ（まもらな

くてはいけないもの)です。」ティルミズイーとアブー・ダーウードのでんしょう

13・ののしったり、かげでわるいことを言ったり、ばかにしたり、しっとしたり、詮索(せんさく：なにかわるいことがないか、さがすこと)したり、だましたりしません。ムハンマドさま(しゅくふくとへいあんあれ)は言いました：「ムスリムはムスリムの兄弟(きょうだい)です。わるいこともせず、みすてず、ばかにもしません。ムスリム兄弟(きょうだい)をばかにするのは、とてもわるいことです。」ブハーリーとムスリムのでんしょう。

隣人(りんじん)にたいする礼儀作法(れいぎさほう)：

6. 隣人(りんじん)にたいする礼儀作法(れいぎさほう)は、どのようなものですか？

1・よいことを言ったり、したりすること。たすげが必要(ひつよう)なら、たすけること。

2・イードやけっこんなどうれしいことがあつたら、おいわいすること。

3・びょうきになつたら、おみまいすること。死(し)んでしまつたら、なぐさめること。

4・できるなら、食(た)べものをつくって、さしあげます。

5・ことばや行動(こうどう)によって、害(がい)をあたえません。

6・うるさい音(おと)でめいわくをかけません。詮索(せんさく：なにかわるいことがないか、さがすこと)しません。がまんします。アッラーはおっしゃります。

﴿* وَأَعْبُدُوا اللَّهَ وَلَا تُشْرِكُوا بِهِ شَيْئًا وَبِالْوَالِدَيْنِ إِحْسَانًا وَبِذِي الْقُرْبَىٰ وَالْيَتَامَىٰ
وَالْمَسْكِينِ وَالْجَارِ ذِي الْقُرْبَىٰ وَالْجَارِ الْجُنُبِ وَالصَّاحِبِ بِالْجَنبِ وَابْنِ السَّبِيلِ وَمَا مَلَكَتْ
أَيْمَانُكُمْ إِنَّ اللَّهَ لَا يُحِبُّ مَنْ كَانَ مُخْتَالًا فَخُورًا﴾ [النساء: 36]

「アッラーをイバーダし、何（なに）ものをもかれにシルクしてはならない。両親（りょうしん）に孝行（こうこう）し、親戚（しんせき）、孤児（こじ）、貧（まず）しい者、ちかい隣人（りんじん）、ちかくない隣人（りんじん）、道（みち）づれの者、旅人（たびびと）、あなたたちの右手（みぎて）が所有（しょゆう）する者に親切（しんせつ）でありなさい。アッラーは高慢（こうまん）な者、うぬぼれる者をお好（す）きではない。」婦人章 36節

アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：

「アブー・ザッルよ、スープをつくる時（とき）には水（みず）をふやしなさい。そしていつも、あなたの隣人（りんじん）にそれを分（わ）けてやりなさい。」ムスリムのでんしょうよげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）のハディースには、このようにあります：「アッラーと最後（さいご）の日を信（しん）じる者は、隣人（りんじん）に親切（しんせつ）にすべきです。」ブハーリーとムスリムのでんしょうi

おもてなしの礼儀作法（れいぎさほう）：

7. おもてなしや、おきゃくさんにたいする礼儀作法（れいぎさほう）は、どんなものですか？

1. おさそいをうけたら、それにこたえます。
2. だれかを訪問（ほうもん）するときには、許可（きょか）をもらったり、やくそくをしたりします。

- 3・入るまえに、許可（きよか）をもらいます。
- 4・ちこくしません。
- 5・いえの中にいる人を、じろじろ見たりしません。
- 6・おきやくさんを、かんげいします。おきやくさんを笑顔（えがお）でむかえ、よいかんげいのことばをおくります。
- 7・おきやくさんを、いちばんよい場所（ばしょ）にすわらせませす。
- 8・たべものやのみもので、おきやくさんをもてなします。アッラーはおっしゃります。

﴿يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا لَا تَدْخُلُوا بُيُوتًا غَيْرَ بُيُوتِكُمْ حَتَّى تَسْتَأْذِنُوا وَتُسَلِّمُوا عَلَىٰ أَهْلِهَا﴾

﴿ذَلِكَ خَيْرٌ لَّكُمْ لَعَلَّكُمْ تَذَكَّرُونَ﴾ [النور: 27]

「信仰（しんこう）する者たちよ、許可（きよか）をもらい、家（いえ）の人にあいさつするまでは、自分（じぶん）の家（いえ）でもない家（いえ）に入ってはならない。それがあなたたちにとって、よりよいこと。あなたたちは（そうすることによって、）教訓（きょうくん）をえるだろう。」御光章 27節

ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「許可（きよか）をもらうことをアッラーがきめたのは、（見てはいけないものから）視線（しせん）をそらすためです。」ブハーリーとムスリムのでんしょうよげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、言いました：「アッラーと最後（さいご）の日を信（しん）じる者は、おきやくさんを、もてなしなさい。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

びょうきについての礼儀作法（れいぎさほう）：

8. びょうきと、びょうにんのおみまいについての礼儀作法（れいぎさほう）は、何ですか？

1・いたみをかんじるときには、みぎ手をいたい場所（ばしょ）におき、3回こう言います：「ビスミッター（アッラーの名（な）において）。」また、こう7回言います：「アウーズ・ピッターヒ・ワ・クドゥラティヒ・ミン・シャツリ・マー・アジドゥ・ワ・ウハーズイル（わたしは、アッラーとかれの力において、わたしがであり、けいかいする悪（あく）からのご加護（かご）をもとめます。）。」

2・アッラーがきめた運命（うんめい）にまんぞくし、がまんします。ウンム・アラウさまは言いました：「アッラーの使徒（しと）は、わたしがびょうきのとき、おみまいにきてくれました。そして、こう言いました：ウンム・アラウ、よろこんでください。アッラーはムスリムがびょうきになると、罪（つみ）をけしてくれます。火（ひ）が金銀（きんぎん）のよごれを、とばしてくれるようにです。」アブー・ダーウードのでんしょう

3・びょうきのムスリムのおみまいに、はやめにいきます。ドゥアーをし、あまりながくはないようにします。

4・たのまれなくても、ルクヤをしてあげます。

5・つぎのことを、アドバイスします：がまんすること、ドゥアーすること、サラアすること、できるだけタハーラのままでいること。

6・びょうにんへのドゥアー：「わたしは、偉大（いだい）なるアッラー、偉大（いだい）なるアルシュの主（ぬし）

に、あなたを治（なお）してくださることを祈（いの）ります」と7回言います。

学生（がくせい）の礼儀作法（れいぎさほう）：

9. 学生（がくせい）の礼儀作法（れいぎさほう）とは、何ですか？

1・ニヤをアッラーだけに向けること。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「がくしゃたちに自慢（じまん）したり、おろか者たちと論争（ろんそう）したり、人びとの注目（ちゅうもく）をあびたりするために知識（ちしき）をまなぶ者は、アッラーによってジャハンナムに入れられる。」イブン・マージャのでんしょう

2・まなんだことを、じつせんする。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「復活の日、4つのことをきかれるまで、人のりょう足は（せいさんのばを）はなれることがない。」その内の1つとして、「まなんだことで、何をしたか？」と言いました。ティルミズイーとダーリミーのでんしょう

3・目のまえにいても、いなくても、先生（せんせい）をそんけいします。

4・先生（せんせい）のまえでは、ぎょうぎよくします。

5・先生（せんせい）がはなすのを、よくききます。はなしをさえぎったりしません。

6・しつもんするときも、ぎょうぎよくします。

7・先生（せんせい）を名まえでよびません。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「ムスリムのおとしよりと、クルアーンをぜんぶ暗記（あんき）している人を丁重（て

いちょう)にあつかうことは、アッラーを偉大視(いだいし)することの内の一つです。」アブー・ダーウードのでんしょう

あつまりの礼儀作法(れいぎさほう)：

10. あつまりの礼儀作法(れいぎさほう)とは、どのようなものですか？

1. あつまりの場(ば)にいる人たちに、あいさつします。
2. あつまりの場(ば)では、手まえのあいているところにすわります。すわっている人を立たせません。許可をもらわないかぎり、2人のあいだにすわりません。
3. ほかの人やすわれるよう、場所(ばしょ)をあけます。
4. あつまりの場(ば)で、はなしをさえぎりません。
5. あつまりの場(ば)を出るまえに、許可(きよか)をもらい、あいさつします。イブン・ウマルさま(アッラーのおよろこびあれ)によれば、よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、あつまりの場(ば)でだれかを立たせ、そこにすわることをきんじました。「そうするのではなく、場所(ばしょ)をあけてやりなさい」と言いました。ブハーリーのでんしょうムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「あなた方が集(あつ)まりの場(ば)にやってきたら、挨拶(あいさつ)しなさい。そしてそこから立(た)ちさりたいときにも、挨拶(あいさつ)しなさい。最初(さいしょ)の挨拶(あいさつ)よりも最後の挨拶(あいさつ)のほうが、優先(ゆうせん)されるわけではないのだ。」ティルミズイーとアブー・ダーウードのでんしょう
6. あつまりがおわったら、あつまりのカップアーラ(つぐない)のドゥアーをします。「アッラーよ、あなたに賞賛(しよ

うさん)と讚美(さんび)あれ。わたしはあなたのほかに神(かみ)はないと証言(しょうげん)します。わたしはあなたに赦(ゆる)しをおねがいし、タウバします。」)

ねむりの礼儀作法(れいぎさほう)：

1.1. ねむりの礼儀作法(れいぎさほう)とは、どのようなものですか？

1・はやくねます。アブー・バルザさま(アッラーのおよろこびあれ)によれば、アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)はイシャー前(まえ)に寝(ね)ることと、その後(あと)に話(はなし)をして過(す)ごすことを好(この)まれませんでした。ブハーリーのでんしょう

2・タハーラのじょうたいで、ねます。

3・うつぶせでねません。

4・体のみぎがわを下にしてねます。みぎ手を、みぎのほほの下におきます。

5・ふとんを点検(てんけん)します。バラウ・ブン・アーズィブさま(アッラーのおよろこびあれ)によれば、ムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「ねどこに行(い)くなら、サラーのときと同じウドゥーをして、それからあなたの右側(みぎがわ)を下にして横(よこ)たわりなさい。」ブハーリーのでんしょうアブー・フライラさま(アッラーのおよろこびあれ)によれば、アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)はうつぶせにねている人を見て、こう言いました：「アッラーは、このねかたが好きではありません。」テイルミズイーとアフマドのでんしょうよげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「ねどこに行くときは、イザールのはしでふとんを点検(てんけん)しなさい。(そこを

はなれたあとで、)そこに何がやってきたかわかりませんから。」イザールとは、かはんしんにつける服(ふく)です。ブハーリーのでんしょう

6・ねむるときのドゥアーを言います。アーヤトルクルスィーを1回、純正(じゅんせい)しょう、黎明(れいめい)しょう、人びとしょうを3回よんで、こう言います:「アッラーよ、あなたの(な)名においてわたしは死(し)に、そして生(い)きます。」

7・ファジュルのサラーにおきます。

8・めざめたら、こう言います:「わたしたちを死(し)なせた後(あと)に生(い)き返したアッラーに、賞賛(しょうさん)あれ。そしてかれにこそ、(さいごの日の)召集(しょうしゅう)があります。」

たべものの礼儀作法(れいぎさほう):

12. 食(た)べものの礼儀作法(れいぎさほう)は、どのようなものですか?

こたえ:

1・食(た)べたり、のんだりすることで、それをアッラーにしたがう力(ちから)にするとニイヤします。

2・食(た)べるまえに、りょう手をあらいます。アーイシャさま(アッラーのおよろこびあれ)によれば、アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)は、食(た)べたりのんだりしたいときは、りょう手をあらいました。そして、それからのみくいをしました。アハマドのでんしょう

3・「ビスミッラー(アッラーの名まえにおいて)」と言って、右手(みぎて)で食(た)べること。自分(じぶん)のまえではな

い所(ところ)や、とり皿のまん中の方からではなく、自分(じぶん)のちかくから食(た)べること。よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、言いました：「少年(しょうねん)よ、ビスミッターと言って、右手(みぎて)で食(た)べなさい。自分(じぶん)のちかくから食(た)べなさい。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

4・ビスミッターと言うのをわすれたら、「そのはじまりとおわりに、ビスミッター」と言うこと。アーイシャさま(アッラーのおよろこびあれ)によれば、アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「もしあなたたちが食(た)べものを食(た)べるときには、『ビスミッター』と言いなさい。そしてもしそれを最初(さいしょ)に言い忘(わす)れたときには、『そのはじまりとおわりに、ビスミッター』と言いなさい。」ティルミズイーとアフマドのでんしょう

5・食(た)べることができる食(た)べものでまんぞくし、食(た)べものことで文句(もんく)を言いません。おいしいとおもったら食(た)べ、そうでなかったら食(た)べないでおきます。アブー・フライラさま(アッラーのおよろこびあれ)は、言いました：「よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、食(た)べものことで文句(もんく)を言うことが、全然(ぜんぜん)ありませんでした。食(た)べたければ食(た)べ、そうでないときは残(のこ)しました。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

6・たくさん食(た)べず、ほどほどに食(た)べました。ムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、こう言いました：「人がいっぱいにする器(うつわ)の中で、胃(い)ほどいっぱい

にすることが悪(わる)いものはありません。人は背中(せなか)を支(ささ)えるだけものを食(た)べれば十分(じゅうぶん)です。もしもっと食(た)べたくてしょうがないなら、3分(ぶん)の1を食物(たべもの)に、3分(ぶん)の1を飲物(のみもの)に、3分(ぶん)の1を呼吸(こきゅう)にあてなさい。」ティルミズイーとイブン・マージャによるでんしょう

7・食(た)べものやのみものの中に、息(いき)をふきこみません。あつかったら、さめるまでまちます。アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)は、食(た)べものやのみものに、息(いき)をふきこむことを禁(きん)じました：アフマドとイブン・マージャのでんしょう

8・かぞくやおきやくさんと、食(た)べるためにあつまります。ある人が、よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)に、こう言ったことがありました：「食(た)べても、おなかいっぱいにならないなあ。」よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、言いました：「ばらばらになって食(た)べているのでしょう。食(た)べるためにあつまり、食(た)べものにビスミッターと言いなさい。アッラーがバラカをくれるでしよう。」アブー・ダウードとイブン・マージャのでんしょう

9・自分(じぶん)よりとし上の人よりさきに、食(た)べません。

10・のむときには、ビスミッターと言います。すわったまま、3回にわけてのみます。のみものの中に、息(いき)をふきこみません。よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、言いました：「のむときには、のみものが入っているものの中に、息(いき)をふきこんではいけません。」ブハーリーとムスリムのでんしょうアナスさま(アッラーのおよろこびあれ)によれば、よげんし

やさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、立(た)ってのみものをのまないよう、注意(ちゅうい)しました。ムスリムのでんしょうべつハディースでは、こうあります：「アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)は、飲物(のみもの)を3回いきつぎをしながら飲(の)むようにしていました。」ムスリムのでんしょう

11・のみくいしたあと、「アルハムドゥリッラー」と言います。アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「アッラーは、しもべが食(た)べものを食(た)べてはアッラーをたたえることを喜(よろこ)び、飲物(のみもの)をのんではアッラーをたたえることを喜(よろこ)びます。」ムスリムのでんしょう

衣服(いふく)の礼儀作法(れいぎさほう)：

13. 衣服(いふく)の礼儀作法(れいぎさほう)とは、どのようなものですか？

1・衣服(いふく)はみぎがわからきたり、はいたりします。そしてアルハムドゥリッラーと言います。アブー・フライラさま(アッラーのおよろこびあれ)によれば、アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「衣服(いふく)をきるとき、ウドゥーをするとき、みぎがわからはじめなさい。」アブー・ダーウードとアフマドのでんしょう

2・くるぶしより下までながいものをきたり、はいたりしません。よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、言いました：「くるぶしの下にかかるイザール(かはんしんにはくもの)は、じごくのほのおの中にある。」ブハーリーのでんしょう

3・おとこの子はおんなの子の、おんなの子はおとこの子の衣服（いふく）をきません。「アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は、おんなの人の衣服（いふく）をきるおとこの人と、おとこの人の衣服（いふく）をきるおんなの人を呪（のろ）いました。」アブー・ダーウッドとアフマドのでんしょう

4・わるい人たちの衣服（いふく）をまねしません。「ある人びとをまねする者は、その人びとの仲間（なかま）である。」アブー・ダーウッドのでんしょう

5・衣服（いふく）をぬぐとき、ピスマッラーと言います。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、言いました：「衣服（いふく）をぬぐときにピスマッラーと言うことが、人のアウラ（見ても見せてもいけないか体のぼしょ）とジン（シャイターン）の間のおおいになります。」タバラーニーとイブン・アビー・シャイバのでんしょう

6・靴（くつ）をはくとき、みぎがわからはくこと。ぬぐときは、ひだりからぬぐこと。アーイシャさま（アッラーのおよろこびあれ）は言っています：「よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、靴（くつ）をはくとき、髪（かみ）をとかすとき、体（からだ）を洗（あら）うときなど、あらゆることにおいて、右（みぎ）から始（はじ）めるのが好（す）きでした。」ブハーリーのでんしょう

乗（の）るときの礼儀作法（れいぎさほう）：

14. 乗（の）るときの礼儀作法（れいぎさほう）とは、どのようなものですか？

1・「ビスマッラー」「アルハムドゥリッラー」と言います。

﴿لَتَسْتَوُوا عَلَىٰ ظُهُورِهِ ثُمَّ تَذْكُرُوا نِعْمَةَ رَبِّكُمْ إِذَا اسْتَوَيْتُمْ عَلَيْهِ وَتَقُولُوا سُبْحَانَ الَّذِي

سَخَّرَ لَنَا هَذَا وَمَا كُنَّا لَهُ مُقْرِنِينَ ﴿١٣﴾ وَإِنَّا إِلَىٰ رَبِّنَا لَمُنْقَلِبُونَ ﴿١٤﴾﴾ [الزخرف: 13-14]

「これらのものをわたしたちに仕（つか）えさせたお方に、たたえあれ。これはわたしたちには叶（かな）わなかったことです。わたしたちは、わたしたちの主（しゅ）へと、戻（もど）って行く者たちなのです」。金の装飾章 13 - 14節

2・ムスリムにあつたら、あいさつします。

道路（どうろ）での礼儀作法（れいぎさほう）：

15. 道路（どうろ）での礼儀作法（れいぎさほう）とは、どのようなものですか？

1・あるくときは、しせい正しく、けんきよにあるきます。アッラーはおっしゃります。

﴿وَلَا تَمْشِي فِي الْأَرْضِ مَرَحًا إِنَّكَ لَن تَحْرِقَ الْأَرْضَ وَلَن تَبْلُغَ الْجِبَالَ طُولًا ﴿٣٧﴾﴾ [الإسراء:

[37]

「えらそうに地上（ちじょう）を歩（ある）いてはならない。あなたたちは大地（だいち）を裂（さ）くこともできないし、山の高（たか）さにもなれない。」夜の旅章 37節

2・人にあつたら、あいさつします。よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、どんなイスラームがいちばんよいか尋(たず)ねられ、こう言いました：「食物(たべもの)を食(た)べさせ、知っている者にも知らない者にもあいさつすることです。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

3・見るべきではないものを見ないようにします。だれにもめいわくをかけません。

4・よいことをすすめ、わるいことをきんじます。よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、こう言いました：「道路(どうろ)の権利(けんり)をまもりなさい。」人びとは言いました：「道路(どうろ)の権利(けんり)とは、何ですか？」よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、言いました：「視線(しせん)をさげ、害(がい)になるものをふせぎ、あいさつをかえし、よいことをすすめ、わるいことをきんじることです。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

5・道路(どうろ)にあるじやまなものを、取(と)りのぞきます。よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、言いました：「道(みち)からじやまなものを取(と)りのぞくことは、サダカです。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

家(いえ)に入ったり出たりするときの礼儀作法(れいぎさほう)：

16. 家(いえ)に入ったり出たりするときの礼儀作法(れいぎさほう)とは、どのようなものですか？

1・ひだり足(あし)から出て、こう言います：「アッラーの名において。わたしはアッラーに、まかせます。アッラーに

よってでしか、いかなる変化（へんか）も力（ちから）もありません。アッラーよ、わたしはあなたにご加護（かご）をもとめます：まよい、まよわせることから。足（あし）をふみはずし、ふみはずされることから。わるいことをし、されることから。むちになり、むちになられることから。」

2・家（いえ）に入るときは、みぎ足（あし）から入り、こう言います：「アッラーよ、アッラーの名によってわたしたちは入り、アッラーの名によってわたしたちは出ました。そしてわたしたちの主（しゅ）に、すべてをおまかせしました。」

3・家（いえ）に入ったら、スィワークをします。それから家（いえ）の人たちにあいさつします。よげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）は、「家（いえ）に入ったらまず、スィワークをしたものでした。」イブン・マージャのでんしょう

トイレの礼儀作法（れいぎさほう）：

17. トイレの礼儀作法（れいぎさほう）とは、どのようなものですか？

1・ひだり足（あし）から入ります：

2・入るまえに、こう言います：「アッラーの名によって。わたしはあなたに、男（おとこ）と女（おんな）のシャイターンからの、ご加護（かご）をもとめます。」

3・アッラーの名まえがあるものを、トイレに入れません。アナスさまは言いました：「ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）はトイレに入るとき、指輪（ゆびわ）をはずしました。」アブー・ダーウッドとイブン・マージャのでんしょう

4・ようをたすとき、自分（じぶん）の体をかくします。「トイレのとき、よげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）が自分

(じぶん)の体にかくすのに好(この)んだのは、こだかい丘(おか)か、ナツメヤシのしげみでした。」ムスリムのでんしょう

5・ようをたすとき、はなしません。

6・ようをたすとき、キブラを向いたり、キブラにおしりを向いたりしません。よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、言いました：「大便や小便をするとき、キブラを向かないようにしなさい。そうではなく(キブラのほうではない)東(ひがし)のほうや、西(にし)のほうを向くようにしなさい。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

7・ようをたしたあと、よごれをとるときには、ひだり手をつかいます。みぎ手はつかいません。よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、「よごれをとるときに、みぎ手をつかうことをきんじました。」ムスリムのでんしょう

8・人がとおる道(みち)や、人びとが日かげとするばしょで、ようをたしません。アブー・フライラによると、アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「呪(のろ)われる2つのことから、身(み)をまもりなさい。」人びとは言いました：「アッラーのしとよ、呪(のろ)われる2つのこととは、何ですか？」アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「人がとおる道(みち)や、人びとが日かげとするばしょで、ようをたすことです。」ムスリムのでんしょう

9・ようをたしたあと、りょう手をあらいます。ジャリールさまは、言いました：「わたしが、よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)といっしょにいたときです。よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)はトイレにいて、ようをたし、こう言いました：「ジャリールよ、水(みず)をもってきてください。」わたし

が水（みず）をもってくると、かれは水（みず）であらい、地面（じめん）で手をこすりました。ナサーイーのでんしょう

10・ひだり足（あし）からトイレを出て、こう言います：
「グフラーナカ（あなたのおゆるしをもとめます）」。

マスジドでの礼儀作法（れいぎさほう）：

18. マスジドでの礼儀作法（れいぎさほう）とは、どんなものですか？

1・みぎ足（あし）からマスジドに入り、こう言います：「アッラーの名によって。アッラーよ、あなたの慈悲（じひ）のドアを、わたしにひらいて下さい。」

2・すわるまえに、2ラクアのサラ－をします。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、言いました：「マスジドに入ったら、2ラクアのサラ－をするまですわってはならない。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

3・サラ－をしている人のすぐまえを、とおりにすぎません。マスジドで、なくしものをさがすために声（こえ）を上げません。マスジドの中でうったり、かたりしません。マスジドをきれいにするようにします。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、言いました：「サラ－している者のまえを通（とお）る罪（つみ）を知ったなら、そのまえを通（とお）るよりも、40年間（ねんかん）まつことの方がよかったらう。」ブハーリーとムスリムのでんしょうアッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「だれかがマスジドで、なくし物（もの）について大声（おおごえ）でたずねているのを聞（き）いたら、こう言いなさい：“アッラーはそれを、あなたに返（かえ）してくれないでしょう。マス

ジドは、そんなことのために建(た)てられたのではないのですから。”」ムスリムのでんしょうムハンマドさま(しゅくふくとへいあんあれ)は言いました：「 Masjidの中でうったり、かったりする者を見たら、こう言いなさい：“アッラーがあなたの商売(しょうばい)に、もうけをあたえませんよう。”」テイルミズイーとダーリミーのでんしょうアーイシャさま(アッラーのおよろこびあれ)は言いました：「アッラーのしと(しゅくふくとへいあんあれ)は Masjidを家(いえ)があつまっている場所(ばしょ)にたてられ、そうじされ、よいにおいをつけられることを命(めい)じました。」テイルミズイーとアブー・ダーウッドとアフマドのでんしょう

4・ Masjidを出るときは、ひだり足(あし)から出て、こう言います：「アッラーよ、わたしはあなたに、おめぐみをもとめます。」

あいさつの礼儀作法 (れいぎさほう) :

19. あいさつの礼儀作法 (れいぎさほう) とは、どのようなものですか?

1・ムスリムにあつたら、「アッサラーム・アライクム・ワ・ラフマトゥッラーヒ・ワ・バラカートゥフ(あなたたちにサラームと、アッラーのラフマと、バラカがありますように)」ということばで、さきにあいさつします。まずこのことばであいさつをはじめ、ほかのあいさつのことばは、このあとにします。

2・えがおであいさつします。ムハンマドさま(しゅくふくとへいあんあれ)は言いました：「どんなよいことも、かるく見てはい

けません。あなたの兄弟（きょうだい）に、笑顔（えがお）で会（あ）うことでも。」ムスリムのでんしょう

3・みぎ手で、あくしゅします。

4・さきにあいさつされたら、それよりもよいあいさつをするか、同じあいさつをかえします。アッラーはおっしゃります：

﴿وَإِذَا حُيِّئْتُمْ بِتَحِيَّةٍ فَحَيُّوا بِأَحْسَنَ مِنْهَا أَوْ رُدُّوهَا إِنَّ اللَّهَ كَانَ عَلَىٰ كُلِّ شَيْءٍ حَسِيبًا﴾

[النساء: 86]

「あなたたちがあいさつされたら、もっとよいあいさつをするか、または（同じ）あいさつを返（かえ）せ。アッラーはすべてのことを計算（けいさん）される。」婦人章 86節

5・ムスリムではない人には、サラームのあいさつは自分（じぶん）からはしません。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「ユダヤきょうとや、キリストきょうとには、サラームのあいさつを自分（じぶん）からはじめてはいけません。」ムスリムのでんしょう

6・（ねんれいが）小さい人は大きい人に、何かに乗（の）っている人は歩（ある）いている人に、歩（ある）いている人は座（すわ）っている人に、数（かず）がすくない人たちは数（かず）が多い人たちに、先にあいさつします。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言っています：「のりものに乗（の）った者は歩（ある）いている者に、歩（ある）いている者は座（すわ）っている者に、数（かず）がすくない者たちは数（かず）が多い者たちにあいさつしなさい。」ブハーリーとムスリムのでんしょう7・マフラムでもない女（おんな）の人には、あくしゅしません。アーシヤさま（アッラーのおよろこびあれ）は、言いました：「アッラー

にちかって・アッラーのしと(しゅくふくとへいあんあれ)の手が、女(おんな)の人の手にふれることはありませんでした。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

許可(きよか)をもとめることの礼儀作法(れいぎさほう) :

20. 許可(きよか)をもとめることの礼儀作法(れいぎさほう)とは、どのようなものですか？

1・どこかに入るとき、許可(きよか)をもとめます。

2・許可(きよか)は3回、もとめます。それいじょうはもとめません。許可(きよか)がなかったら、そこには入らず、立ちさります。ムハンマドさま(しゅくふくとへいあんあれ)は言いました：「(よんだり、ドアをノックしたりして)3回許可(きよか)をもとめても返事(へんじ)がなかったら、立ちさりなさい。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

3・ドアをノックするときは、やさしくノックします。ドアのしょうめんには立たないで、ドアの右(みぎ)がわか左(ひだり)がわに立ちます。そして「アッサラーム・アライクム」と、あいさつします。ハディースには、こうあります：「アッラーのしと(しゅくふくとへいあんあれ)は、だれかの家(いえ)のドアにきたら、そのしょうめんには向かいませんでした。そうではなく、ドアの右(みぎ)がわか左(ひだり)がわに立って、「アッサラーム・アライクム、アッサラーム・アライクム」と言いました。」アブー・ダーワードのでんしょう

4・許可(きよか)をもらうまえに、おとうさんやおかあさんや、だれかの部屋(へや)には入りません。とくに、ファジュールの

まえ、ズフルのあとのお昼寝（ひるね）のじかん、イシャーのあとは注意（ちゅうい）します。アッラーはおっしゃります：

﴿يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا لَيْسَتْ ذُنُوبُ الَّذِينَ مَلَكَتْ أَيْمَانُكُمْ وَالَّذِينَ لَمْ يَبْلُغُوا الْحُلُمَ مِنْكُمْ ثَلَاثَ مَرَّاتٍ مِّن قَبْلِ صَلَاةِ الْفَجْرِ وَحِينَ تَضَعُونَ ثِيَابَكُمْ مِّنَ الظُّهْرِ وَمِن بَعْدِ صَلَاةِ الْعِشَاءِ ثَلَاثُ عَوْرَاتٍ لَّكُمْ لَيْسَ عَلَيْكُمْ وَلَا عَلَيْهِمْ جُنَاحٌ بَعْدَهُنَّ طَوْفُونَ عَلَيْكُمْ بَعْضُكُمْ عَلَى بَعْضٍ كَذَلِكَ يُبَيِّنُ اللَّهُ لَكُمْ الْآيَاتِ وَاللَّهُ عَلِيمٌ حَكِيمٌ ﴿٥٨﴾ [النور: 58]

「信仰（しんこう）する者たちよ、あなたたちの右（みぎ）手が所有（しょゆう）するものと、あなたたちの子どもたち（が、あなたたちのへやに入るとき）には、3回許可（きょか）をもとめさせよ。ファジュルのサラーのまえと、あなたたちが（ひるねのため）衣服（いふく）をぬぐ真昼（まひる）と、イシャーのサラーのあと。（これは）あなたたちにとっての、3つのアウラである。それら以外（いがい）は、あなたたちにとっても、かれらにとっても、（許可（きょか）なしで入ることに）お咎（とが）めはない。」御光章 58節

5・病院（びょういん）、商店（しょうてん）など、人の家（いえ）ではないところには、許可（きょか）なしで入れます。アッラーはおっしゃります。

﴿لَيْسَ عَلَيْكُمْ جُنَاحٌ أَنْ تَدْخُلُوا بُيُوتًا غَيْرَ مَسْكُونَةٍ فِيهَا مَتَاعٌ لَّكُمْ وَاللَّهُ يَعْلَمُ مَا

تُبْدُونَ وَمَا تَكْتُمُونَ ﴿٢٩﴾ [النور: 29]

「だれも住（す）んでおらず、その中にあなたたちにとって利益（りえき）がある家（いえ）に入っても、何の問題（もんだい）もない。アッラーは、あなた方が露（あら）わにすることも、隠（かく）すことも知っている。」御光章 29節

どうぶつにやさしくすることの礼儀作法（れいぎさほう）：

21. どうぶつにやさしくすることの礼儀作法（れいぎさほう）とは、どのようなものですか？

1・どうぶつに、食（た）べものやのみものをやります。次のようなハディースがあります：サハーバは言いました：「アッラーのしとよ、どうぶつに（いいことをして）も、ごほうびがあるのですか？」ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「うるおった肝臓（かんぞう）をもつものすべて（つまり、どうぶつ）に、ごほうびはあるのです。」ブハーリーとムスリムのでんしょうあるときアッラーのしと（しゅくふくとへいあんあれ）は、やせておなかとせなかがくつつくほどのラクダを見て、こう言いました：「これらのどうぶつ（を、きちんとあつかわないこと）にたいして、アッラーをおそれなさい。」アブー・ダーウードのでんしょう

2・やさしくすること。できないようなことを、させないこと。アッラーのしと（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「このラクダのもちぬしは、だれですか？このラクダのもちぬしは、だれですか？」するとアンサールのわか者がやってきて、「アッラーのしとよ、わたしのラクダです」と言いました。アッラーのしと（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「アッラーがあなたにあずけてくれた、これらのどうぶつについて、アッラーをおそれないのですか？このラクダはわたしに、あなたが食（た）べものをくれず、つかれさせるのです、となげいていますよ。」アブー・ダ

ーウードとアフマドのでんしょう「つかれさせる」とは、たいへんな仕事(しごと)をさせる、ということです。

3・どんなやり方であっても、どうぶつをいじめたり、痛(いた)くさせたりしません。ジャービルさまによれば、ムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)は、顔(かお)に焼印(やきいん)をおされたロバを見て、言いました:「どうぶつの顔(かお)に焼印(やきいん)をおしたり、どうぶつの顔(かお)をたたいたりする者を、わたしが呪(のろ)ったということを知らなかったのか?」こうして、ムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)はこのようなことをすることを、きんじたのです。ムスリムとアブー・ダーウードのでんしょう

スポーツの礼儀作法(れいぎさほう):

22. スポーツの礼儀作法(れいぎさほう)とは、どのようなものですか?

1・アッラーにしたがい、アッラーのおよろこびのために、スポーツによって力をつけることをニイヤします。

2・サラールするときには、あそびません。アッラーはおっしゃりませぬ:

﴿فَوَيْلٌ لِلْمُصَلِّينَ الَّذِينَ هُمْ عَنْ صَلَاتِهِمْ سَاهُونَ﴾ [الماعون: 4-5]

「サラールする者たちに、災(わざわ)いあれ、サラールを、てきとうにやる者たちに。」手助け章 4 - 5節

3・おとこの子とおんなの子は、いっしょにスポーツをしません。

4・アウラがかくれるスポーツウェアをきます。

5・ハラームなスポーツはしません。顔（かお）をたたいたり、アウラを出すようなスポーツのことです。アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「ムスリムと戦（たたか）わなくてはいけないときでも、顔（かお）はねらわないようにしなさい。」ムスリムのでんしょう

じょうだんの礼儀作法（れいぎさほう）

23. じょうだんの礼儀作法（れいぎさほう）とは、どのようなものですか？

1・じょうだんでも、うそは言わないこと。ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「人をわらわせるため、うそをつく者に、災（わざわ）いあれ。、災（わざわ）いあれ。、災（わざわ）いあれ。」アブー・ダーウードとアフマドとティルミズイーのでんしょう

2・じょうだんでも、人をばかにしたり、いやがらせたり、こわがらせたりしないこと。ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「ムスリムがムスリムをこわがらせてはいけません。」アブー・ダーウードとアフマドのでんしょう

3・じょうだんを、言いすぎないこと。ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「わらいすぎではいけません。わらいすぎると、心（こころ）は死（し）んでしまいます。」ティルミズイーとイブン・マージャによるでんしょう

くしゃみの礼儀作法 (れいぎさほう) :

24. くしゃみの礼儀作法 (れいぎさほう) とは、どんなものですか？

1・くしゃみのときは、手、衣服(いふく)、ハンカチなどで、口をおさえます。

2・くしゃみをしたら、「アルハムドゥリッラー」と言ってアッラーをたたえます。

3・そう言ったのを聞(き)いた人は、「ヤルハムカッラー(アッラーがあなたに、やさしくしてくれますよう)」とドゥアーします。

そのように言われたら、くしゃみをした人は「ヤハディークムッラー・ワ・ユスリフ・バーラクム(アッラーがあなたたちをみちびき、あなたたちの心(こころ)を)正してくれますよう」とかえします。

あくびの礼儀作法 (れいぎさほう) :

25. あくびの礼儀作法 (れいぎさほう) とは、どんなものですか？

1・あくびが出そうになったら、おさえるようにします。ムハンマドさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました:「あくびはシャイターンからのもの。だからあくびをするときは、できるだけおさえなさい。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

2・あくびのとき、「あー」といった声(こえ)を上げないこと。ムハンマドさま(しゅくふくとへいあんあれ)は言いました：「(あくびのとき、)“あー、あー”と言ってはなりません。そのとき口をあけると、シャイターンがわらうのですよ。」アハマドのでんしょう

3・あくびするときは、手で口をおさえること。「あくびするときは、手で口をおさえなさい。シャイターンが(そこから)入ってくるから。」ムスリムのでんしょう

ドゥアー (いのり) の礼儀作法 (れいぎさほう) :

26. ドゥアー (いのり) の礼儀作法 (れいぎさほう) とは、どんなものですか？

1・「アルハムドゥリッラー」というように、アッラーをたたえることばではじめること。

2・サラート・アランナビー(よげんしゃさまに、アッラーからのしゅくふくとサラームをいのること)を言うこと。ムハンマドさま(しゅくふくとへいあんあれ)は言いました：「サラアをし、すわっている状態(じょうたい)にあるとき、アッラーをかれにふさわしいやり方で、たたえなさい。そしてサラート・アランナビーを行ってから、ドゥアーしなさい。」ティルミズイーのでんしょう

3・ドゥアーのとき、りょう手を上げること。アッラーのしと(しゅくふくとへいあんあれ)は言いました：「あなたたちの主は、恥(はじ)のきもちがつよく、とうといお方。しもべがりょう手を上げ(ドゥアーをし)たら、それに何もこたえないのを恥

(は) ずかしく思 (おも) われるのです。」ティルミズイーとアブー・ダーウードのでんしょう

4・タウバをし、自分 (じぶん) がやってしまった悪 (わる) いことをみとめること。ムーサーさま (へいあんあれ) は、このようにドゥアーしました：

﴿قَالَ رَبِّ إِنِّي ظَلَمْتُ نَفْسِي فَاغْفِرْ لِي فَغَفَرَ لَهُ إِنَّهُ هُوَ الْعَفُورُ الرَّحِيمُ﴾ [القصص:

[16

「かれ (ムーサー) は言った。“主 (しゅ) よ、わたしは自分に不正 (ふせい) をしました。わたしをゆるしてください。”それで (アッラーは) かれをゆるした。かれはゆるしぶかく、慈悲 (じひ) ぶかいお方。」物語章 16節

5・なんどもくりかえし、ドゥアーすること。

6・ドゥアーがかなえられることを、いそがないこと。

7・悪 (わる) いことをドゥアーしないこと。ムハンマドさま (しゅくふくとへいあんあれ) は言いました：「罪 (つみ) になることや、親戚 (しんせき) の関係 (かんけい) が切 (き) れることをドゥアーせず、ドゥアーがかなえられることをいそがないかぎり、しもべのドゥアーはきき入れられます。」人びとは言いました：「アッラーのしとよ、いそぐとは、どういうことですか？」ムハンマドさま (しゅくふくとへいあんあれ) は言いました：「“ドゥアーしても、ドゥアーしても、こたえてはくれません” と言ってがっかりし、ドゥアーをやめてしまうことです。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

8・ドゥアーのとき、声 (こえ) をひくめること。アッラーはおっしゃります。

﴿ادْعُوا رَبَّكُمْ تَضَرُّعًا وَخُفْيَةً إِنَّهُ لَا يُحِبُّ الْمُعْتَدِينَ﴾ [الأعراف: 55]

「あなたたちの主（しゅ）をおそれながら、そしてひそかにドゥアアーせよ。」高壁章 55節

9・ドゥアアーをするときに、心（こころ）をこめること。ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「こたえられることをつよく信（しん）じて、アッラーにドゥアアーしなさい。そして、てきとうな、うわのそらの心（こころ）のドゥアアーに、アッラーはこたえないということを知りなさい。」ティルミズイーのでんしょう

10・アッラーにたいしてニヤを純粹（じゅんすい）にすること。大変（たいへん）なとき、よいときにも、アッラーだけにおねがいすること。アッラーはおっしゃります。

﴿وَأَنَّ الْمَسَاجِدَ لِلَّهِ فَلَا تَدْعُوا مَعَ اللَّهِ أَحَدًا﴾ [الجن: 18]

「マスジドはアッラーのもの。だからアッラーにならべて、なにかに祈（いの）ってはならない。」ジン章 18節

11・アッラーのアルアスマール・フスナー（うつくしい名まえ）と、すばらしい性質（せいしつ）によって、アッラーにドゥアアーすること。アッラーはおっしゃります：

﴿وَلِلَّهِ الْأَسْمَاءُ الْحُسْنَىٰ فَادْعُوهُ بِهَا وَذَرُوا الَّذِينَ يُلْحِدُونَ فِي أَسْمَائِهِ سَيُجْزَوْنَ مَا كَانُوا

﴿يَعْمَلُونَ﴾ [الأعراف: 180]

「アッラーにはアルアスマール・フスナー（うつくしい名まえ）がある。それでかれをドゥアアーせよ。」高壁章 180節

12・キブラに向かうこと。「ムハンマドさま（しゅくふくとへいあんあれ）はりょう手をキブラの方にのばして、主（しゅ）にド

ウアーしつづけました。そのうち、かれのリダーウ（体の上にはおる布）は肩からおちてしまいました。」ムスリムのでんしょう

13・よい食（た）べものやのみものを、とること。次のようなハディースがあります：よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、長（なが）い旅（たび）で髪（かみ）をぼさぼさにした、埃（ほこり）だらけの男（おとこ）が、「おお、主（しゅ）よ！ おお、主（しゅ）よ！」と空（そら）に手をのばして祈っていることについて、こう言いました：「かれの食事（しょくじ）はハラームで、かれの飲物（のみもの）もハラームで、かれの服（ふく）もハラーム。かれはハラームなもので、えいようをえています。どうしてかれの祈（いの）りが、うけ入れられるでしょうか？」ムスリムのでんしょう

クルアーン読誦（どくしょう）の礼儀作法（れいぎさほう）：

27. クルアーン読誦（どくしょう）の礼儀作法（れいぎさほう）とは、どのようなものですか？

- 1・ウドゥーをし、タハーラの状態（じょうたい）でよむこと。
- 2・れいぎ正しく。おちついてすわること。
- 3・よむまえに、シャイターンからのご加護（かご）をアッラーにもとめること。アッラーはおつしやります：

﴿فَإِذَا قَرَأْتَ الْقُرْآنَ فَاسْتَعِذْ بِاللَّهِ مِنَ الشَّيْطَانِ الرَّجِيمِ﴾ [النحل: 98]

「あなたがクルアーンをよむときは、呪（のろ）われたシャイター
ーンからのご加護（かご）を、アッラーにもとめよ。」蜜蜂章 9
8節

4・よむ内容（ないよう）を、よくかんがえること・アッラーは
おっしゃります：

﴿أَفَلَا يَتَذَكَّرُونَ الْقُرْآنَ أَمْ عَلَى قُلُوبٍ أَقْفَالُهَا﴾ [محمد: 24]

「かれらはクルアーンをよく考（かんが）えて読（よ）まないの
か？ それともかれらの心（こころ）には、鍵（かぎ）がかけられて
いるのか？」ムハンマド章 24節

アフラーク（どうとく）アフラーク（どうとく）のちしき:

アフラーク（どうとく）とは:

よいこと、わるいことの意味（いみ）を知るためのちしきです。アッラーと、アッラーいがいのすべてのものと、どのようにつきあったらよいか、説明（せつめい）します。

1. よいせいかくの徳（とく）は、なんですか？

よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「イーマーンがもっとも完全（かんぜん）なムウミンは、もっとも性格（せいかく）がよいムウミンです。」ティルミズイーとアフマドのでんしょう

2. イスラームのどうとくをまもるのは、なぜですか？

①アッラーから愛（あい）されるためです。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「アッラーにいちばん愛（あい）されるしもべは、いちばん性格（せいかく）がよい人です。」ハーキムとタバラーニーのでんしょう

②アッラーいがいのすべてのものも、性格（せいかく）がよい人がすきです。

③しんぱんの日、はかりの上で、いちばん重（おも）いものになります。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「しんぱんの日、はかりの上で、いちばん重（おも）いものは、よい性格（せいかく）です。」アブー・ダーウッドとティルミズイーのでんしょう

4・よい性格（せいかく）によって、アッラーからのごほうびが多（おお）くなります。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「ムウミンはよい性格（せいかく）によって、夜（よる）にはサラーに立ち、昼（ひる）にはサウムをする者のレベルにたっします。」アフマドのでんしょう

5・それは、かんぜんなイーマーンの印（しるし）です。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「イーマーンがもっとも完全（かんぜん）なムウミンは、もっとも性格（せいかく）がよいムウミンです。」アブー・ダーウードとティルミズイーのでんしょう

3. アフラーク（どうとく）は、どこからまなびますか？

クルアーンです。アッラーはおつしやります：

﴿إِنَّ هَذَا الْقُرْآنَ يَهْدِي لِلَّتِي هِيَ أَقْوَمُ وَيُبَشِّرُ الْمُؤْمِنِينَ الَّذِينَ يَعْمَلُونَ الصَّالِحَاتِ أَنَّ لَهُمْ

أَجْرًا كَبِيرًا﴾ [الإسراء: 9]

「このクルアーンは、ただしい道（みち）へと導（みちび）く。

」夜の旅章 9節

また、よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）のスンナからです。アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「わたしは、よい性格（せいかく）を完成（かんせい）させるために遣（つか）わされた。」アフマドのでんしょう

4. イフサンの性格（せいかく）とは、何ですか？ 例（れい）をあげてください。

イフサンの性格（せいかく）とは：いつもアッラーに見られていると感（かん）じることで、ほかのすべてのものに、善（ぜん）をおこなうことです。

よげんしやさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「アッラーはすべてにおいて、善（ぜん）を命（めい）じた。ムスリムのでんしょう

イフサンの性格（せいかく）の例（れい）：

✓ アッラーへのイバーダにおいて、善（ぜん）をおこなうこと。つまり、イバーダを、純粹（じゅんすい）にアッラーのためだけにおこなうこと。

✓ 両親（りょうしん）に、ことばとおこないにおいて、善（ぜん）をおこなうこと。

✓ 孤児（こじ）やめぐまれない人たちに、善（ぜん）をおこなうこと。

✓ 自分（じぶん）に悪（わる）いことをした人に、善（ぜん）をおこなうこと。

✓ ことばを、よくすること。✓ 親戚（しんせき）に、善（ぜん）をおこなうこと。✓ 隣人（りんじん）に、善（ぜん）をおこなうこと。✓ 議論（ぎろん）を、よい形（かたち）でおこなうこと。

✓ どうぶつに、善（ぜん）をおこなうこと。

5. イフサンのほんたいは、何ですか？

イサーア（わることをすること）です。

その例（れい）には、このようなものがあります：イバーダを、
純粹（じゅんすい）にアッラーのためだけにおこなわないこと。

おやふこう。

親戚（しんせき）のかんけいを、よい形（かたち）にしないこ
と。

隣人（りんじん）に、悪（わる）いことをすること。

めぐまれない人、まずしい人に善（ぜん）をおこなわないこと。
そのほか、いろいろな悪（わる）いことばや、おこない。

6. アマーナ（信託）のしゅるいは、何ですか？ 例（れい）をあげてください。？

こたえ：

1・アッラーの権利（けんり）をまもることについての、アマーナ。

例（れい）としては、次のようなものがあります：サラー、ザカー、サウム、ハッジなど、アッラーが義務（ぎむ）としたイバーダをおこなうこと。

2・人びとの権利（けんり）をまもることについての、アマーナ。

- ・人びとの尊厳（そんげん）をまもること。
- ・人びとの財産（ざいさん）をまもること。
- ・人びとの生命（せいめい）をまもること。
- ・人びとの秘密（ひみつ）、まもることを任（まか）された、すべてのことをまもること。

アッラーは、成功（せいこう）する者たちの特徴（とくちょう）について、このようにおっしゃります：

﴿وَالَّذِينَ هُمْ لِأَمْتِنَتِهِمْ وَعَهْدِهِمْ رَاعُونَ﴾ [المؤمنون: 8]

「また、アマーナ（信託）と契約（けいやく）をまもる者たち。
」 信仰者たち章 8節

7. アマーナのはんたいは、何ですか？

うらぎりです。それはアッラーの権利（けんり）、人びとの権利（けんり）を無視（むし）することです。アッラーはおっしゃります：「信仰（しんこう）する者たちよ、アッラーとその使徒（しと）を裏（うら）ぎってはならない。また知っていながら、あなたたちの信託（しんたく）を裏（うら）ぎってはならない。」戦利品章 27節よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「ムナーフィク（にせしんじゃ）のしるしは、3つ。」その1つとして、「任（まか）されたら、それをうらぎること」と言いました。ブハーリーとムスリムのでんしょう

8. スイドウク（しょうじきさ）の性格（せいかく）とは、何ですか？ 例（れい）をあげてください。

それは、ほんとうのことをそのまま、伝（つた）えることです。その例（れい）には、このようなものがあります：
人と話（はなし）をするときのスイドウク（しょうじきさ）。
やくそくにたいする、スイドウク（しょうじきさ）。
すべてのことば、おこないにおけるスイドウク（しょうじきさ）。

よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：
「スイドウク（しょうじきさ）は、善（ぜん）へとみちびき、善（ぜん）はジャンナへとみちびく。人がしょうじきでありつづける

と、ついにはスィッディーク(たいへんなしょうじき者)になる。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

9. スイドウク(しょうじきさ)のはんたいは、何ですか?

うそです。うそとは、ほんとうのことではないことです。その例(れい)には、次のようなものがあります：人にうそをつくこと。やくそくをやぶること。うその証言(しょうげん)をすること。

よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「うそは悪(あく)へとみちびき、悪(あく)は地獄(じごく)へとみちびく。人はうそをつきつづけると、さいごにはアッラーのもとで大うそつきと書(か)かれてしまう。」ブハーリーとムスリムのでんしょうよげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「ムナーフィク(にせしんじゃ)のしるしは、3つ。」その内のものとして、「話(はな)せば、うそをつく。やくそくすれば、やぶる」と言いました。ブハーリーとムスリムのでんしょう

10. サブル(にんたい)のしゅるいは、何ですか? .

アッラーにしたがうためのサブル(にんたい)。

悪(わる)いことをしないようにするための、サブル(にんたい)。

つらい運命(うんめい)にたいするサブル(にんたい)。どんなときでも、アルハムドゥリッラー。

アッラーはおっしゃります。

﴿وَكَايْنٍ مِّن نَّبِيٍّ قُتِلَ مَعَهُ رِبِّيُّونَ كَثِيرٌ فَمَا وَهَنُوا لِمَا أَصَابَهُمْ فِي سَبِيلِ اللَّهِ وَمَا ضَعُفُوا وَمَا

أَسْتَكَانُوا وَاللَّهُ يُحِبُّ الصَّابِرِينَ ﴿١٤٦﴾ [آل عمران: 146]

「アッラーはサブル（にんたい）する人たちを、愛（あい）します。」イムラーン家章 146節

よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「ムウミンの物事（ものごと）は、驚（おどろ）くべきものです。かれにおこることは、すべてよいことになります。そしてそれは他（ほか）の人にはない、ムウミンだけのものです。かれはよい状況（じょうきょう）にあれば（アッラーに）感謝（かんしゃ）し、それはかれにとってよいものとなります。そしてわるい状況（じょうきょう）にあればサブル（にんたい）し、それもまたかれにとってよいものとなるのです。」ムスリムのでんしょう

11. サブル（にんたい）のはんたいは、何ですか？

アッラーにしたがうためにサブル（にんたい）しないこと。悪（わる）いことをしないようにするために、サブルしないこと。ことばや行（おこな）いによって、運命（うんめい）をいやがること。

その例（れい）には、次のようなものがあります：

死（し）を望（のぞ）むこと。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「ふりかかった災難（さいなん）のために、死（し）を望（のぞ）んではいけません。もしどうしても死（し）を望（のぞ）むのなら、こう言いなさい：“アッラーよ、わたしにとって生（い）きるのがよいのであるならば、わたしを生（い）かしてください。わたしにとって死（し）がよいのなら、わたしを死（し）なせてください。”」ブハーリーとムスリムのでんしょう

がまんできずに、自分（じぶん）の頬（ほほ）をたたくこと。

がまんできずに、自分（じぶん）の衣服（いふく）をやぶること。

がまんできずに、髪（かみ）の毛をかきむしること。

自分（じぶん）に災（わざわ）いがおこることをドゥアーしてしまうこと。よげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「自分（じぶん）の頬（ほほ）をたたいたり、自分（じぶん）の衣服（いふく）をやぶったり、ジャーヒリーヤ（イスラームではない時代）のドゥアーをしたりする者は、わたしたちの仲間（なかま）ではありません。」ブハーリーのでんしょうよげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「褒美（ほうび）の大きさは、試練（しれん）の大きさによります。アッラーが、ある人びとを愛（あい）するとき、かれらを試練（しれん）にかけます。それに満足（まんぞく）する者には（アッラーからの）満足（まんぞく）があり、それをきらう者は（アッラーから）きらわれるのです。」ティルミズィーとイブン・マージャのでんしょう

12. 協力（きょうりょく）という性格（せいかく）は、どのようなものですか？

真理（しんり）や、よいことにおいて、人びとと助（たす）け合うことです。

協力（きょうりょく）の例（れい）には、次のようなものがあります：

権利（けんり）をまもることにおける協力（きょうりょく）。

不正（ふせい）をおこなう人に、反対することにおける協力（きょうりょく）。

人びとが必要（ひつよう）としていることや、めぐまれない人を助（たす）けるための協力（きょうりょく）。

あらゆる善（ぜん）における協力（きょうりよく）。

罪（つみ）や、有害（ゆうがい）なことや、侵犯（しんぱん）においては、助（たす）け合わないこと。

アッラーはおっしゃります。

﴿يَأْتِيهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا لَا مُجْلُوءَ لَكُمْ شِعَيرَ اللَّهِ وَلَا الشَّهْرَ الْحَرَامَ وَلَا الْهَدْيَ وَلَا الْفَلْتِيَدَ وَلَا ءَامِينَ الْبَيْتِ الْحَرَامِ يَنْتَعُونَ فَضْلًا مِّن رَّبِّهِمْ وَرِضْوَانًا وَإِذَا حَلَلْتُمْ فَاصْطَادُوا وَلَا يَجْرِمَنَّكُمْ شَنَاٰنُ قَوْمٍ أَن صَدُّوكُمْ عَنِ الْمَسْجِدِ الْحَرَامِ أَن تَعْتَدُوا وَتَعَاوَنُوا عَلَى الْبِرِّ وَالتَّقْوَىٰ وَلَا تَعَاوَنُوا عَلَى الْإِثْمِ وَالْعُدْوَانِ وَاتَّقُوا اللَّهَ إِنَّ اللَّهَ شَدِيدُ الْعِقَابِ ﴿٢﴾ [المائدة: 2]

「善（ぜん）とタクワーのために助（たす）け合え。罪（つみ）と侵害（しんがい）のために助（たす）け合ってはならない。アッラーをおそれよ。アッラーは罰（ばつ）がきびしいお方。」食卓章 2 節

よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「ムウミンはたがいにささえ合う、建物（たてももの）のようなものです。」ブハーリーとムスリムのでんしょうよげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、こうも言っています：「ムスリムはムスリムの兄弟（きょうだい）。ムスリムに不正（ふせい）をしたリ、見捨（みす）てたりしない。兄弟（きょうだい）の用事（ようじ）をたすける者は、アッラーからたすけられる。ムスリムのなやみを一つ解消（かいしょう）してやる者は、アッラーから審判（しんぱん）の日、なやみを一つ解消（かいしょう）してもらえる。ムスリム（のまちがい）をかくしておいてやる者は、アッラーから審判（しんぱん）の日、まちがいをかくしてもらえる。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

13. 恥（はじ）の性格（せいかく）のしゅるいは、何ですか？

1・アッラーにたいして、恥（は）ずかしさを感（かん）じること：だから、アッラーに反（はん）することはしません。

2・人びとにたいして、恥（は）ずかしさを感（かん）じること。その例（れい）には、次のようなものがあります：下品（げひん）なことば、悪（わる）いことばをつかわないこと。アウラをかくすこと。

アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「イーマーンは70、または60いくつかにわけられます。その中のいちばんよいものは「ラー・イラーハ・イッラッラー（アッラー以外に神はない）」のことばで、いちばんひくいものは道（みち）から有害（ゆうがい）なものをどけることです。そして恥（は）ずかしいとおもうきもちも、イーマーンの一部（いちぶ）なのです。」ムスリムのでんしょう

14. ラフマ（じひ）の性格（せいかく）の例（れい）を、あげてください。.

おとしよりへのラフマ（じひ）、尊敬（そんけい）のきもち。

小さい子どもへのラフマ（じひ）。「わたしたちのおとしよりを尊敬（そんけい）せず、小さい子にラフマ（じひ）をかけない者は、わたしたちの仲間（なかま）ではない。」アフマドのでんしょう

まずしい者、めぐまれない者へのラフマ（じひ）。

どうぶつへのラフマ（じひ）。どうぶつがいやがることをせず、食（た）べものなどをあげます。

よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：
「ムウミンは一つの体のように、おたがいにやさしくし、愛(あい)し、思いやります。体のどこかが痛(いた)くなれば、他の部分(ぶぶん)が寝(ね)ることもなく、熱(ねつ)をだしながらでも、(かんびょうのために)あつまって来るのです。」ブハーリーとムスリムのでんしょうアッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「慈悲(じひ)あまねきお方は、ラフマ(じひ)がゆたかな者たちに、ラフマ(じひ)をかけてくれる。地上(ちじょう)にあるものに、ラフマ(じひ)をかけなさい。そうすれば天(てん)にあるお方が、あなたたちにラフマ(じひ)をかけてくれます。」アブー・ダーウードとティルミズイーのでんしょう

15. 愛(あい)の性格(せいかく)のしゅるいは、何ですか？

アッラーへの愛(あい)。

アッラーはおっしゃります。

﴿وَمِنَ النَّاسِ مَن يَتَّخِذُ مِن دُونِ اللَّهِ أَندَادًا يُحِبُّونَهُمْ كَحُبِّ اللَّهِ وَالَّذِينَ ءَامَنُوا أَشَدُّ حُبًّا لِلَّهِ

وَلَوْ بَرَى الَّذِينَ ظَلَمُوا إِذْ يَرَوْنَ الْعَذَابَ أَنَّ الْقُوَّةَ لِلَّهِ جَمِيعًا وَأَنَّ اللَّهَ شَدِيدُ الْعَذَابِ ﴿١٦٥﴾

[البقرة: 165]

「信仰(しんこう)する者たちは、アッラーへの愛(あい)がもっともつよい。」雌牛章 165節

よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)への愛(あい)。

よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：
「わたしが、あなたたちのお父さんや子ども、はたまた全(すべ)

での者よりも愛(いと)しい者とならなければ、ほんとうに信仰(しんこう)したことはない。」ブハーリーのでんしょう

ムウミンたちへの愛(あい)。かれらにたいして、自分(自分)がそうされたいと思(おも)うようなよいことを望(のぞ)みます。

よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「じぶんのことを愛(あい)するように、兄弟(きょうだい)のことも愛(あい)するようになるまでは、ほんとうに信仰(しんこう)したとは言えない。」ブハーリーのでんしょう

16. ほがらかさとは、何ですか？

人とあうとき、よろこび、笑顔、やさしさにあふれた顔(かお)を見せることです。

その反対(はんたい)は、むすつとした顔(かお)です。そのような顔(かお)は、人がいやがります。

ほがらかさのすばらしさを伝(つた)えるハディースは、たくさんあります。アブー・ザッルさま(アッラーのおよろこびあれ)によれば、よげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「どんなよいことも、かるく見てはいけません。あなたの兄弟(きょうだい)に、笑顔(えがお)で会(あ)うことでも。」ムスリムのでんしょうアッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました：「あなたの兄弟(きょうだい)の顔(かお)にむける、あなたの笑顔(えがお)は、サダカです。」ティルミズイーのでんしょう

17. ハサド(ねたみ)とは、何ですか？

Räspuns

ほかの人にある何かよいものをきらったり、それがなくなってしまえばいいと思（おも）ったりすることです。

アッラーはおっしゃります。

﴿وَمِنْ شَرِّ حَاسِدٍ إِذَا حَسَدَ﴾ [الفلق: 5]

「しっとする妬（ねた）み屋（や）の悪（あく）から」黎明章
5節

アナスさま（アッラーのおよろこびあれ）によれば、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「にくしみ合ったり、妬（ねた）み合ったり、背中（せなか）を向け合ったりしてはいけません。アッラーのしもべたちよ、兄弟（きょうだい）でありなさい。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

18. さげすみとは、何ですか？

Räspuns: -

ムスリム兄弟（きょうだい）姉妹（しまい）をばかにしたり、下に見たりすることです。これは、ゆるされません。

アッラーはこのようなことを禁（きん）じて、こうおっしゃっています：

﴿يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا لَا يَسْخَرَنَّ قَوْمٌ مِّن قَوْمٍ عَسَىٰ أَن يَكُونُوا خَيْرًا مِّنْهُمْ وَلَا نِسَاءٌ مِّن نِّسَاءٍ ءَعَسَىٰ أَن يَكُنَّ خَيْرًا مِّنْهُنَّ وَلَا تَلْمِزُوا أَنفُسَكُمْ وَلَا تَنَابَزُوا بِاللِّغَابِ بِحَسِّ الْأَسْمَاءِ ۗ ۝۱۱﴾ [الحجرات: 11]

「信仰（しんこう）する者たちよ、ほかの人びとをばかにしてはならない。（ばかにされた）人びとの方が、（ばかにした）方より、すぐれているかもしれないのだから。また、女たちが、ほかの女

たちをばかにしてはならない。(ばかにされた) 女たちの方が、(ばかにした) 女たちよりすぐれているかもしれないのだから。また、あなたたち自身(じしん)を中傷(ちゅうしょう)したり、あだ名で呼(よ)び合ったりしてはならない。イーマーンの後(あと)に放逸(ほういつ)さで呼(よ)ぶのは、何と悪(わる)いことか。そしてタウバしない者は、不正者(ふせいしゃ)なのである。」
部屋章 11節

19. 謙虚(けんきょ) さとは、何ですか?

Räspuns:

自分(じぶん)が人よりも上だと思(おも)わず、ほかの人をさげすまず、真理(しんり)を拒(こぼ)まないことです。

アッラーはおっしゃります。

﴿وَعِبَادُ الرَّحْمَنِ الَّذِينَ يَمْسُونَ عَلَى الْأَرْضِ هَوْنًا وَإِذَا خَاطَبَهُمُ الْجَاهِلُونَ قَالُوا سَلَامًا ﴿١٩﴾﴾

[الفرقان: 63]

「慈悲(じひ)あまねきお方のしもべたちは、地上(ちじょう)を慎(つつ)ましやかにあるく。」識別章 63節

「慎(つつ)ましやかに」とは、謙虚(けんきょ)に、という意味(いみ)です。アッラーのしと(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました:「アッラーのために謙虚(けんきょ)な者のことを、アッラーは高(たか)く上げてくれます。」ムスリムのでんしょうよげんしゃさま(しゆくふくとへいあんあれ)は言いました:「アッラーはわたしに、謙虚(けんきょ)になるように啓示(けいじ)しました。おたがいにいばりあってもならず、侵害(しんがい)し合ってもいけません。」ムスリムのでんしょう

20. 禁 (きん) じられている、傲慢 (ごうまん) さのしゅるいは何ですか?

1・真理 (しんり) にたいして傲慢 (ごうまん) なこと。真理 (しんり) を拒 (こば) み、うけ入れないことです。

2・人びとにたいして傲慢 (ごうまん) なこと。人びとを下に見て、さげすむことです。

アッラーのしと (しゆくふくとへいあんあれ) は言いました：「心 (こころ) の中に、一粒 (つぶ) ほどでも傲慢 (ごうまん) さがある者は、ジャンナに入りません。」ある男 (おとこ) が、言いました：「人は、自分 (じぶん) の服 (ふく) や靴 (くつ) がよいことを好 (この) むものですが？」するとアッラーのしとは、言いました：「アッラーは美 (うつく) しく、美 (うつく) しさを好 (この) むお方です。傲慢 (ごうまん) さとは正しいことを軽 (かろ) んじ、人びとを蔑 (さげす) むことです。」ムスリムのでんしよう

「正しいことを軽 (かろ) んじ」とは、真理 (しんり) を拒 (こば) むことです。

「人びとを蔑 (さげす) む」とは、ばかにすることです。

よい服 (ふく) や、よい靴 (くつ) をみにつけることは、傲慢 (ごうまん) さではありません。

21. ギッシュ (だますこと) のしゅるいを、あげてください。.

ものを売 (う) ったり買 (か) ったりすることでの、ギッシュ (だますこと)。たとえば、商品 (しょうひん) についている傷 (きず) をかくすようなことです。

ちしきをまなぶことにおける、ギッシュ（だますこと）。たとえば、テストでカンニングすることです。

ことばのギッシュ（だますこと）。たとえば、うそを言うことです。

自分（じぶん）で言ったことをまもらなかつたり、やくそくしたことをやぶつたりすることです。

だますことは禁（きん）じられています。アッラーのしと（しゅくふくとへいあんあれ）はあるとき、盛（も）り上げられた食料（しょくりょう）のところを通（とお）りかかりました。そしてそこに手を入れると指（ゆび）がぬれたので、こう言いました：「この食料（しょくりょう）を売（う）っている者よ、これは何ですか？」それを売（う）っている者は、言いました：「アッラーのしとよ、空（そら）から雨（あめ）がふってきたのです。」よげんしゃさま（しゅくふくとへいあんあれ）は言いました：「では、そのぬれた部分（ぶぶん）を上にして、人びとが見れるようにしたらどうですか？ギッシュ（だますこと）する者は、わたしたちの仲間（なかま）ではないのですよ。」ムスリムのでんしょう

これは、食料（しょくりょう）がぬれてしまったことで、本来（ほんらい）の重（おも）さよりも重（おも）くなってしまったことを、きちんとわかるようにしなかつたことの注意（ちゅうい）です。

22. ギーバ（かげぐち）とは何ですか？

ムスリム兄弟（きょうだい）姉妹（しまい）がいないところで、その人がきいたらいやがることを話（はな）すことです。

アッラーはおっしゃります。

﴿بَأْتِيهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا أَجْتِنِبُوا كَثِيرًا مِّنَ الظَّنِّ إِنَّ بَعْضَ الظَّنِّ إِثْمٌ وَلَا تَجَسَّسُوا وَلَا يَغْتَبَ بَعْضُكُم بَعْضًا أَيُحِبُّ أَحَدُكُمْ أَن يَأْكُلَ لَحْمَ أَخِيهِ مَيْتًا فَكَرِهْتُمُوهُ وَاتَّقُوا اللَّهَ إِنَّ اللَّهَ تَوَّابٌ رَّحِيمٌ﴾ [الحجرات: 12]

「おたがいにギーバ（かげぐち）を言ってはならない。あなたたちは、兄弟（きょうだい）の死体（したい）を食（た）べることを好（この）むのか？ そんなことは、きらうだろう。アッラーをおそれよ。アッラーはタウバをうけ入れるお方、ゆるしづかいお方。」
 部屋章 12節

23. ナミーマとは何ですか？

人びとの仲（なか）を悪（わる）くするために、話（はなし）をひろめることです。

アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：
 「ナミーマをする者はジャンナに入らない。」ムスリムのでんしょう

24. カサル（なまけること）とは何ですか？

よいことや、しなくてはいけないことを、なまけてやらないことです。

たとえば、義務（ぎむ）をめんどうくさがって行（おこな）わないことです。

アッラーはおっしゃります。

﴿إِنَّ الْمُنَافِقِينَ يُخَدِعُونَ اللَّهَ وَهُوَ خَدِيعُهُمْ وَإِذَا قَامُوا إِلَى الصَّلَاةِ قَامُوا كَسَالَى يُرَاءُونَ

النَّاسَ وَلَا يَذْكُرُونَ اللَّهَ إِلَّا قَلِيلًا﴾ [النساء: 142]

「ムナーフィクたちは、アッラーをだましている（とおもっている）。（本当のところは、）かれ（アッラー）がかれらをだましているのだ。かれらがサラーに立つときには、面倒（めんどう）くさそうに立ち上がる。人びとへの見せかけのためであり、かれらはアッラーを少ししかズィクルしない。」 婦人章 142節

ムウミンはカサル（なまけること）であってははいけません。アッラーがよろこぶことで、この人生（じんせい）を仕事（しごと）、活動（かつどう）、まじめさ、努力（どりよく）でいっぱいにするのです。

25. 怒（いか）りのしゅるいは、何ですか？

①よい怒（いか）り：アッラーがけがされたときに怒（いか）ることは、よい怒（いか）りです。

②わるい怒（いか）り：よくないことばや行（おこな）いをさせてしまうような怒（いか）りは、わるい怒（いか）りです。

わるい怒（いか）りの、なおしかた：

- ・ウドゥー（清め）
- ・立っていたら、すわること。すわっていたら、よこになること。
- ・よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）のアドバイスをまもること。よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、「怒（おこ）るな」と言いました。
- ・怒（いか）りのとき、それにまかせてうごかず、自分（じぶん）をおさえること。
- ・「わたしはアッラーに、呪（のろ）われたシャイターンからのご加護（かご）をもとめます」とドウアーすること。
- ・だまっていること。

26. タジャッス (せんさく) とは、何ですか？

Räspuns:

ほかの人の見られたくないものや、かくしていることを探(さが)すことです。

その例(れい)には、このようなものがあります：

人が、家(いえ)の中で見られたくないことを、見ようとする事。

ほかの人たちの話(はなし)を、知られないように聞(き)こうとすること。

アッラーはおっしゃります。

﴿يَأْتِيهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا أَجْتَنِبُوا كَثِيرًا مِّنَ الظَّنِّ إِنَّ بَعْضَ الظَّنِّ إِثْمٌ وَلَا تَجَسَّسُوا وَلَا يَغْتَبَ بَعْضُكُم بَعْضًا أَيُحِبُّ أَحَدُكُمْ أَن يَأْكُلَ لَحْمَ أَخِيهِ مَيْتًا فَكَرِهْتُمُوهُ وَاتَّقُوا اللَّهَ إِنَّ اللَّهَ تَوَّابٌ

رَحِيمٌ ﴿١٣﴾ [الحجرات: 12]

「タジャッス (せんさく) してはならない。」 部屋章 12 節

27. イスラーフ (むだづかい) とは、何ですか？ ブフル (けち) とは、どんなことですか？ カラム (きまえのよさ) とは、何ですか？

イスラーフ (むだづかい) とは、むだにお金 (かね) をつかうことです。

その反対 (はんたい) がブフル (けち) で、つかわなくてはいけないことに、きちんとお金 (かね) をつかわないことです。

正しいのは、その中間 (ちゅうかん) です。ムスリムはカラム (きまえのよさ) の状態 (じょうたい) であるべきです。

アッラーはおっしゃります。

﴿وَالَّذِينَ إِذَا أَنْفَقُوا لَمْ يُسْرِفُوا وَلَمْ يَقْتُرُوا وَكَانَ بَيْنَ ذَلِكَ قَوَامًا﴾ [الفرقان: 67]

「また、費（つい）やすときには無駄（むだ）づかいせず、けちにもならず、その中間（ちゅうかん）である者たち。」識別章 6
7節

28. ジュブン（おくびょう）とは何ですか？ シュジャーア（ゆうかん）とは何ですか？

ジュブン（おくびょう）とは：おそれてはいけないことを、おそれることです。

真実（しんじつ）を話（はな）したり、悪（わる）いことを禁（きん）じることを、おそれることです。

シュジャーア（ゆうかん）：真実（しんじつ）へと向かうことです。たとえば、イスラームとムスリムたちをまもらなくてはならないとき、そのために立ち向かうことです。

よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、こうドゥアーしました：「アッラーよ、わたしはあなたに、ジュブン（おくびょう）からのご加護（かご）をもとめます。」アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「つよいムウミンは、よわいムウミンよりもよく、アッラーから愛（あい）されます。そしてどちらも、よいものなのです。」ムスリムのでんしょう

29. ハラームなことばのしゆるいを、おしえて下さい

。

呪（のろ）つたり、悪口（わるくち）を言ったりすること。

たとえば、「ハヤワーン（けだもの）」と言ったりすることです。

また、下品（げひん）なことば、汚（きた）ないことばをつかうことです。

よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は、そのようなことを禁（きん）じて、こう言いました：「ムウミンはだれかをひどくなじったり、呪（のろ）ったり、汚（きたな）いことばを言ったり、わるくちを言ったりしません。」ティルミズイーとイブン・ヒッバーンのでんしょう

30. ムスリムがよいアフラク（せいかく）を身（み）につけるには、どうしたらよいですか？

1・ドゥアー：よいアフラク（せいかく）をもらえるよう、アッラーにドゥアーします。

2・アッラーがいつでも自分（じぶん）を見ている、と感（かん）じること。アッラーはすべて知っており、聞（き）いており、見えています。

3・よいアフラク（せいかく）を身（み）につけることでもらえる、よいごほうびを思（おも）いいたします。また、よいアフラク（せいかく）でジャンナに入れるということを、覚（おぼ）えていることです。

4・悪（わる）いアフラク（せいかく）による、わるい報（むく）いを思（おも）い出すこと。それが地獄（じごく）に入ることにつながるということを、覚（おぼ）えていることです。

5・よいアフラク（せいかく）が、アッラーからの愛（あい）と人びとからの愛（あい）をもたらすということを、覚（おぼ）えておくこと。また、悪（わる）いアフラク（せいかく）が、アッラーから嫌（きら）われ、人びとからも嫌（きら）われることになるということを、覚（おぼ）えておくこと。

6・よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）のスイーラ（でんき）をよみ、それを模範（もはん）とすること。

7・よい人たちとつき合い、悪（わる）い人たちからは、はなれること。

ドゥアーとズィクルズィクルのちしき:

ズィクルとは：アッラーを思（おも）いだしながら、舌（した）をうごかすことです。その例（れい）には、次のようなものがあります：

タフリール・タクビール・タスビーフ・タフミード・イスティグファール・アッラーをほめたたえること・朝晩（あさばん）のズィクル・サラーのあとのズィクル・ねむるときのズィクル・おきたときのズィクル・その他、よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）から伝（つた）わる状況（じょうきょう）や場所（ばしょ）でのズィクル。

いちばんよいズィクルは、心（こころ）と舌（した）がそろったズィクルです。

1. ズィクルの徳（とく）は何ですか？

よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「じぶんの主（しゅ）をズィクルする人としない人の例（れい）は、生きている人と死んでいる人のようである。」ブハーリーのでんしょう

アッラーをズィクルするかどうかで、人生（じんせい）の価値（かち）はかわるのです

2. ズィクルによって、どんなよいことがありますか？

- ①アッラーがよろこんでくれます。
- ②シャイターンをおいはらいます。
- ③ムスリムを悪（あく）からまもります。
- ④ごほうびがもらえます。

3. いちばんよいズィクルは、何ですか？

「ラー・イラーハ・イツラッラー」（アッラーのほかに神（かみ）はない）」です。ティルミズイーとイブン・マージャによるでんしょう

4. ねむりから目ざめたら、何と言いますか？

「わたしたちを死なせた後、生き返したアッラーに、たたえあれ。かれのもとにこそ、召集（しょうしゅう）はあります。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

5. 衣服（いふく）をきたときには、何と言いますか？

「無力（むりょく）なわたしにこの服（ふく）を着（き）させ、恵（めぐ）んで下さったアッラーに、たたえあれ。」アブー・ダーウッド、ティルミズイー、そのたのでんしょう

6. 衣服（いふく）をぬぐときには、何と言いますか？

「ヒスミツラー。」ティルミズイーのでんしょう

7. あたらしい衣服（いふく）をきたときには、何と言いますか？

「アッラーよ、あなたにたたえあれ。あなたがわたしに、これを着（き）せてくれました。そこにある良（よ）いものと、それによって得（え）られる良（よ）いものを、わたしはあなたにおねがいます。また、そこにある悪（わる）いものと、それによって得（え）られる悪（わる）いものからのご加護（かご）を、わたしはあなたに祈（いの）ります。」アブー・ダーウッドとティルミズイーのでんしょう

8. あたらしい服（ふく）を着（き）た人に言うドゥアアは、何ですか？

あたらしい服（ふく）を着（き）た人を見たら、このようにドゥアアします：「（それが）着古（きふる）され、その後にもまたアッラーが与（あた）えて下さいますよう。」アブー・ダーウッドのでんしょう

9. トイレに入ったときのドゥアーは、何ですか？

「アッラーよ、わたしはあなたに男女（だんじょ）のシャイターンからのご加護（かご）をもとめます。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

10. トイレから出たときのドゥアーは、何ですか？

「グフラーナカ（あなたのおゆるしを）。」アブー・ダーウードとティルミズイーのでんしょう

11. ウドゥーするまえには、何と言いますか？

「ヒスミッター。」アブー・ダーウードらのでんしょう

12. ウドゥーをおわったあとのズィクルは、何ですか？

「アシュハド・アッラー・イラーハ・イッラッラーフ・ワフダフ・ラー・シャリーカ・ラフ・ワ・アシュハド・アンナ・ムハンマダン・アブドゥフ・ワ・ラスールフ」（わたしは、唯一（ゆいいつ）で、ならぶものがないアッラーのほかに神（かみ）がいないこと、ムハンマドさまがそのしもべであり使徒（しと）だと証言（しょうげん）します）ムスリムのでんしょう

13. 家（から）出るときのズィクルは、何ですか？

「アッラーの名において。わたしはアッラーに、まかせます。アッラーによってでしか、いかなる変化（へんか）も力（ちから）もありません。」アブー・ダーウードとティルミズイーのでんしょう

14. 家（から）に入るときのズィクルは、何ですか？

「アッラーよ、アッラーの名においてわたしたちは入り、アッラーの名においてわたしたちは出ました。そしてわたしたちの主（し

ゆ)におまかせしました。」こう言ってから、家族(かぞく)にあいさつをする。アブー・ダーウードのでんしょう

15. マスジドに入るときのドゥアーは、何ですか？

「アッラーよ、あなたの慈悲(じひ)のドアを、わたしにひらいて下さい。」ムスリムのでんしょう。

16. マスジドから出るときのドゥアーは、何ですか？

「アッラーよ、わたしはあなたに、お恵(めぐ)みをもとめませう。」ムスリムのでんしょう

17. アザーンを聞(き)いたら、何と言いますか？

アザーンする人と同じように言います。ただし、「ハイヤー・アラッサラー(サラーにきなさい)」と「ハイヤー・アラル・ファラーハ(せいこうにきなさい)」のところだけ、「ラー・ハウラ・ワ・ラー・クウワタ・イッラー・ピッラー(アッラーによってでしか、いかなる変化(へんか)も力(ちから)もありません。)」と言います。ブハーリーとムスリムのでんしょう

18. アザーンのあと、何と言いますか？

こたえ：サラート・アランナビー(よげんしゃさまに、アッラーからのしゆくふくとサラームをいのること)を言います。ムスリムのでんしょうまた、こう言います：「アッラーよ、この完全(かんぜん)なよびかけと、行われるサラーの主(しゅ)よ、ムハンマドに高い位(くらい)とほまれを与(あた)え、あなたがかれに約束(やくそく)した、たたえられる場所(ばしょ)にかれをよみがえらせて下さい。」ブハーリーのでんしょう

また、アザーンとイカーマの間(あいだ)にドゥアーをします。このドゥアーは、受(う)け入れられます。

19. 朝晩（あさばん）のズィクルとして、何と言いますか？

①アーヤトルクルスィーをよみます：

﴿اللَّهُ لَا إِلَهَ إِلَّا هُوَ الْحَيُّ الْقَيُّومُ لَا تَأْخُذُهُ سِنَّةٌ وَلَا نَوْمٌ لَهُ مَا فِي السَّمَوَاتِ وَمَا فِي الْأَرْضِ مَنْ ذَا الَّذِي يَشْفَعُ عِنْدَهُ إِلَّا بِإِذْنِهِ يَعْلَمُ مَا بَيْنَ أَيْدِيهِمْ وَمَا خَلْفَهُمْ وَلَا يُحِيطُونَ بِشَيْءٍ مِنْ عِلْمِهِ إِلَّا بِمَا شَاءَ وَسِعَ كُرْسِيُّهُ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضَ وَلَا يَئُودُهُ حِفْظُهُمَا وَهُوَ الْعَلِيُّ الْعَظِيمُ﴾

[البقرة: 255]

「アッラーは、ほかに神（かみ）がなく、ずっと生きるお方、すべてを司（つかさど）るお方。まどろみも眠（ねむ）りも、かれを捉（とら）えることはない。天にあるもの、地にあるものは（すべて）、かれのもの。かれのお許（ゆる）しなくして、誰（だれ）がかれのもとでシャファア（とりなし）ができるのか？ かれは、かれらの前（まえ）にあるものも、後（あと）にあるものも、知っている。かれが望（のぞ）むこと以外（いがい）、かれらはかれの知識（ちしき）について、何も知ることはない。かれの玉座（ぎよくざ）は、天と地に広がり、その二つをまもることが、かれを疲（つか）れさせることもない。かれは至高（しこう）のお方、偉大（いだい）なお方。」雌牛章 255節

②また、これらをよみます：

﴿قُلْ هُوَ اللَّهُ أَحَدٌ ۝ اللَّهُ الصَّمَدُ ۝ لَمْ يَلِدْ وَلَمْ يُولَدْ ۝ وَلَمْ يَكُنْ لَهُ كُفُوًا أَحَدٌ﴾

[الإخلاص: 4-1]

慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名（な）
において1 言え。「かれはアッラー、唯一（ゆいいつ）なるお方
、2 アッラーは、すべてのものが必要（ひつよう）とするお方。
3 うまないし、うまれもしなかった。4 かれにくらべられるもの
はない。」これを、3回よみます。

・慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふかいアッラーの名
（な）において

﴿قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ الْفَلَقِ ﴿١﴾ مِنْ شَرِّ مَا خَلَقَ ﴿٢﴾ وَمِنْ شَرِّ حَاسِقٍ إِذَا وَقَبَ ﴿٣﴾ وَمِنْ شَرِّ

الْتَفَقَتِ فِي الْعُقَدِ ﴿٤﴾ وَمِنْ شَرِّ حَاسِدٍ إِذَا حَسَدَ ﴿٥﴾﴾ [5-1: الفلق]

1 言え。「わたしは黎明（れいめい）の主（しゅ）に、ご加護
（かご）をもとめる。2 かれがつくったものの悪（あく）から。
3 ふかまる闇（やみ）の悪（あく）から。4 繫（つな）ぎ目に
、息（いき）をふきこむ女（おんな）たちの悪（あく）から。5
しっとする妬（ねた）み屋（や）の悪（あく）から」。

これを、3回よみます。慈悲（じひ）あまねく慈愛（じあい）ふ
かいアッラーの名（な）において

﴿قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ النَّاسِ ﴿١﴾ مَلِكِ النَّاسِ ﴿٢﴾ إِلَهِ النَّاسِ ﴿٣﴾ مِنْ شَرِّ الْوَسْوَاسِ الْخَنَّاسِ ﴿٤﴾ الَّذِي

يُوسْوِسُ فِي صُدُورِ النَّاسِ ﴿٥﴾ مِنَ الْحِنَّةِ وَالنَّاسِ ﴿٦﴾﴾ [6-1: الناس]

1 言え。「わたしは人びとの主（しゅ）に、ご加護（かご）を
もとめる。2 人びとの王（おう）、3 人びとの神（かみ）に、
4 身（み）をかくして囁（ささや）きかける者の悪から。5 （
それは、）人びとの胸（むね）に（悪を）囁きかける、6 ジンと
人びとである」。

、3回よみます。「アッラーよ、あなたはわたしの主(しゆ)、あなたのほかに神(かみ)

20. ねむるとき、何と言いますか？

「アッラーよ、あなたの名においてわたしは死(し)に、生(い)きます。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

21. 食(た)べるまえに、何と言いますか？

「ビスマッラー。」

食(た)べるまえにビスマッラーと言うのをわすれたら、こう言います：

「そのはじまりとおわりに、ビスマッラー。」アブー・ダーウードとティルミズイーのでんしょう

22. 食(た)べおわったら、何と言いますか？

「いかなる力(ちから)ももち合わせていないわたしに、これを食(た)べさせ、お恵(めぐ)みになったアッラーにたたえあれ。」アブー・ダーウードとイブン・マージャ、そのたのでんしょう

23. 食(た)べものをごちそうしてくれた人には、何と言いますか？

「アッラーよ、あなたがかれらにお恵(めぐ)みになったものにおいて、かれらにバラカを与(あた)えて下さい。かれらの罪(つみ)をゆるし、慈悲(じひ)をかけて下さい。」ムスリムのでんしょう

24. くしゃみをしたら、何と言いますか？

「アルハムドゥリッラー。」

そう言うのを聞（き）いた人は、「ヤルハムカッター（アッラーがやさしくして下さいますよう）」とドゥアーします。

そのように言われたら、くしゃみをした人は「ヤハディークムッター・ワ・ユスリフ・バーラクム（アッラーがあなたたちをみちびき、あなたたちの心（こころ）を）正してくれますよう」とかえします。プハーリーのですね。

25. あつまりがおわって立つときの、あつまりのカップファーラ（つぐない）のドゥアーとは、何ですか？

「アッラーよ、あなたに賞賛（しょうさん）と讚美（さんび）あれ。わたしはあなたのほかに神（かみ）はないと証言（しょうげん）します。わたしはあなたに赦（ゆる）しをおねがいし、タウバします。」アブー・ダーウード、ティルミズイー、そのたのですね。

26. 乗（の）るときのドゥアーは、何ですか？

「ビスマッラー」「アルハムドゥリッラー」「これらのものをわたしたちに仕（つか）えさせたお方に、たたえあれ。これはわたしたちには叶（かな）わなかったことです。わたしたちは、わたしたちの主（しゅ）へと、戻（もど）って行く者たちなのです。」（クルアーン 43：13-14）「アルハムドゥリッラー（アッラーにたたえあれ）、アルハムドゥリッラー、アルハムドゥリッラー。アッラーフ・アクバル（アッラーはいだいです）、アッラーフ・アクバル、アッラーフ・アクバル。スプハーナッラー（アッラーにさんびあれ）、わたしは自分（じぶん）に不正（ふせい）をしました。だから、わたしをゆるして下さい。罪（つみ）をゆるす方は、あな

たしかいません。」アブー・ダーウッドとティルミズイーのでんしょう

27. 旅行（りょこう）のドゥアーは何ですか？

「ビスミッラー」「アルハムドゥリッラー」「これらのものをわたしたちに仕（つか）えさせたお方に、たたえあれ。これはわたしたちには叶（かな）わなかったことです。わたしたちは、わたしたちの主（しゅ）へと、戻（もど）って行く者たちなのです。」（クルアーン 43：13-14）「アルハムドゥリッラー（アッラーにたたえあれ）、アルハムドゥリッラー、アルハムドゥリッラー。アッラーフ・アクバル（アッラーはいだいです）、アッラーフ・アクバル、アッラーフ・アクバル。スプハーナッラー（アッラーにさんびあれ）、わたしは自分（じぶん）に不正（ふせい）をしました。だから、わたしをゆるして下さい。罪（つみ）をゆるす方は、あなたしかいません。」アブー・ダーウッドとティルミズイーのでんしょう

28. 旅行（りょこう）する者が、そこにとどまる人に言うドゥアーは何ですか？

「私は、信託（しんたく）を破（やぶ）ることのないアッラーのもとに、あなたたちをおまかせしてお別（わか）れします。」アフマドとイブン・マージャのでんしょう

29. とどまる人が、旅行（りょこう）する人に言うドゥアーは何ですか？

「わたしは、あなたの宗教（しゅうきょう）、アマーナ（しんたく）、あなたの最後（さいご）の行（おこな）いをアッラーにおまかせしてお別（わか）れします。」アフマドとティルミズイーのでんしょう

30. 市場 (いちば) に入るときドゥアーは、何ですか？

「唯一 (ゆいいつ) で、ならばものがないアッラーのほかに神 (かみ) はいません。かれにこそ、王権 (おうけん) とさんびがあり、かれは生かせ、死なせるお方。かれは死ぬことなく生き、すべてのよいものはその手にあります。かれは何 (なん) でもできるお方です。」ティルミズイーとイブン・マージャによるでんしょう

31. 怒 (おこ) ったときのドゥアーは何ですか？

「わたしはアッラーに、呪 (のろ) われたシャイターンからのご加護 (かご) をもとめます。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

32. だれかによいことをされたら、何と言いますか？

「ジャザーカッラーフ・ハイラン (アッラーがあなたに、よいごほうびを与 (あた) えて下さいますよう) 。」ティルミズイーのでんしょう

33. 乗 (の) りものの調子 (ちょうし) が悪 (わる) いとき、何と言いますか？

「ヒスミッター。」アブー・ダーウードのでんしょう

34. うれしいことがあったとき、何と言いますか？

「アッラーにたたえあれ。善行 (ぜんこう) はかれの恩恵 (おんけい) によって、完成 (かんせい) します。」ハーキムらのでんしょう

35. いやなことがおこったとき、何と言いますか？

「どのような状況（じょうきょう）であれ、アッラーにたたえあれ。」イブン・マージャのでんしょう

36. あいさつと、そのかえしかたは、どうしたらよいですか？

ムスリムは、このようにあいさつします：「アッサラーム・アライクム・ワ・ラフマトウツラーヒ・ワ・バラカートウフ（あなたたちにサラームと、アッラーのラフマと、バラカがありますように）」これにかえすには、「ワ・アライクムツサラーム・ワ・ラフマトウツラーヒ・ワ・バラカートウフ（あなたたちこそ、サラームと、アッラーのラフマと、バラカがありますように）」と言います。

ティルミズィーとアブー・ダーウードらのでんしょう

37. 雨（あめ）がふってきたときのドゥアーは何ですか？

「アッラーよ、有益（ゆうえき）な雨（あめ）を。」ブハーリーのでんしょう

38. 雨（あめ）がふったあとのドゥアーは何ですか？

「アッラーのお恵（めぐ）みと慈悲（じひ）によって、わたしたちは雨（あめ）にふられました。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

39. 風（かぜ）がふいてきたときのドゥアーは何ですか？

「アッラーよ、わたしはあなたにその善（ぜん）をもとめ、その悪（あく）からのご加護（かご）をもとめます。」アブー・ダーウードとイブン・マージャのでんしょう

40. 雷（かみなり）を聞（き）いたときのドゥアーは何ですか？

「アッラーにたたえあれ、雷（かみなり）はかれをたたえて讚美（さんび）し、天使（てんし）たちもかれをおそれて讚美（さんび）します。」マーリクのでんしょう

41. 大変（たいへん）な目にあっている人を見たとき、何と言いますか？

「あなたをおそった災難（さいなん）から、わたしをまもって下さり、わたしをかれが創造（そうぞう）した多（おお）くのものよりよくして下さったアッラーに、たたえあれ。」ティルミズイーのでんしょう

42. アイン（邪視）におそわれそうになったら、どのようにドゥアーしますか？

ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「あなたたちの兄弟（きょうだい）、またはその人自身（じしん）、またはその財産（ざいさん）をうらやましく感（かん）じたときには、その人のためにバラカを祈（いの）ってやりなさい。アイン（邪視）は真実（しんじつ）なのです。」アフマドとイブン・マージャらのでんしょう

43. サラト・アランナビー（よげんしゃさまに、アッラーからのしゅくふくとサラームをいのること）は、どのように言いますか？

「アッラーよ、ムハンマドとその一族（いちぞく）に栄光（えいこう）を与（あた）えて下さい。あなたがイブラーヒームとその一族（いちぞく）に栄光（えいこう）を与（あた）えたように。あなたはたたえられるお方、栄光（えいこう）のお方です。アッラーよ、ムハンマドとその一族（いちぞく）に祝福（しゅくふく）を与（あた）えて下さい。あなたがイブラーヒームとその一族（いちぞく）に祝福（しゅくふく）を与（あた）えたように。あなたはたたえられるお方、栄光（えいこう）のお方です。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

その他その他その他、さまざまなしきについての質問（しつもん）と答（こた）えです。

1. ムスリムにとってのきまりには、5つのランクがあります。それは何ですか？

こたえ：

- ①ワージブ
- ②ムスタハツブ
- ③ムハツラム
- ④マクルーフ
- ⑤ムバーハ

2. これらの5つのランクについて、おしえて下さい。

こたえ：

①ワージブ（ぎむ）とは、やらなくてはいけないことです。たとえば、5回のサラー、ラマダーンのサウム、親孝行（おやこうこう）などです。

ワージブなことをすれば、ごほうびがもらえます。やらなければ、罰（ばつ）があります。

②ムスタハツブとは、やった方がよいことです。たとえば、スナン・ラワーティブ（5回のサラーのまえやあとに、すすめられているサラー）、キヤームツライリ（よなかにすすめられているサラー）、食（た）べものをごちそうすること、あいさつすることなどです。ほかにも「スナナ」とか、「マンドゥーブ」とかよばれます。

ムスタハブなことをすれば、ごほうびがもらえます。やらなくても、罰（ばつ）はありません。

だいじなこと：

ムスリムは、ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）の真似（まね）をして、ムスタハブなことを率先（そつせん）してやるべきです。

③ムハツラムとは、やってはいけないことです。たとえば、お酒（さけ）をのんだり、親不孝（おやふこう）したり、親戚（しんせき）との関係（かんけい）をやめてしまったりすることなどです。「ハラーム」ともよばれます。

ムハツラムなことをやめておけば、ごほうびがもらえます。やってしまうと、罰（ばつ）があります。

④マクルーフとは、やらない方がよいことです。たとえば、ひだり手でものの受（う）け渡（わた）しをすること、サラーのときに腕（うで）まくりをすることなどです。

マクルーフなことをやめておけば、ごほうびがもらえます。やってしまっても、罰（ばつ）はありません。

⑤ムバーハとは、やってもやらなくてもよいことです。たとえば、リンゴを食（た）べること、お茶（ちゃ）をのむことなどです。ほかにも「ジャーイズ」とか「ハラール」とかよばれます。

ムバーハなことをやめておいても、ごほうびがもらえることはありません。やってしまっても、罰（ばつ）はありません。3・宗教（しゅうきょう）理解（りかい）やフィクフを知ることには、どんなよいことがありますか？ことば、おこない、アキーダが正しくなり、この世（よ）とあの世（よ）でのしあわせをえることができます。アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「アッラーは、かれがよいことを望（のぞ）む者には、宗教（しゅうきょう）理解（りかい）を与（あた）えます。」ブハーリーとムスリムのでんしょう宗教（しゅうきょう）理解（りかい）とは、イスラームのきまりについて、よく知ることです

3. ものを売（う）ったり買（か）ったりすること、取引（とりひき）は、イスラームのきまりでどのような位置（いち）づけですか？

Räspu

ものを売（う）ったり買（か）ったりすること、取引（とりひき）は、きほんてきにハラールです。ただ、その一部（いちぶ）はアッラーによって、ハラームとされました。

アッラーはおっしゃります。

﴿الَّذِينَ يَأْكُلُونَ الرِّبَا لَا يَقُومُونَ إِلَّا كَمَا يَقُومُ الَّذِي يَتَخَبَّطُهُ الشَّيْطَانُ مِنَ الْمَسِّ ذَٰلِكَ بِأَنَّهُمْ قَالُوا إِنَّمَا الْبَيْعُ مِثْلُ الرِّبَا وَأَحَلَّ اللَّهُ الْبَيْعَ وَحَرَّمَ الرِّبَا فَمَنْ جَاءَهُ مَوْعِظَةٌ مِنْ رَبِّهِ فَانْتَهَى فَلَهُ مَا سَلَفَ وَأَمْرُهُ إِلَى اللَّهِ وَمَنْ عَادَ فَأُولَٰئِكَ أَصْحَابُ النَّارِ هُمْ فِيهَا خَالِدُونَ﴾

[البقرة: 275]

「アッラーは商売（しょうばい）をゆるしたが、利子（りし）は禁（きん）じた。」雌牛章 275節

4. ものを売（う）ったり買（か）ったりすること、取引（とりひき）のしゆるいで、ほかにもハラームなものがありますか？

こたえ：

1・だますこと：ものに悪（わる）いところがあるのに、それをかくすこと。

アブー・フライラさま（アッラーのおよろこびあれ）によれば、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）はあるとき、盛り（も）り上げられた食料（しょくりょう）のところを通（とお）りかかりました。そしてそこに手を入れると指（ゆび）がぬれたの

で、こう言いました：「人びとが（一目見て）わかるように、その（ぬれた）部分（ぶぶん）を上にしておけばよかつたのではないですか？ だます人は、わたしたちの仲間（なかま）ではありません。」ムスリムのでんしょう

2・利子（りし）：たとえば、人に500円かしても、かえすときは1000円もらう、というようなことです。

これはハラームです。

﴿الَّذِينَ يَأْكُلُونَ الرِّبَا لَا يَقُومُونَ إِلَّا كَمَا يَقُومُ الَّذِي يَتَخَبَّطُهُ الشَّيْطَانُ مِنَ الْمَسِّ ذَٰلِكَ بِأَنَّهُمْ قَالُوا إِنَّمَا الْبَيْعُ مِثْلُ الرِّبَا وَأَحَلَّ اللَّهُ الْبَيْعَ وَحَرَّمَ الرِّبَا فَمَنْ جَاءَهُ مَوْعِظَةٌ مِنْ رَبِّهِ فَانْتَهَى فَلَهُ مَا سَلَفَ وَأَمْرُهُ إِلَى اللَّهِ وَمَنْ عَادَ فَأُولَٰئِكَ أَصْحَابُ النَّارِ هُمْ فِيهَا خَالِدُونَ ﴿٢٧٥﴾﴾

[البقرة: 275]

アッラーはおっしゃります。「アッラーは商売（しょうばい）をゆるしたが、利子（りし）は禁（きん）じた。」雌牛章 275節

3・はつきりときまっていないものを取引（とりひき）すること。たとえば、まだ羊（ひつじ）のおなかの中にあるミルクを売（う）ったり、まだ海（うみ）にいてつかまえてはいない魚（さかな）を売（う）ったりすることです。

このようなハディースがあります：アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は、はつきりときまっていないものを取引（とりひき）することを禁（きん）じた。ムスリムのでんしょう

5. あなたがアッラーからもらっている、恵（めぐ）みをおしえて下さい。

①イスラームという恵（めぐ）み。あなたはムスリムです。

②スンナという恵（めぐ）み。あなたはムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）のスンナにしたがいます。

③健康（けんこう）と安泰（あんたい）という恵（めぐ）み。耳（みみ）はきこえ、目（め）は見ることができ、歩（ある）くこともできます。

④食（た）べもの、のみもの、着（き）るものという恵（めぐ）み。

アッラーの恵（めぐ）みはたくさんあり、それを数（かぞ）えつくすことはできません。

アッラーはおっしゃります。

﴿وَإِنْ تَعُدُّوا نِعْمَةَ اللَّهِ لَا تُحْصُوهَا إِنَّ اللَّهَ لَغَفُورٌ رَحِيمٌ﴾ [النحل: 18]

「あなたたちは、たとえアッラーの恵（めぐ）みを数（かぞ）えても、それを数（かぞ）えつくすことはできない。アッラーはゆるしぶかく、慈愛（じあい）ふかいお方。」蜜蜂章 18節

6. アッラーの恵（めぐ）みにたいして、どうすべきですか？ どうやって感謝（かんしゃ）しますか？

アッラーの恵（めぐ）みは、感謝（かんしゃ）しなければなりません。感謝（かんしゃ）のしかたは、次のとおりです：アッラーを、ことばでたたえること。恵（めぐ）みはすべて、アッラーからだということを知ること。いただいている恵（めぐ）みを、アッラーに反（はん）することではなく、アッラーがよろこぶことにつかうこと。アッラーはおっしゃります。

﴿فَاذْكُرُونِي أَذْكُرْكُمْ وَاشْكُرُوا لِي وَلَا تَكْفُرُونِ﴾ [البقرة: 152]

「われを思（おも）いだせ。そうすれば、われもあなたたちを思（おも）いだす。そしてわれに感謝（かんしゃ）せよ。われに恩知（おんし）らずになってはならない。」雌牛章 152節。

7. ムスリムのイードは何ですか？

イード・アル＝アドゥハー（ぎせいさい）と、イード・アル＝フィトゥル（だんじきあけのまつり）です。

アナスさま（アッラーのおよろこびあれ）によれば、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）はマディーナにやってきたとき、人びとがあそぶ2日間（ふつかかん）があるのを見て、「この2日間（ふつかかん）は、何ですか？」と言いました。人びとは言いました：「ジャーヒリーヤ（イスラームのまえのじだい）に、わたしたちがあそんでいた2日間（ふつかかん）です。」アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は、言いました：「アッラーはその2日をあなたたちのために、よりよいものと交換（こうかん）してくれました。それはイード・アル＝アドゥハー（ぎせいさい）と、イード・アル＝フィトゥル（だんじきあけのまつり）です。」アブー・ダーウードのでんしょう

この2つのイードのほかに、イードはありません。

8. もっともすぐれた月（つき）は、どの月（つき）ですか？

ラマダーン月（づき）です。

9. もっともすぐれた日は、どの日ですか？

金曜日（きんようび）です。

10. 一年間（いちねんかん）でもっともすぐれた日は、どの日ですか？

イード・アル＝アドゥハー（ぎせいさい）です。アラファの日、という説（せつ）もあります。

11. 一年間（いちねんかん）でもっともすぐれた夜（よる）は、どの夜（よる）ですか？

ライラト・アル＝カドゥルです。

12. 知らないおんなの人を見たら、どうすべきですか？

じろじろ見ません。アッラーはおっしゃりました：

﴿قُلْ لِلْمُؤْمِنِينَ يَغُضُّوا مِنْ أَبْصَارِهِمْ وَيَحْفَظُوا فُرُوجَهُمْ ذَلِكَ أَزْكَى لَهُمْ إِنَّ اللَّهَ خَبِيرٌ بِمَا

يَصْنَعُونَ ﴿٣٠﴾ [النور: 30]

「ムウミンたちに、言え。視線（しせん）を低（ひく）めよ、と。」御光章 30節

13. ムスリマのヒジャーブは、どのようにあるべきですか？

・きちんと覆（おお）うものでなければいけません。・かざりがついていません。・すけて見えません。・じゅうぶん大きいサイズです。・香水（こうすい）などがついていません。・おとこの人の服（ふく）には似（に）ていません。・悪（わる）い人の服（ふく）には似（に）ていません。アッラーはおっしゃります。

﴿يَأْتِيهَا النَّبِيُّ قُلٌ لِّأَزْوَاجِكَ وَبَنَاتِكَ وَنِسَاءِ الْمُؤْمِنِينَ يُدْنِينَ عَلَيْهِنَّ مِنْ جَلْبَابِهِنَّ ذَلِكَ

أَدْنَىٰ أَنْ يُعْرَفْنَ فَلَا يُؤْذَيْنَ ۗ وَكَانَ اللَّهُ غَفُورًا رَحِيمًا ﴿٥٩﴾ [الأحزاب: 59]

「よげんしゃよ、あなたの妻（つま）たち、娘（むすめ）たち、ムウミンたちの女性（じょせい）たちに、かの女（じょ）たちの上着（うわぎ）の一部（いちぶ）を、かの女（じょ）たちの上に垂（

た) らすように言え。それが、かの女(じょ)たちが認識(にんしき)され、害(がい)されることがないようにするのに、ふさわしいのだ。アッラーはゆるしぶかいお方、慈悲(じひ)ぶかいお方。

」部族連合章 59節

このアーヤの意味(いみ)は、次のとおりです：よげんしゃよ、あなたの妻(つま)たち、娘(むすめ)たち、ムウミンたちの女性(じょせい)たちに、こう言いなさい。かの女(じょ)たちの上着(うわぎ)やカバーの一部(いちぶ)を、かの女(じょ)たちの頭(あたま)や顔(かお)の上に垂(た)らしなさい。それは、かの女(じょ)たちの頭(あたま)や顔(かお)や胸(むね)をかくすためです。そうすることで、かの女(じょ)たちがきちんとかくし、自分(じぶん)をだいじにしていると知られ、悪(わる)いことや害(がい)をうけることがなくなります。アッラーは、過去(かこ)にやってしまつやことをゆるす、ゆるしぶかいお方。ハラールやハラームのことなどをおしえてくれた、慈悲(じひ)ぶかいお方です。

14. 人間(にんげん)の敵(てき)は、だれですか??

1・悪(わる)いことへとさそう、ナフス(じぶんじしんの心のわるいぶぶん)：人は悪(わる)いナフスにそそのかされて、アッラーに反抗的(はんこうてき)なことをしてしまいます。アッラーはおっしゃりました

﴿ وَمَا أُبْرِيْ نَفْسِيْٓ اِنَّ النَّفْسَ لَآمَارَةٌۭ بِالسُّوْءِۙ اِلَّا مَا رَجِمَ رَبِّيۡۤ اِنَّ رَبِّيۡ غَفُوْرٌ رَّحِيْمٌ ﴿٥٣﴾

[يوسف: 53]

：「ナフスは、わたしの主(しゅ)が慈悲(じひ)をかけて下さった者のほかは、悪(わる)いことをよく指図(さしず)するものです。わたしの主(しゅ)はゆるしぶかいお方、慈悲(じひ)ぶかいお方です」ユースフ章 53節

2・シャイターン：シャイターンはアードムの子孫（しそん）である人間（にんげん）の敵（てき）で、その目的（もくてき）は悪（わる）いことをささやきかけて人間（にんげん）をまよわせ、地獄（じごく）へと入れることです。アッラーはおっしゃります：

﴿يَأْتِيهَا النَّاسُ كُلُّوًا مِمَّا فِي الْأَرْضِ حَلَلًا طَيِّبًا وَلَا تَتَّبِعُوا خُطُوبَاتِ الشَّيْطَانِ إِنَّهُ لَكُمْ عَدُوٌّ

مُبِينٌ ﴿١٦٨﴾ [البقرة: 168]

「シャイターンのあゆみに従（したが）ってはならない。かれはあなたたちにとっての、あきらかな敵（てき）なのだ。」雌牛章 168節

3・悪（わる）いともだち：悪（わる）いことをすすめ、よいことをさせないような友人（ゆうじん）のことです。アッラーはおっしゃります：

﴿الْأَخِلَاءُ يَوْمَئِذٍ بَعْضُهُمْ لِبَعْضٍ عَدُوٌّ إِلَّا الْمُتَّقِينَ ﴿٦٧﴾﴾ [الزخرف: 67]

「（わるい）親友（しんゆう）たちはその日、おたがいに敵（てき）となる。だが、タクワーがある者たちは別（べつ）である。」金の裝飾章 67節

15. タクワーとは、何ですか？

アッラーに服従（ふくじゅう）することをし、アッラーに反（はん）することはやらないことです。アッラーはおっしゃります

﴿وَمَنْ حَيْثُ خَرَجْتَ فَوَلِّ وَجْهَكَ شَطْرَ الْمَسْجِدِ الْحَرَامِ وَإِنَّهُ لَلْحَقُّ مِنْ رَبِّكَ ۗ وَمَا اللَّهُ بِغَفِيلٍ

عَمَّا تَعْمَلُونَ ﴿١٤٩﴾﴾ [البقرة: 149]

：「アッラーをおそれよ。アッラーが、タクワーの人びとと一緒に（いっしょ）にあることを知れ。」雌牛章 194節

16. タウバとは何ですか？

タウバとは：アッラーに反（はん）することをやめて、アッラーへの服従（ふくじゆう）へと戻（もど）ることです。アッラーはおっしゃります：

﴿وَإِنِّي لَغَفَّارٌ لِّمَن تَابَ وَآمَنَ وَعَمِلَ صَالِحًا ثُمَّ اهْتَدَىٰ﴾ [طه: 82]

「だがタウバして信仰（しんこう）し、善行（ぜんこう）をおこない、その後（あと）に導（みちび）かれる者にたいし、われらはゆるしづかいのである。」ター・ハー章 82節

17. 正しいタウバの条件（じょうけん）は何ですか？

- ①その罪（つみ）から手をひくこと。
- ②やってしまった罪（つみ）を、悔（く）やむこと。
- ③もうその罪（つみ）を二度（にど）とやらない、と決心（けっしん）すること。
- ④もしそれが人の権利（けんり）にかかわることだったら、それをきちんと果（は）たすこと。

アッラーはおっしゃります：

﴿وَالَّذِينَ إِذَا فَعَلُوا فَحِشَةً أَوْ ظَلَمُوا أَنْفُسَهُمْ ذَكَرُوا اللَّهَ فَاسْتَغْفَرُوا لِذُنُوبِهِمْ وَمَن يَغْفِرِ

الذُّنُوبَ إِلَّا اللَّهُ وَلَمْ يُصِرُّوا عَلَىٰ مَا فَعَلُوا وَهُمْ يَعْلَمُونَ﴾ [آل عمران: 135]

「醜（みにく）い行いをしたり、じぶんたちに不正（ふせい）をおこなったりしたら、アッラーをズィクルして、じぶんの罪（つみ）のゆるしをもとめる者たち。アッラーのほかに、だれが罪（つみ）をゆるせるのか？ また、じぶんたちがやってしまったことを、わざとくり返（かえ）さない者。」イムラーン家章 135節。

18. ムスリムが栄光（えいこう）を手にし、勝利（しょうり）するためにはどうしたらよいですか？

イスラームをじっせんすることです。アッラーに反（はん）することや、罪（つみ）をやめることです。アッラーはおっしゃります：「信仰（しんこう）する者たちよ、アッラーを助（たす）ければ、アッラーがあなたたちを助（たす）け、あなたたちの足（あし）もとをしっかりとさせて下さる。」ムハンマド章 7節アッラーはおっしゃります：

﴿لَهُرَّ مَعَقِبَتْ مِّنَ بَيْنِ يَدَيْهِ وَمِنْ خَلْفِهِ يَحْفَظُونَهُ مِنْ أَمْرِ اللَّهِ إِنَّ اللَّهَ لَا يُغَيِّرُ مَا بِقَوْمٍ حَتَّىٰ يُغَيِّرُوا مَا بِأَنْفُسِهِمْ ۗ وَإِذَا أَرَادَ اللَّهُ بِقَوْمٍ سُوءًا فَلَا مَرَدَّ لَهُ ۗ وَمَا لَهُمْ مِنْ دُونِهِ مِنْ ءَالٍ ۗ﴾ [الرعد: 11]

「アッラーは、人びとが自分（じぶん）たちの状態（じょうたい）を変（か）えようとしなにかぎり、その状態（じょうたい）を変（か）えてはくれない。」雷鳴章 11節

19. ドゥアーはなぜ大事（だいじ）ですか？

ドゥアーは、アッラーにしたがい、アッラーへのお近（ちか）づきをいただくためのものとして、もともと偉大（いだい）なものです。アッラーはおっしゃります：

﴿وَقَالَ رَبُّكُمْ ادْعُونِي أَسْتَجِبْ لَكُمْ إِنَّ الَّذِينَ يَسْتَكْبِرُونَ عَنْ عِبَادَتِي سَيَدْخُلُونَ جَهَنَّمَ دَاخِرِينَ﴾ [غافر: 60]

「それであなたたちの主（しゅ）は言った。『われに祈（いの）れ。そうすれば、われはあなたたちにこたえる。だが、われにたいするイバーダに高慢（こうまん）な者たちは、必（かなら）ずジャハンナムに入ることになる。』」ガーフィル章 60節

よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：
「ドゥアーはイバーダである。」アブー・ダーウッドとティルミズ
イーとイブン・マージャのでんしょう。

20. サラート・アランナビーの意味（いみ）は、何ですか？

アッラーが、いちばん高（たか）い天（てん）にいる天使（てんし）たちのところで、よげんしゃさま（しゆくふくとへいあんあれ）をほめたたえるよう、アッラーに ドゥアーすることです。

21. 「スプハーナッラー」の意味（いみ）は、何ですか？

アッラーには、どんな欠点（けってん）も、短所（たんしょ）も、悪（わる）いぶぶんもない、とたたえることです。

22. 「アルハムドゥリッラー」の意味（いみ）は、何ですか？

アッラーがもっている完全（かんぜん）な性質（せいしつ）によって、アッラーをたたえることです。

23. 「アッラーフ・アクバル」の意味（いみ）は、何ですか？

アッラーがどんなものよりも大きく、偉大（いだい）であり、尊（とうと）いとして、アッラーをたたえることです。

24. 「ラー・ハウラ・ワ・ラー・クウワタ・イッラー・ビッラー」の意味（いみ）は、何ですか？

すべての変化（へんか）や、そうする力（ちから）は、アッラーによるものだけです。わたしたちやその他のものには、そのようなことはできません。

25. 「アスタグフィルッラー」の意味（いみ）は、何ですか？

やってしまった罪（つみ）をけし、悪（わる）いことをかくしてくれるよう、アッラーにドゥアーすることです。

おわり

さいごに：

子どもたちが、ことば、おこない、アキーダにおいて正しくなるよう、親御（おやご）さんはこれらの質問（しつもん）を用（もち）いて、くりかえし説明（せつめい）してください。イスラーム教育（きょういく）は食（た）べものや着（き）るものよりも、大事（だいじ）です。アッラーはおっしゃります：

﴿يَتَأْتِيهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا فَوْأَ أَنفُسِكُمْ وَأَهْلِيكُمْ نَارًا وَفُودُهَا النَّاسُ وَالْحِجَارَةُ عَلَيْهَا مَلَائِكَةٌ

غَلَاطٌ شِدَادٌ لَا يَعْصُونَ اللَّهَ مَا أَمَرَهُمْ وَيَفْعَلُونَ مَا يُؤْمَرُونَ﴾ [التحریم: 6]

「信仰（しんこう）するものたちよ、あなたたちと、あなたたちの家ぞくを（じごくの）火から守れ。そのねんりょうは、人びとと石（いし）。その上には、あらあらしくきびしい天使（てんし）たちがいる。かれらはアッラーがかれらに命（めい）じたことで、かれに逆（さか）らわず、命（めい）じられることをするのである。

」 禁止章 6節

また、アッラーのしと（しゆくふくとへいあんあれ）は言いました：「男（おとこ）は自分（じぶん）の家ぞくの世話人（せわにん）であり、自分（じぶん）の世話（せわ）すべき人びとにたいする世話人（せわにん）です。女（おんな）もまた、自分（じぶん）の家ぞくの世話人（せわにん）であり、自分（じぶん）の世話（せわ）すべき人びとにたいする世話人（せわにん）なのです。」ブハーリーとムスリムのでんしょう

わたしたちの長（ちょう）ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）とその一族（いちぞく）、サハーバ全員（ぜんいん）に、アッラーのしゆくふくとへいあんがありますように。

内容

ムスリムキッズが知らなくてはならないこと	1
はじめに	3
アキーダ（しんじょう）アキーダのちしきイスラームのアキーダとは、次のことを信じることです：	6
フィクフフィクフとはフィクフとは、タハーラ、サラ、ザカー、サウム、ハッジといった、じっさいに行うイスラームのきまりにかんする知識（ちしき）です。	35
スィーラ（よげんしゃでん）スィーラ（よげんしゃでん）のちしきスィーラ（よげんしゃでん）とは、ムハンマドさま（しゆくふくとへいあんあれ）が生まれてからなくなるまでの人生（じんせい）についてのちしきです。	71
タフスィール（クルアーンのいみ）のちしきタフスィールとは：	81
ハディースハディースのちしきハディースとは：	107
イスラームの礼儀作法（れいぎさほう）礼儀作法（れいぎさほう）のちしきイスラームの礼儀作法（れいぎさほう）とは：	119
アフラーク（どうとく）アフラーク（どうとく）のちしき：	158
ドゥアーとズィクルズィクルのちしき：	180
いちばんよいズィクルは、心（こころ）と舌（した）がそろったズィクルです。	181
その他その他その他、さまざまなちしきについての質問（しつもん）と答（こた）えです。	194
おわり	207